資料１

2025 年度 神戸市子ども・子育て支援事業計画
及び神戸市次世代育成支援対策推進行動計画
「神戸っ子すこやかプラン 2029」の検証について

神戸市

もくじ

ページ

１　検証の概要

（１）神戸っ子すこやかプラン 2029 の概要‥‥‥

１　検証の概要

（１）神戸っ子すこやかプラン 2029 の概要

2003 年７月に制定された次世代育成支援対策推進法及び 2012 年８月に制定された子ども・子育て支援法に基づき、2025 年３月に子ども・子育てに関する総合計画として「神戸っ子すこやかプラン 2029」を策定し、子育て支援を総合的に進めている。

（２）検証の方法

本計画は、国の次世代育成支援対策推進法に基づく「行動計画策定指針」及び「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」に示されているとおり、各個別事業の進捗状況に加え、個別事業を束ねた施策や計画全体の成果について利用者側の視点に立った点検・評価を行うため、市民（保護者）調査、施設利用者調査を実施し、PDCA サイクルに基づいて、毎年度「神戸市子ども・子育て会議」において検証する。

〈検証資料〉

① 教育・保育施設の利用状況

「住民基本台帳に基づく人口(町丁目別・年齢別)」(2026 年４月１日現在）の０～５歳の人口に占める、保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育を利用する児童数の割合を調査することで各種施設等の利用状況を把握するとともに、待機児童と上記施設等の定員の状況を確認する。

② 「神戸っ子すこやかプラン 2029」検証アンケート

・市民（保護者）調査

３歳児健診を受診する児童の保護者を対象に、個別事業・施策の「認知度、利用度、満足度」を調査

・施設利用者調査

施設利用者を対象に、各施設・施策の「満足度」を調査

〔実施施設等〕

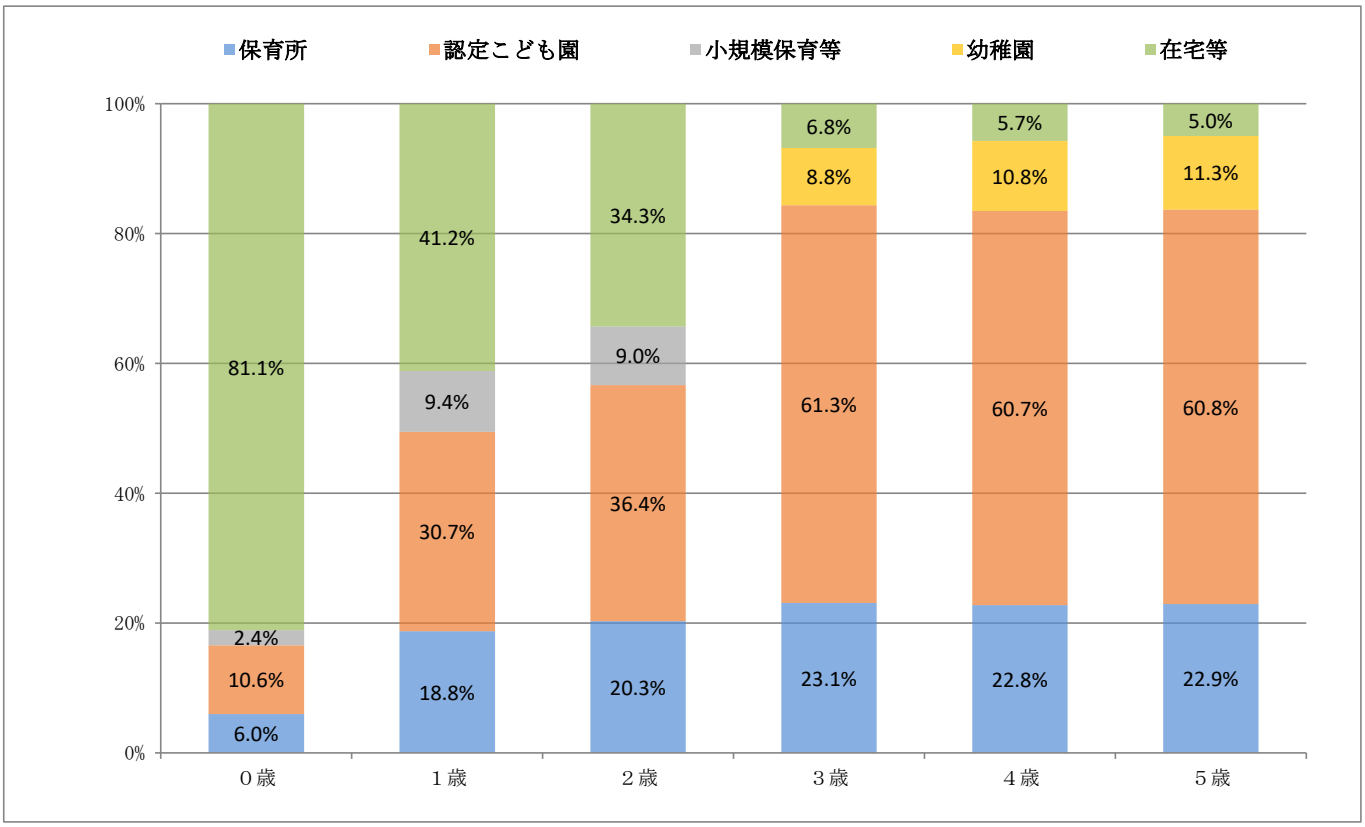
保育所、認定こども園、幼稚園、児童館、大学と連携した子育てひろば、学童保育、一時保育、子育てリフレッシュステイ、病児保育、ファミリー･サポート･センター、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育、おやこふらっとひろば、こども誰でも通園制度

③「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

関係機関が行う取組をまとめ、市内企業の利用状況等を確認する。

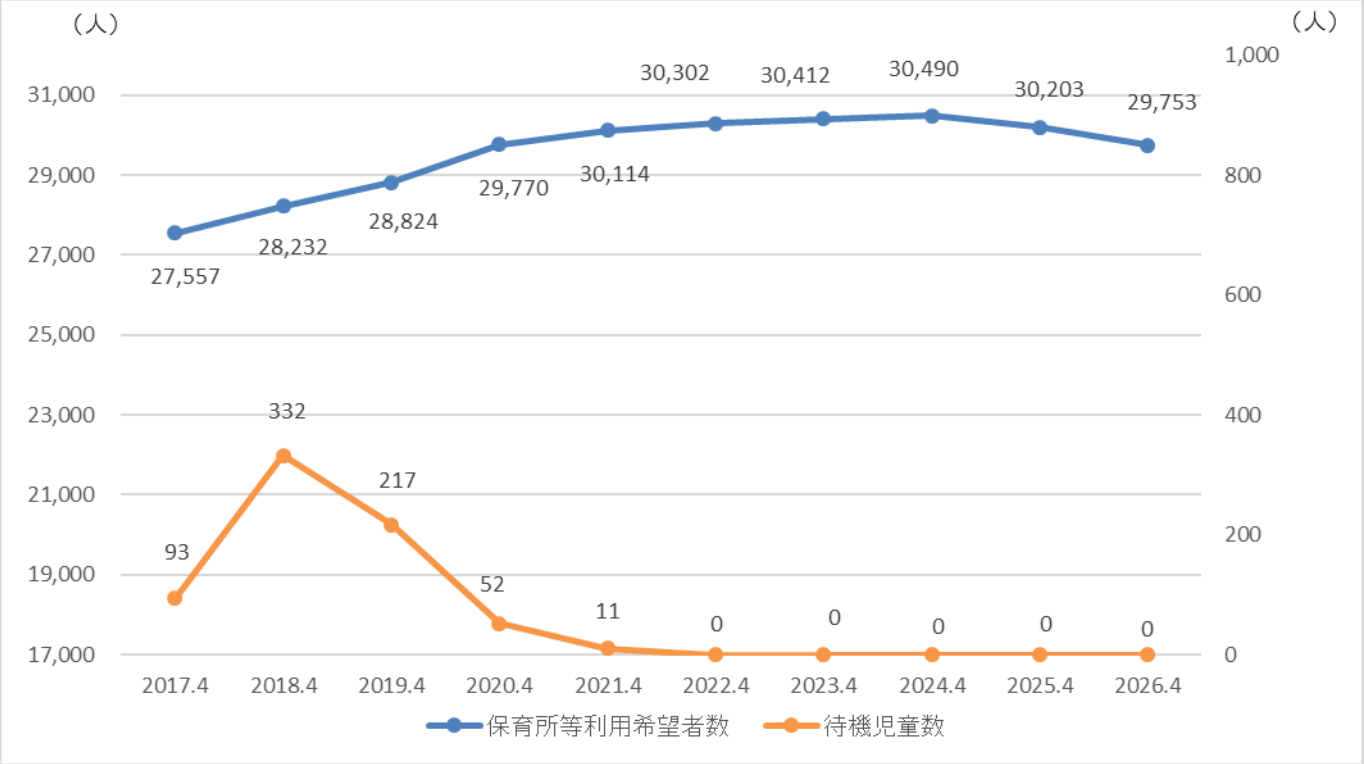
２　計画の検証

（１）教育・保育施設の利用状況（2026 年度）



就学前児童（０～５歳児）の教育・保育施設の利用状況を見てみると、０歳児は 81.0%と在宅での育児比率が高い。１～２歳児では約 60%、３～５歳児は 90%以上が幼稚園・認定こども園・保育所等へ入所している状況である。

（２） 保育所等利用希望者数・待機児童数の推移



保育所等利用希望者数と待機児童数の推移をみると、女性の就労機会の増加などを背景に保育所等の利用希望者数が増加し、2018 年４月は 332 人、2019 年４月の待機児童は 217 人という結果となっていた。これまで、毎年度、保育所等利用定員の拡大に取り組み、2019 年度約 1,400 人、2020 年度約 900 人、2021 年度約 600 人分を拡大したことにより、2022 年４月には待機児童数ゼロを達成した。以降５年連続で待機児童ゼロを維持し、地域毎の保育ニーズに対応した受け入れ枠を確保している。

引き続き、地域毎の保育ニーズをきめ細かく把握し、多様な保育ニーズへの対応や、保育人材の確保対策などに努めていく。

（３）市民（保護者）調査結果

１　調査概要

・2026 年７～９月に３歳児健診を受診する児童の保護者に対し、問診票に二次元コードを記載した調査資料を同送し、web 回答または健診の場で回収

・回収数 509／配布数 1,729（回収率 29.4%）

２　回答者の基本情報

・母親の回答が大半であり、回答者全体の年代は 30 代が約 70%、40 代が約 22%、20 代が約 7%となっている。

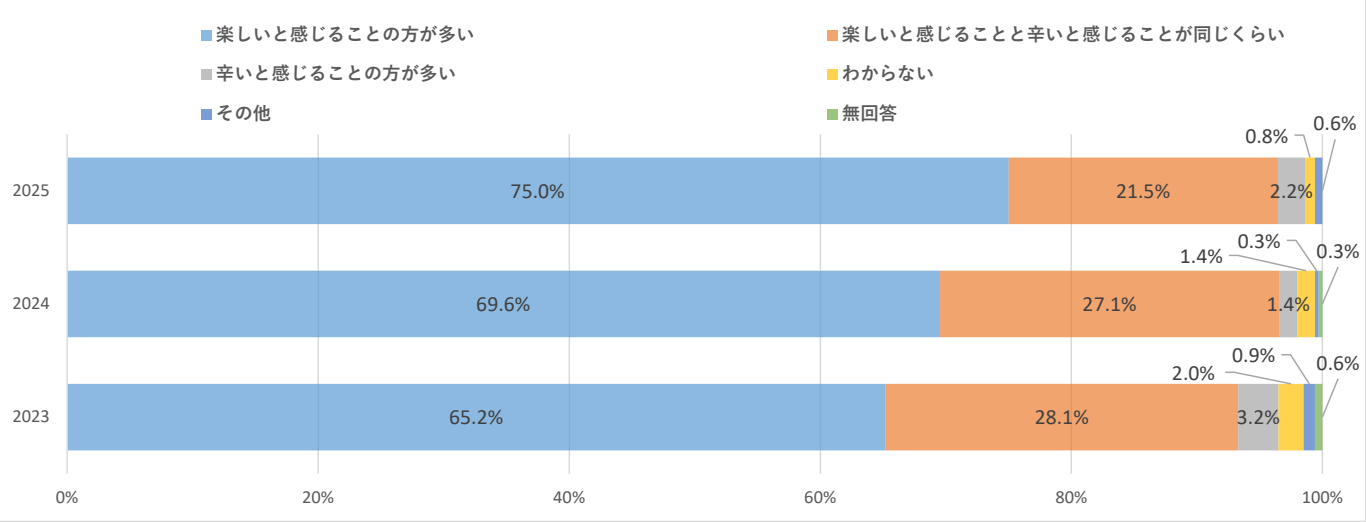
・お子さんの数は、２人が約 51%、１人が約 30%、３人以上が約 19%となっている。

・近居親族がいる方が約 60%、近居親族がいない方が約 34%となっている。

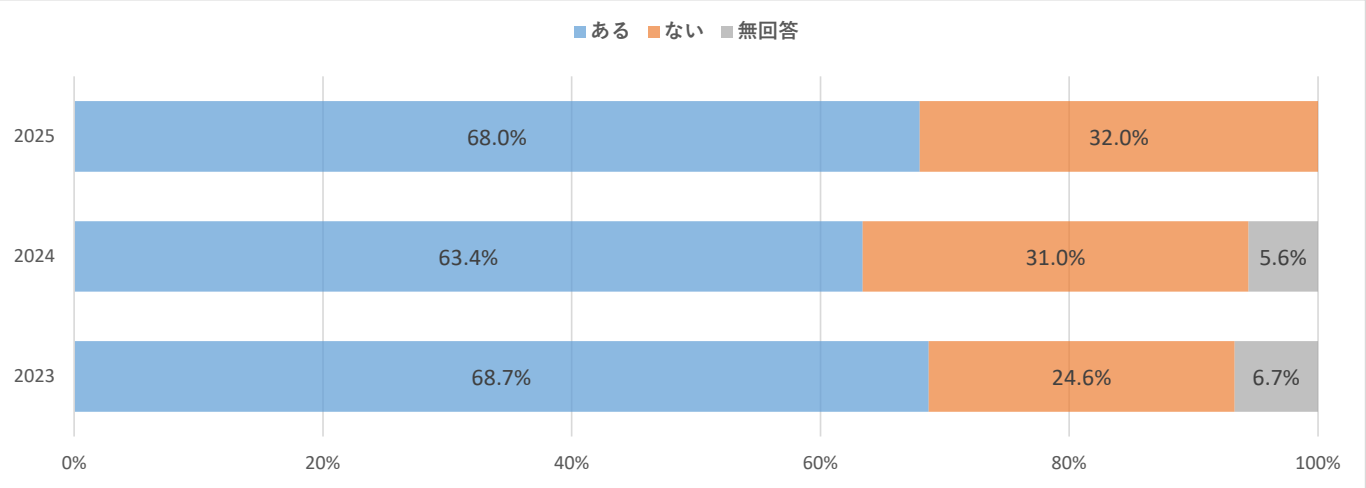
・３歳児健診を受診したこどものうち、約 79%が保育所や幼稚園などのいずれかの施設に入所（園）しており、約 19%が在宅育児をされている。

３　調査結果

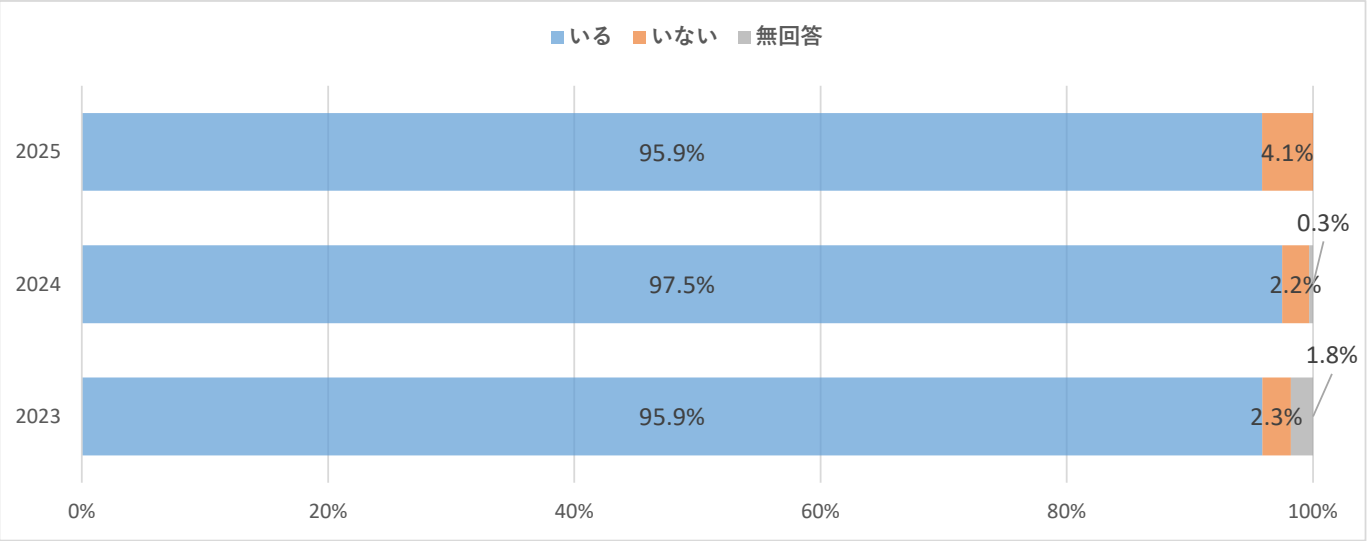
（１）子育てを楽しいと感じることが多いかどうか



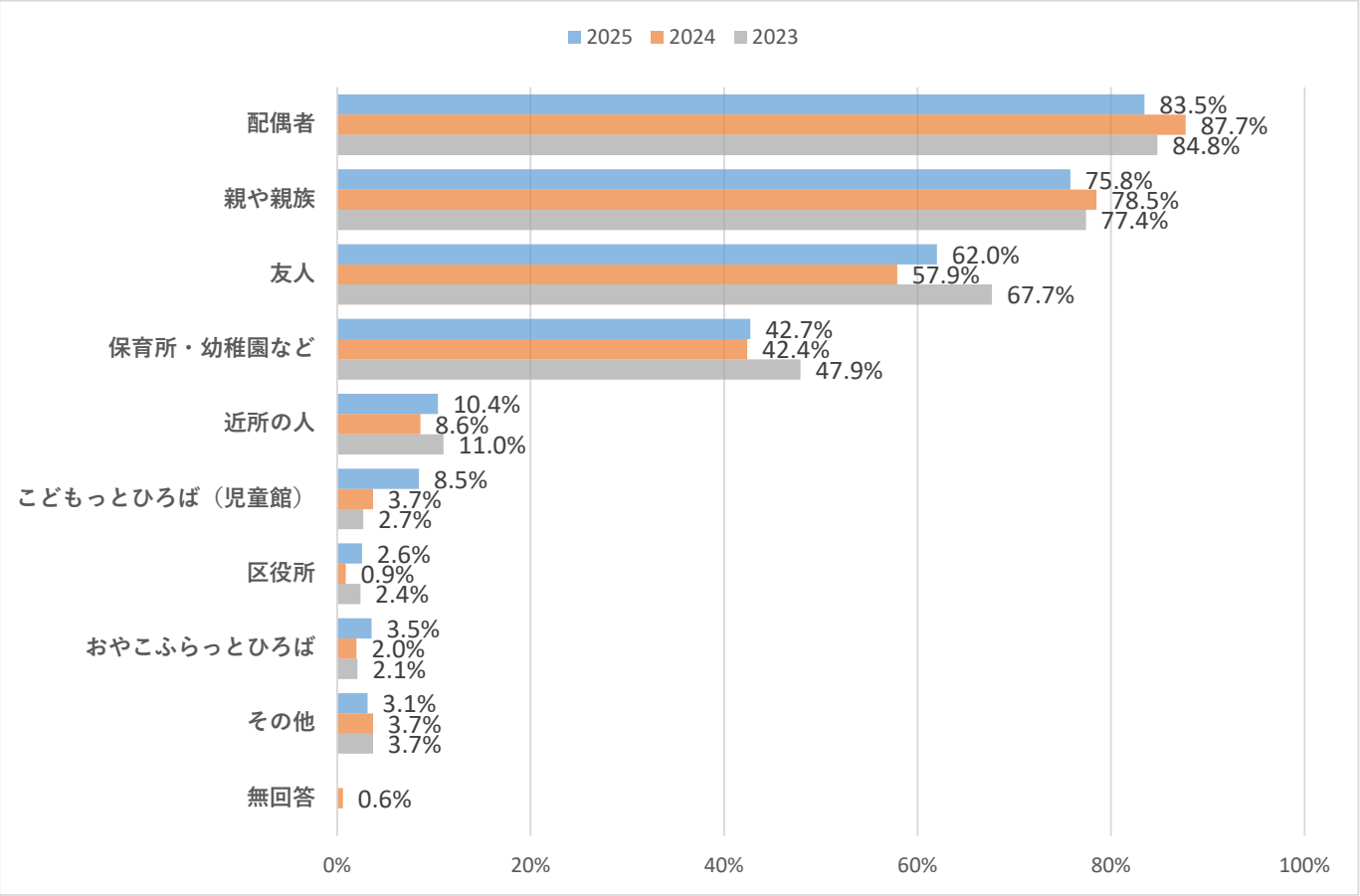
（２）こどもとの外出時に困ること・困ったことがあるか



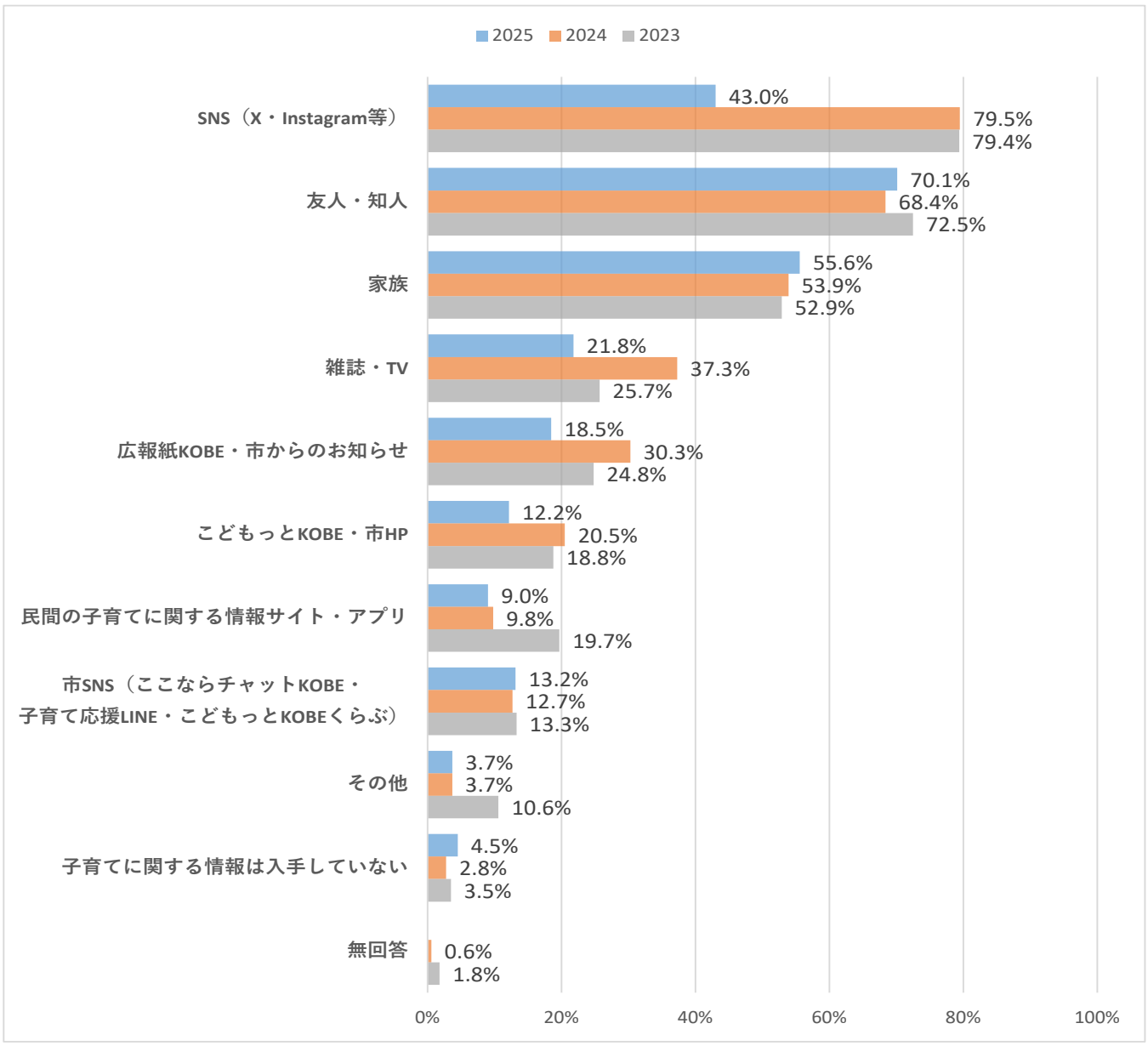
（３）子育てについて気軽に相談できる人がいるか



（３―２）「いる」と答えた方の相談者の割合（複数回答）

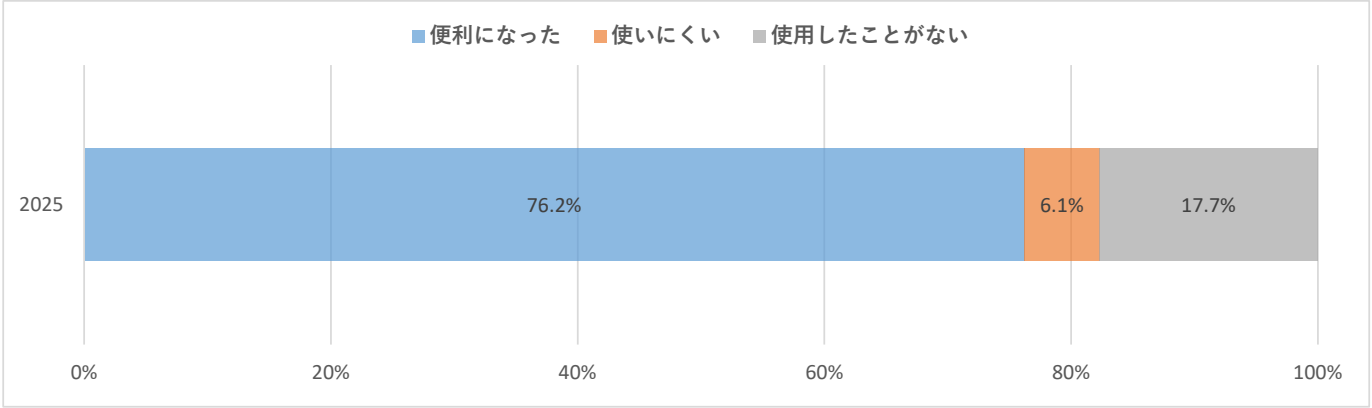


（４）育児に関する情報についてどこから入手しているか（複数回答）

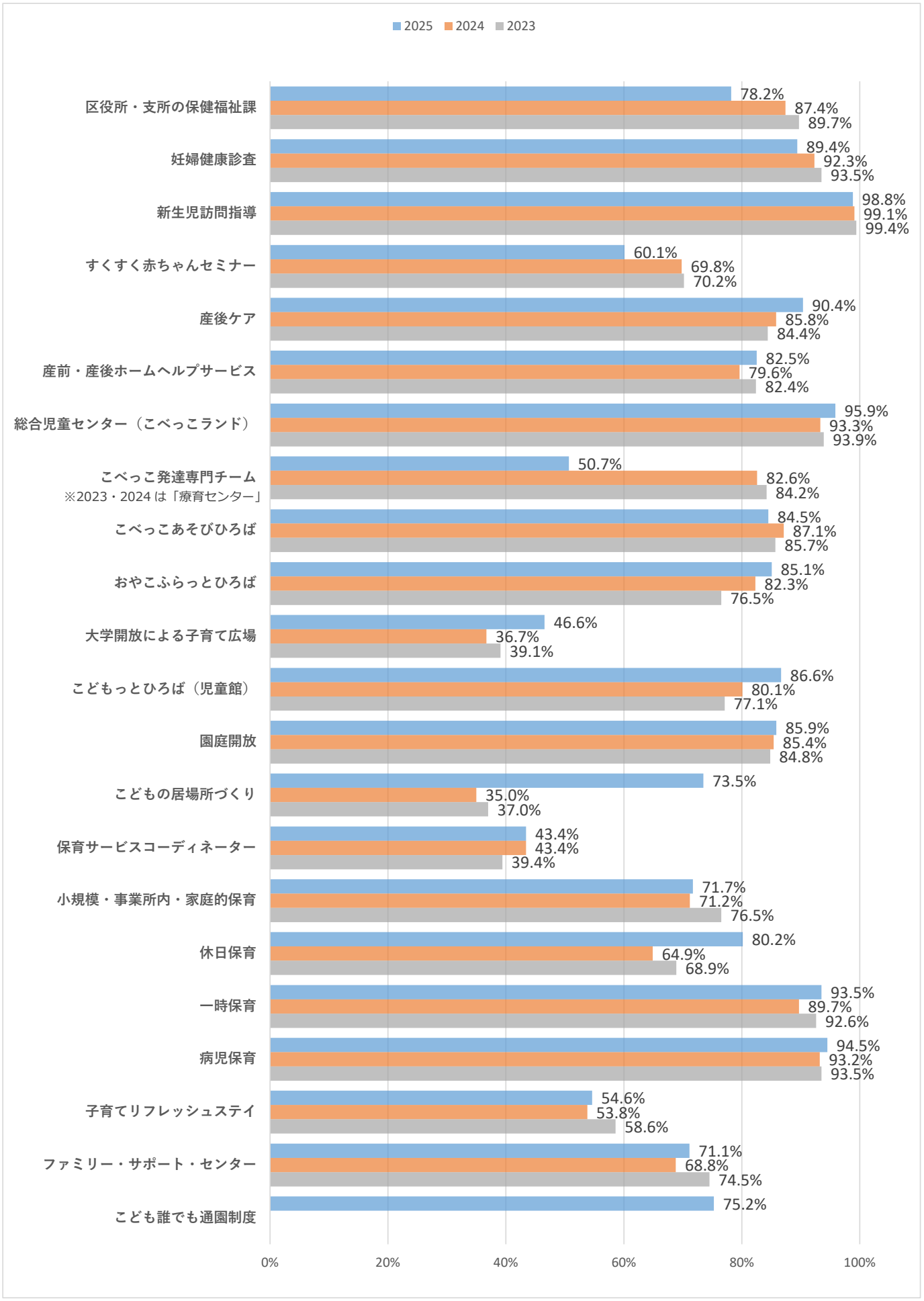


（※）2025 年は web アンケートの回答画面の表示が、「友人・知人」「家族」「その他」「子育てに関する情報は入手していない」となっており、「その他」を選択した場合にのみ、追加で設問が表示されて主な入手先（「こどもっと KOBE」や「SNS」等）を選択できるように設定されていたため、「友人・知人」「家族」「子育てに関する情報は入手していない」以外の回答が少なくなっていることに留意が必要

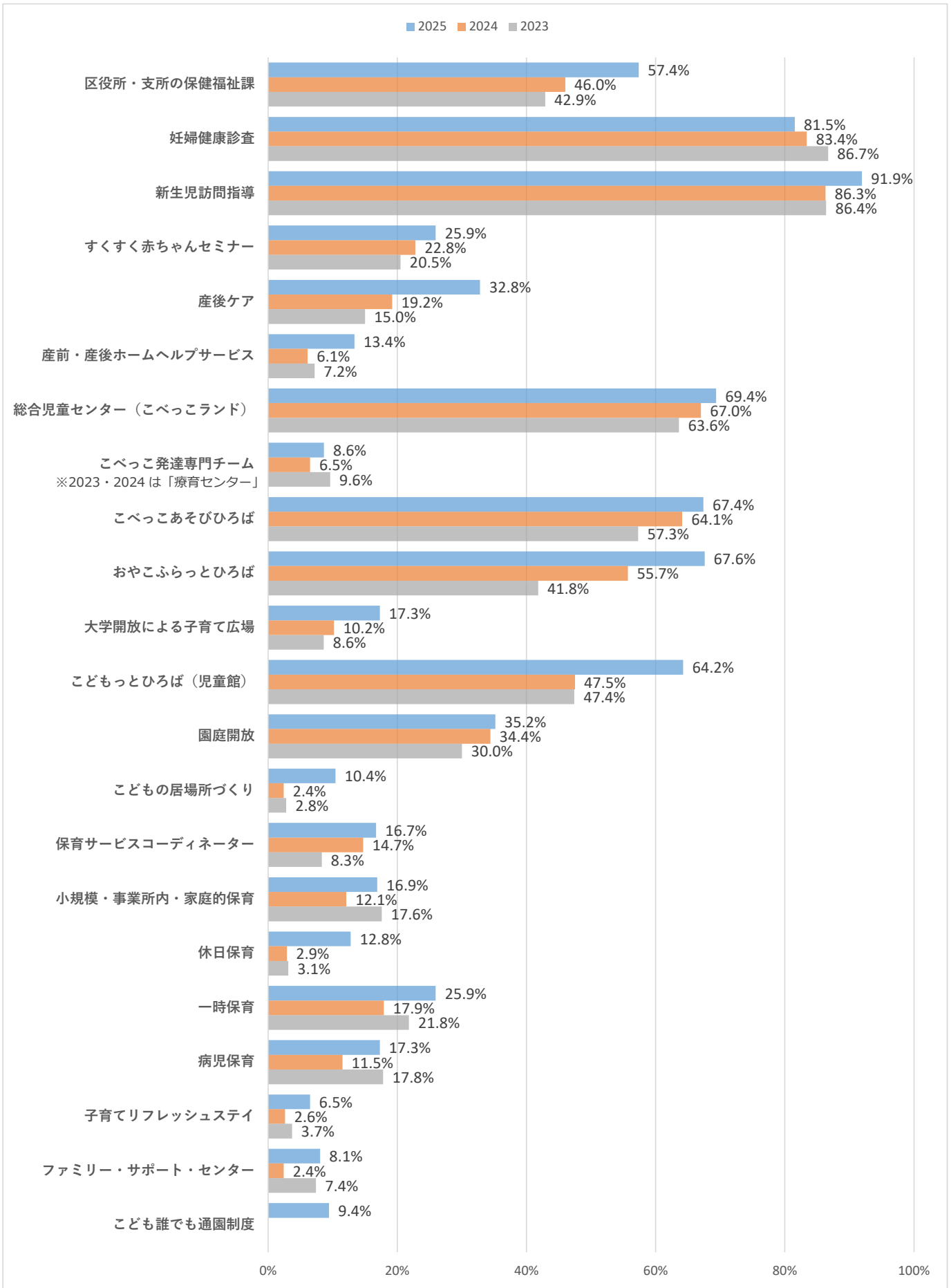
（５）こども・子育てに関する手続きのオンライン化について、どう感じるか（※2025 年からの設問）



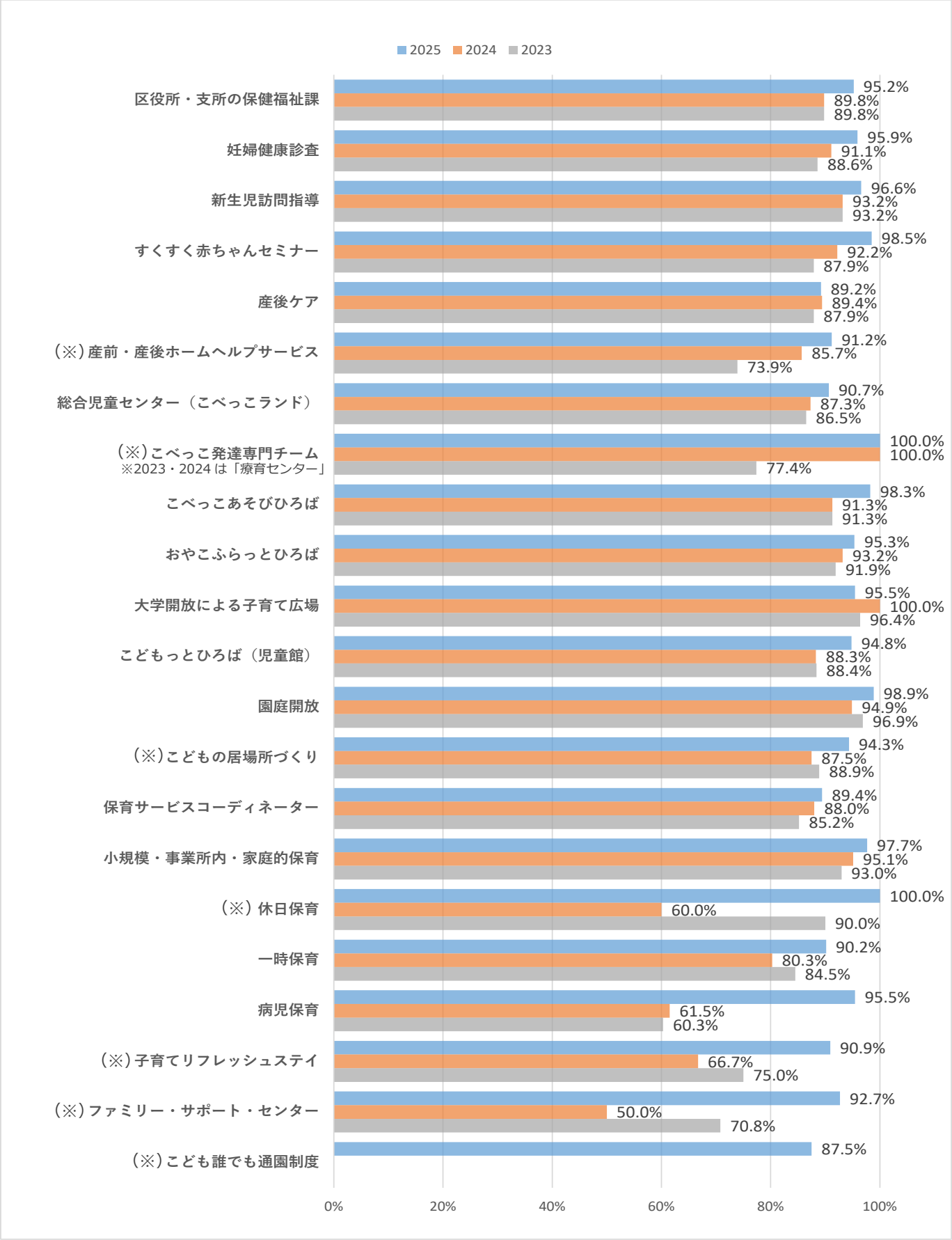
（６）各事業における認知度（※「こども誰でも通園制度」は 2025 年からの設問）



（７）各事業における利用度（※「こども誰でも通園制度」は 2025 年からの設問）

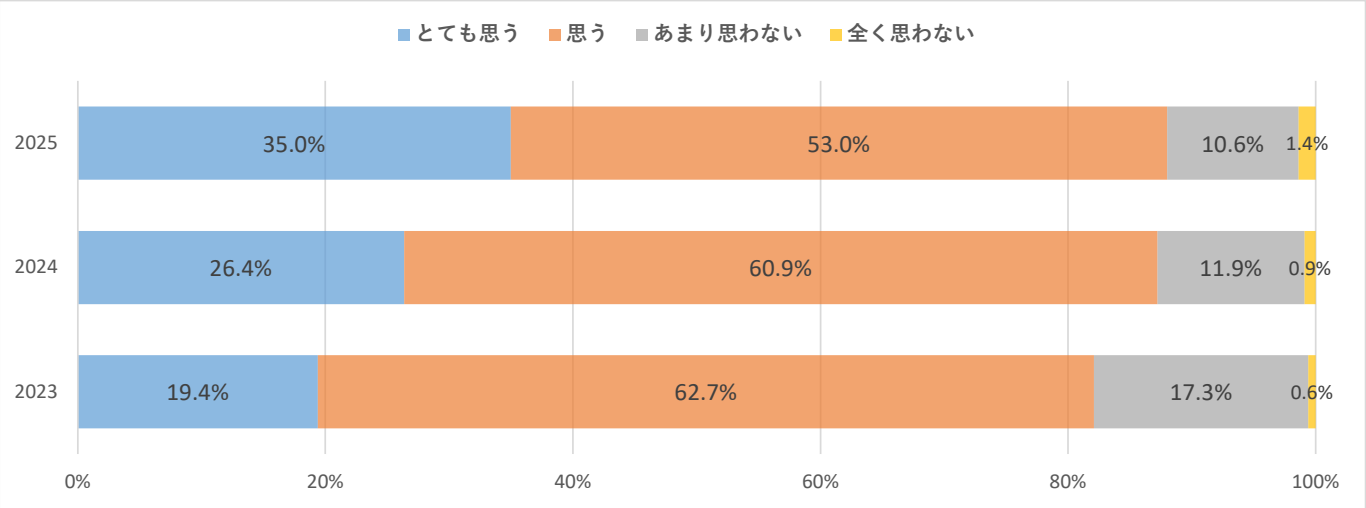


（８）各事業における満足度（※「こども誰でも通園制度」は 2025 年からの設問）



（※）産前・産後ホームヘルプサービスは回答数 68、こべっこ発達専門チームは回答数 68、こどもの居場所づくり事業は回答数 53、休日保育は回答数 65、子育てリフレッシュステイは回答数 33、ファミリー・サポート・センターは回答数 41、誰でも通園制度は回答数 48 のため、調査結果の取り扱いに留意が必要

（９）神戸で子育てして良かったと思いますか。



（９-２）「とても思う」「思う」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよかったと思いますか
（以下 25 項目のうち３つまで回答）

【生活環境・教育環境の充実】
(1)海や山などの自然の豊かさ、公園などの遊び場
(2)こどもが多様な体験をできる機会（英語・読書・スポーツ・自然体験など）
(3) こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設
(4)こども連れで外出しやすいまち(駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等)
(5)交通の利便性の充実(通勤・通学に便利)
(6)子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援
(7)労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境
(8)防災教育や英語教育など特色ある神戸の教育内容

【結婚・妊娠・出産・子育て期にあたたかい街こうべの実現】
(9)子育てに関する冊子の配布やインターネット等による情報提供
(10)子育てについて気軽に相談できる窓口（各区役所や児童館など）
(11)健診や新生児訪問等の母子保健事業
(12)HAT 神戸をはじめとする小児救急体制
(13)子育てリフレッシュステイなど、一時的にこどもを預けられる保育サービス

【経済的支援の推進】
(14)保育料　(15)こどもに関する医療費

【地域における子育て支援の充実と青少年の健全育成の推進】
(16)保育園・認定こども園や幼稚園の園庭開放
(17)子育てサークルや、保護者同士の交流の場、地域子育て支援拠点
(18)こどもっとひろば（児童館）、おやこふらっとひろばなど親子で気軽に集い、相談できる場

【仕事と子育ての両立支援】
(19)こどもを預けてリモートワークができるコワーキング施設（あすてっぷコワーキングなど）
(20)保育園・認定こども園・学童保育所などの整備
(21)保育園・認定こども園の保育時間の延長や保育内容
(22)幼稚園の預かり保育、長時間・長期休暇中預かり保育
(23)病児の児童を一時的に保育する病児保育

【特に支援が必要なこども・家庭への対応】
(24)児童虐待防止、障害児支援の強化、ひとり親家庭等への支援、児童相談所の整備など

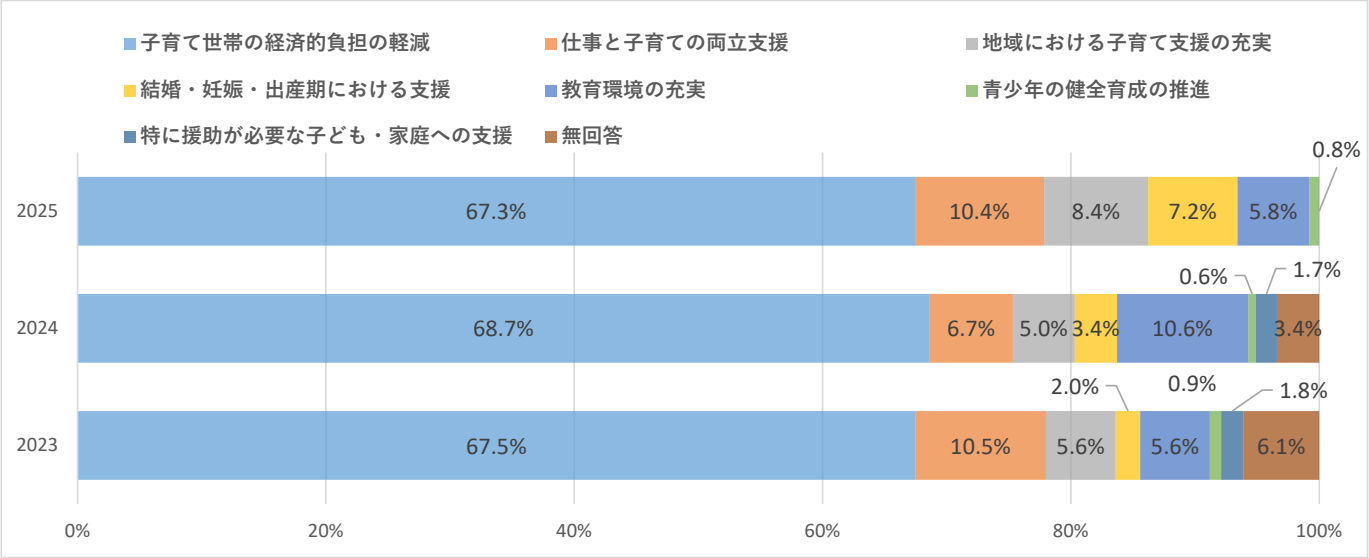
【その他】
(25)その他

順位	2025	2024	2023
1	こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設	こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設	こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設
	66.1%（296件）	58.9%	54.9%
2	海や山などの自然の豊かさ、公園などの遊び場	海や山などの自然の豊かさ	海や山などの自然の豊かさ
	55.1%（247件）	37.3%	38.4%
3	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）
	28.3%（127件）	26.4%	28.5%
4	こどもっとひろば（児童館）、おやこふらっとひろばなど親子で気軽に集い、相談できる場	HAT神戸をはじめとする小児救急体制 保育園・認定こども園・学童保育所などの整備	HAT神戸をはじめとする小児救急体制
	21.4%（96件）	17.5%	18.3%
5	こどもに関する医療費	こどもっとひろば（児童館）、おやこふらっとひろばなど親子で気軽に集い、相談できる場	こども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、駐輪場や地下鉄海岸線の利用料免除等）
	20.1%（90件）	16.9%	16.9%

（９−３）「あまり思わない」「全く思わない」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよくないと思いますか（３つまで回答　※選択肢は（８－２）と同じ）

順位	2025	2024	2023
1	こどもに関する医療費	こどもに関する医療費	こどもに関する医療費
	36.1%（22件）	38.6%	35.5%
2	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援	労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境
	31.1%（19件）	17.1%	17.1%
3	こども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）	こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設 子育てリフレッシュステイなど、一時的にこどもを預けられる保育サービス	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備
	24.6%（15件）	12.3%	15.8%
4	保育料	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利） 労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境 多子世帯・ひとり親世帯の保育料	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援 多子世帯・ひとり親世帯の保育料
	23.0%（14件）	10.5%	14.5%
5	労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境 保育園・認定こども園・学童保育所などの整備	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備 保育園・認定こども園の保育時間の延長や保育内容	病児の児童を一時的に保育する病児保育
	16.4%（10件）	8.8%	11.8%

（10）子育て支援策について、今後神戸市に期待すること



（４）施設利用者調査結果

ページ

①保育所 …… 14

②認定こども園 …… 16

③幼稚園 …… 19

④児童館 …… 22

⑤大学と連携した子育てひろば（※） …… 25

⑥学童保育 …… 28

⑦一時保育 …… 33

⑧子育てリフレッシュステイ（※） …… 35

⑨病児保育 …… 38

⑩ファミリー・サポート・センター（※） …… 40

⑪小規模保育 …… 43

⑫事業所内保育（※） …… 45

⑬家庭的保育（※） …… 47

⑭おやこふらっとひろば …… 49

⑮こども誰でも通園 …… 52

(※)回収数が少ないため、調査結果の取り扱いに留意が必要

①保育所

1　調査概要

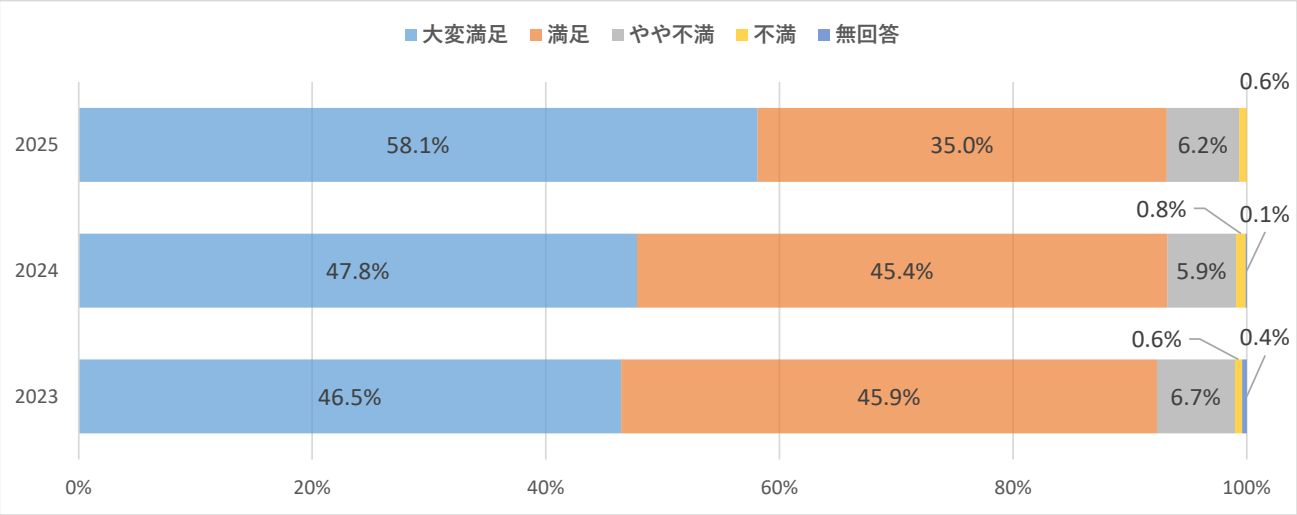
・2026 年７～８月、公立保育所 54 箇所及び私立保育園 70 箇所計 125 箇所を通じて、保育所ごとに各年齢２名ずつ無作為抽出したこどもの保護者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集

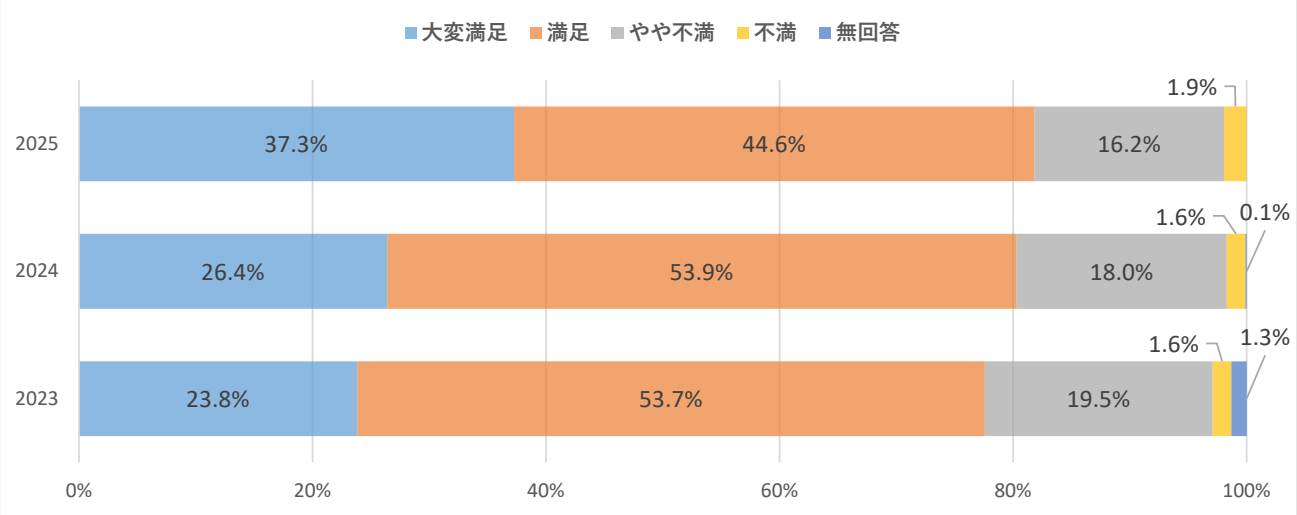
・回収数　628／配布数 984（回収率 63.8%）

2　調査結果

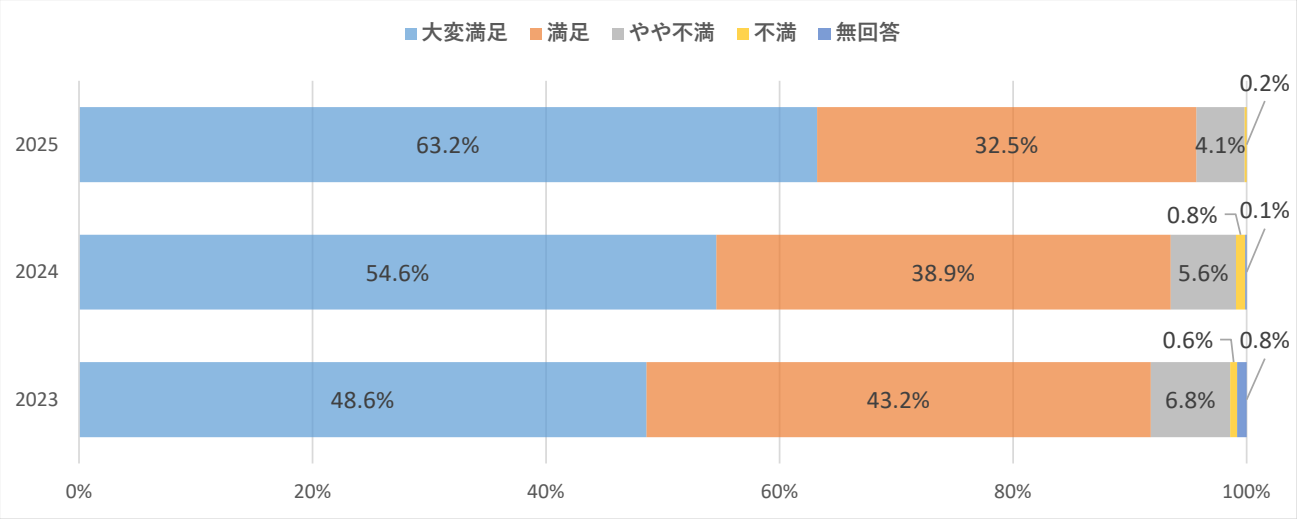
（１）保育内容全般



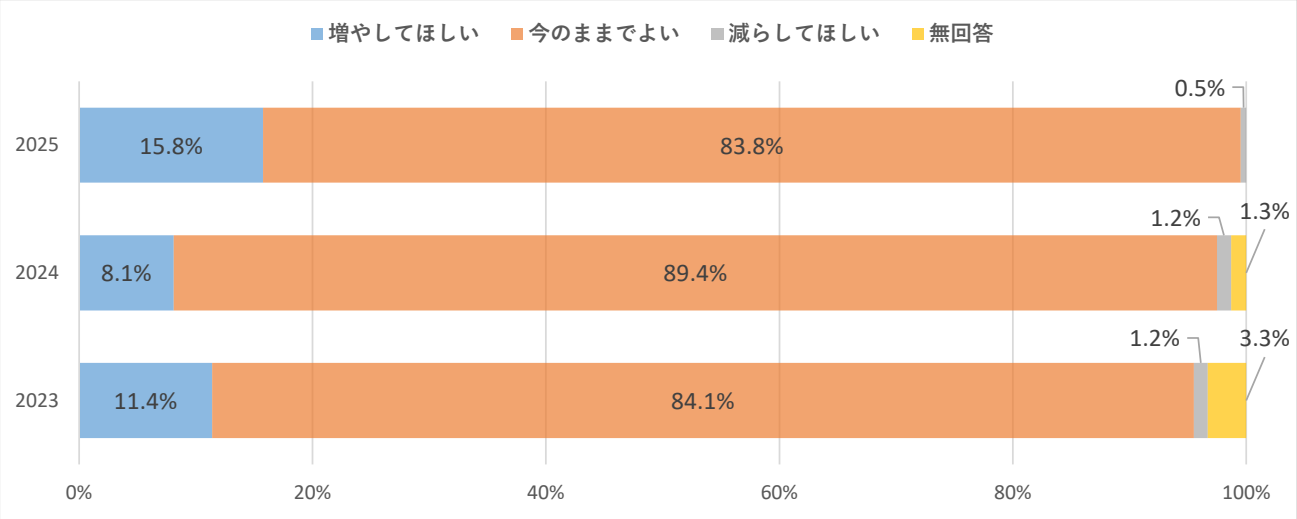
（２）建物や園庭などの施設



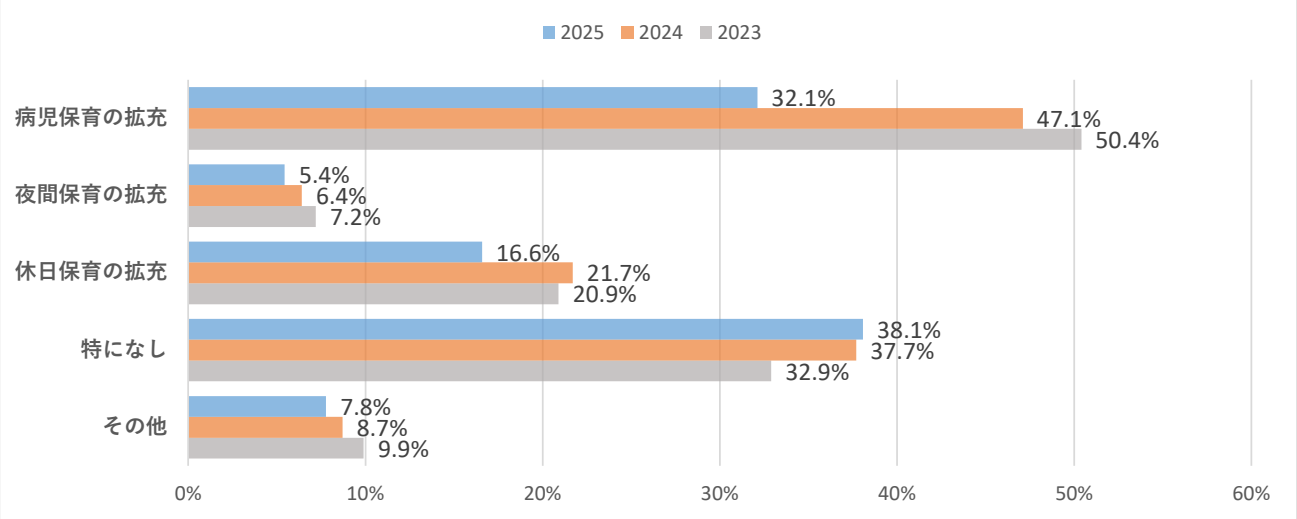
（３）職員の対応



（４）地域の親子との交流（園庭開放など）



（５）特に充実してほしい支援策（複数回答）



②認定こども園

1　調査方法

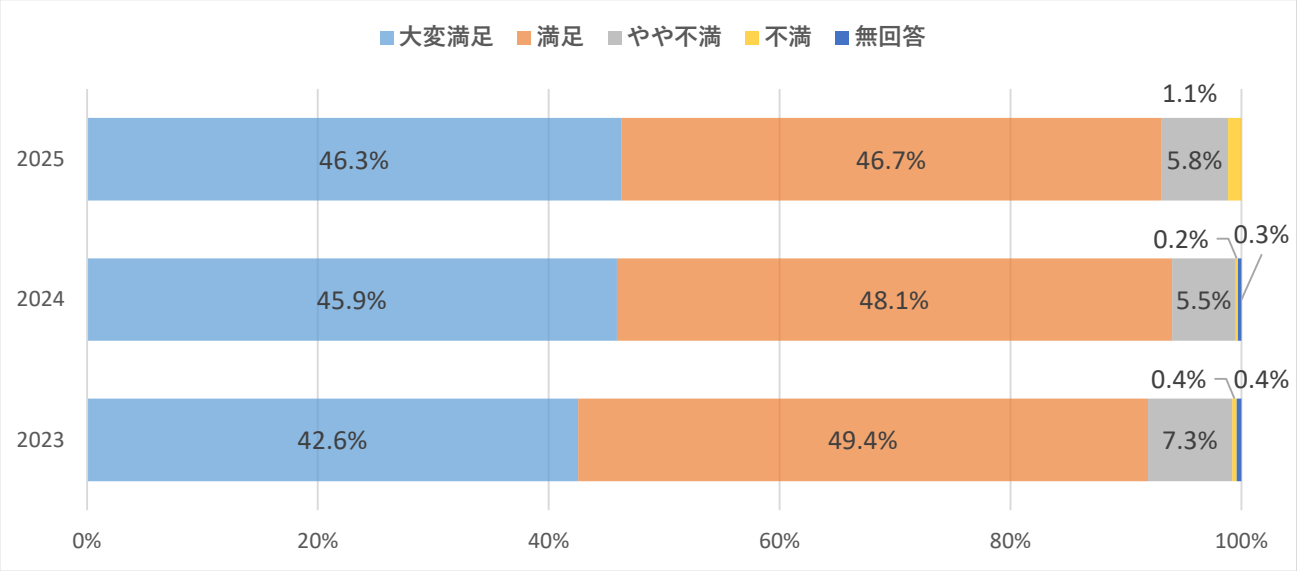
・2026 年 7 ～ 8 月、幼保連携型認定こども園 223 箇所及び幼稚園型認定こども園 6 箇所計 229 箇所に通うこどもの中から、園ごとに各年齢 2 名ずつ無作為抽出し、こどもの保護者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集

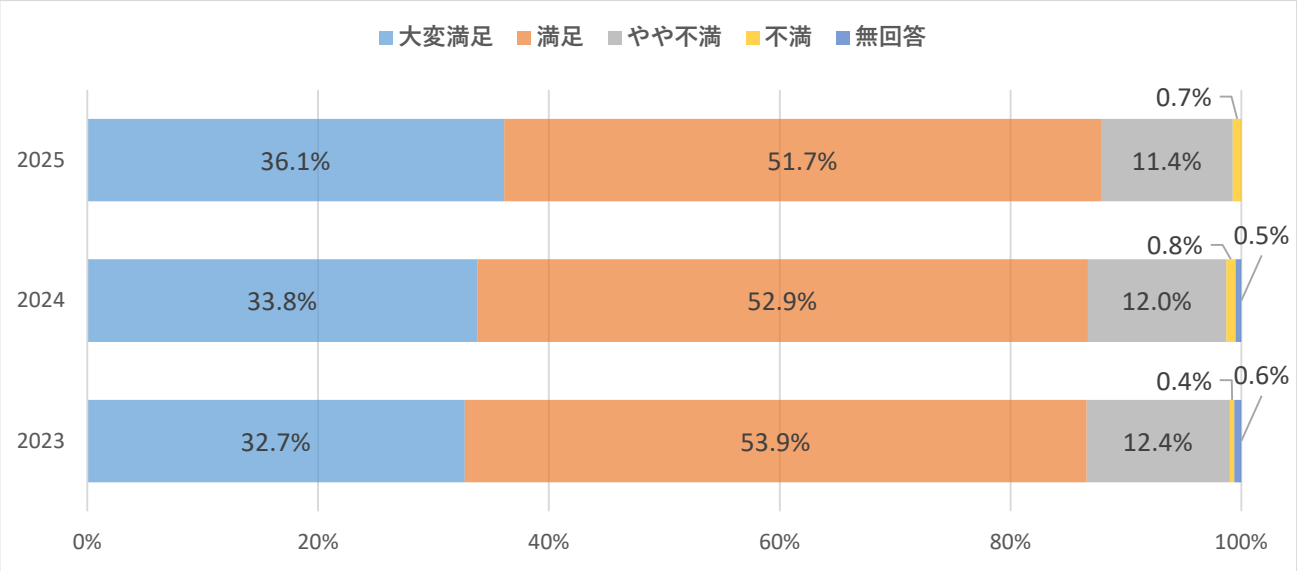
・回収数 963／配布数 1,728（回収率 55.7%）

2　調査結果

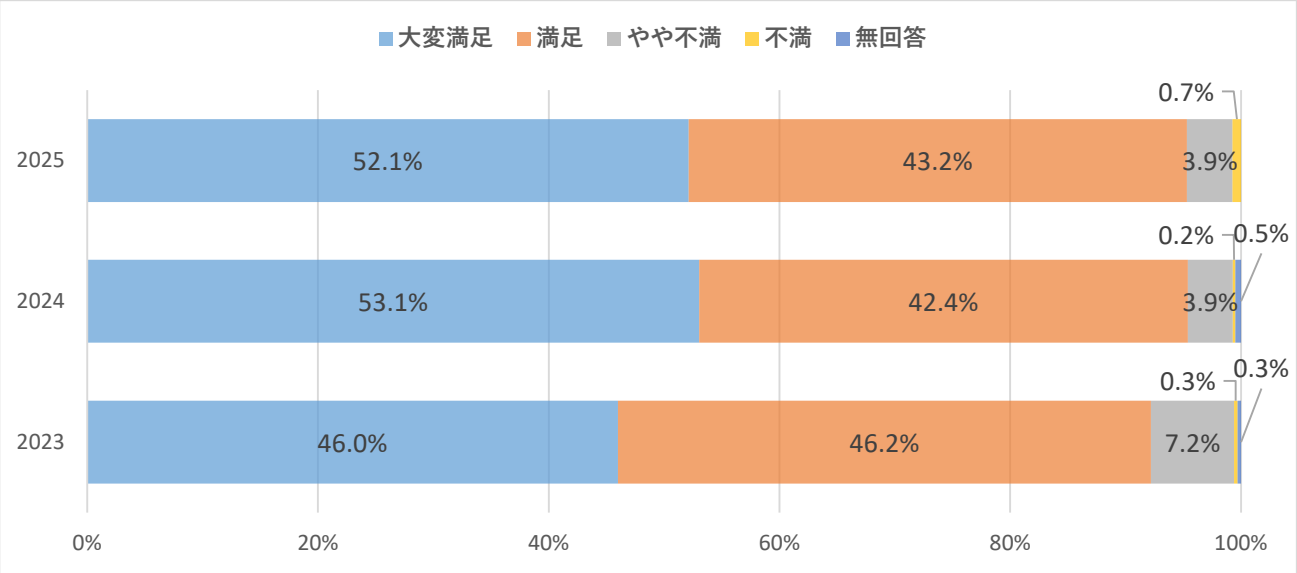
（１）保育内容全般



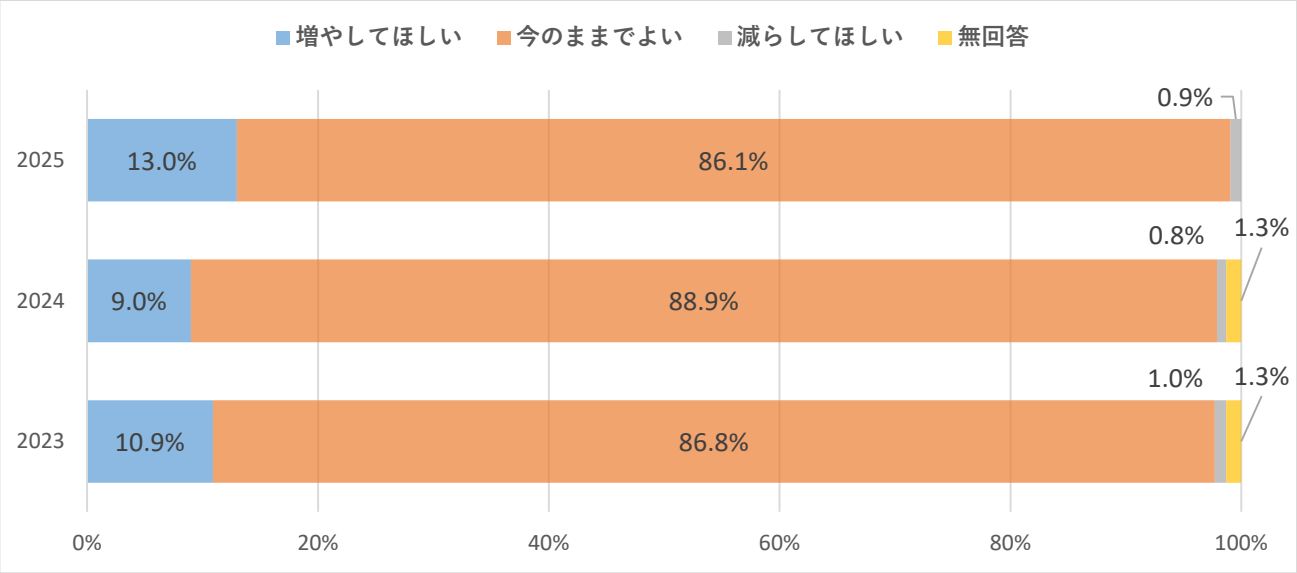
（２）建物や園庭などの施設



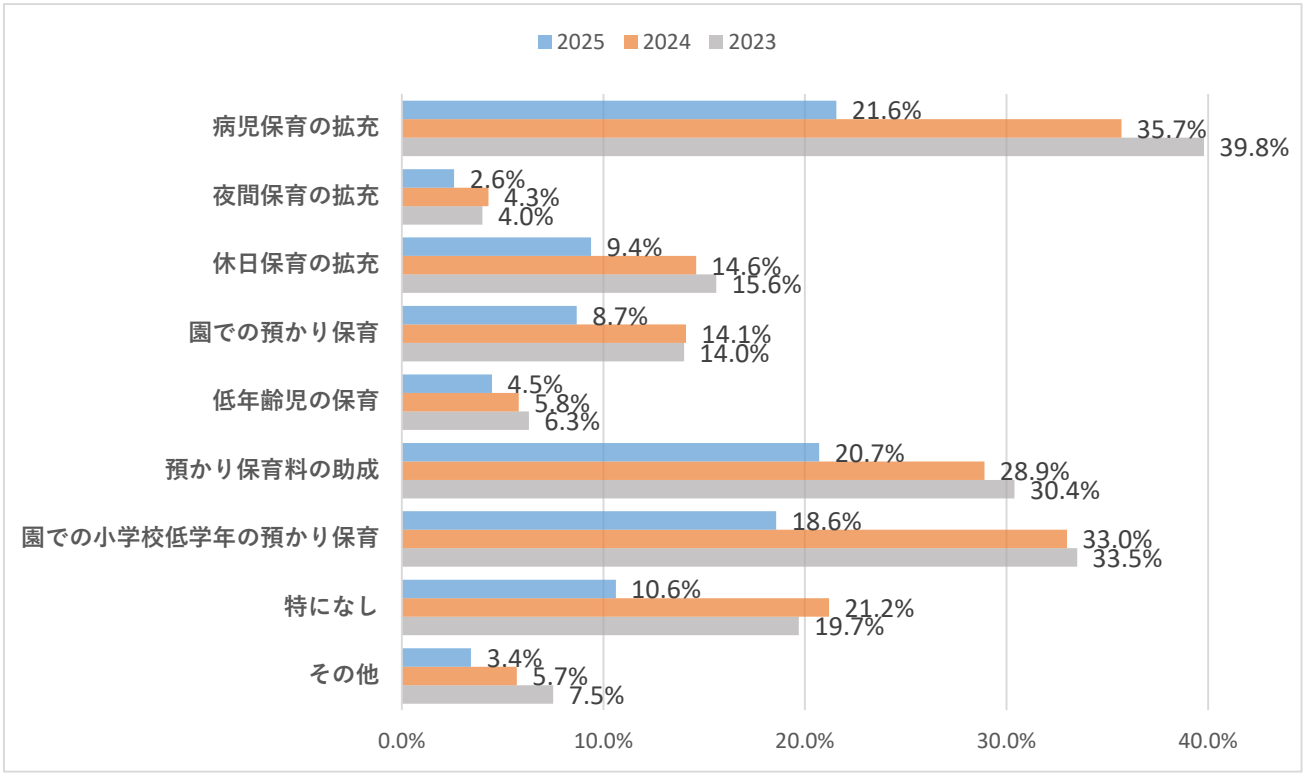
（３）職員の対応



（４）地域の親子との交流（園庭開放など）



（５）今後、充実して欲しい支援策について（複数回答）



③幼稚園

１　調査方法

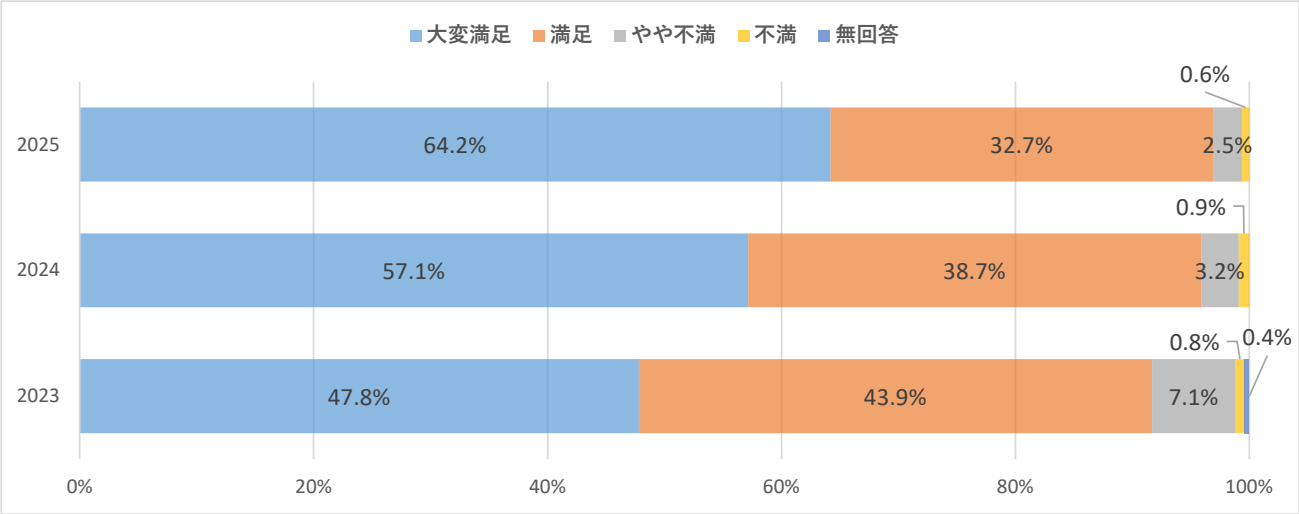
・2026 年７～８月、公立幼稚園 25 箇所及び私立幼稚園 33 箇所計 58 箇所を通じて、園ごとに、各年齢２名ずつ無作為抽出されたこどもの保護者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集

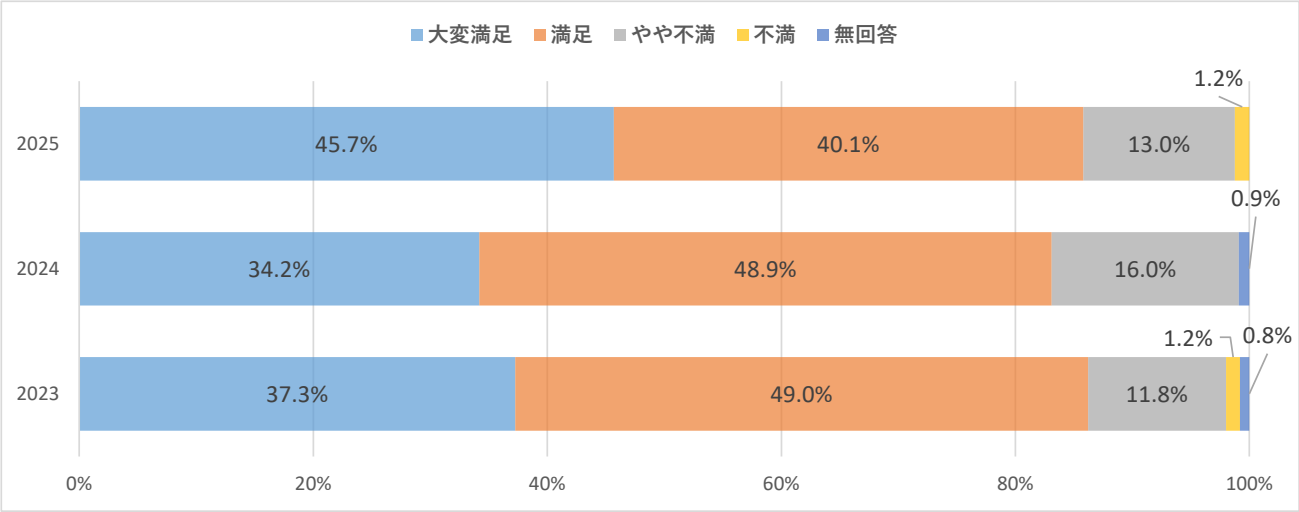
・回収数 162／配布数 244（回収率 66.4%）

２　調査結果

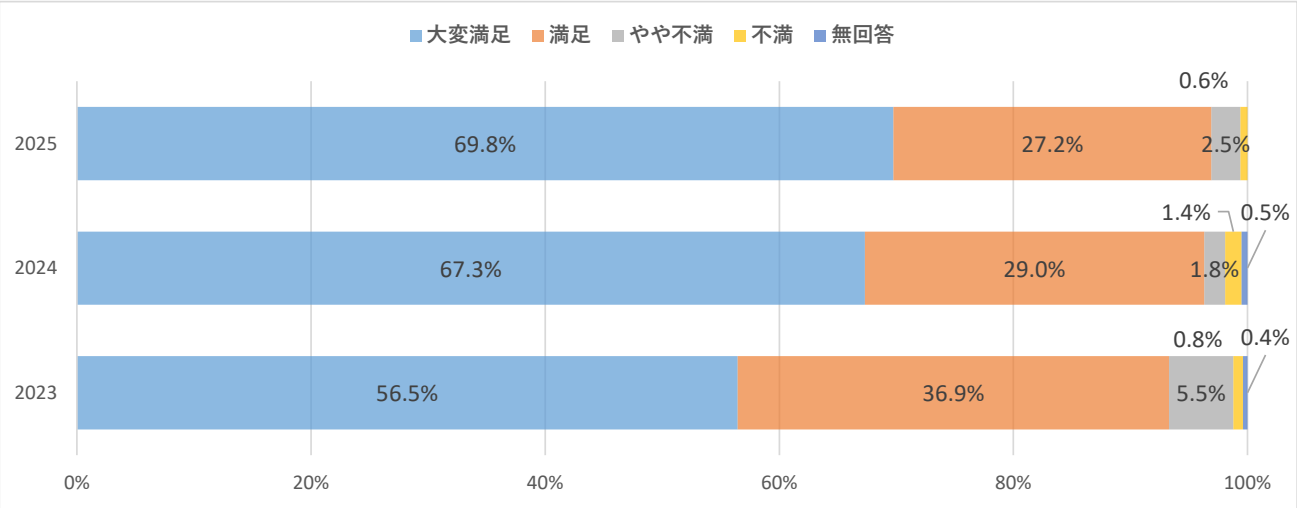
（１）保育内容全般



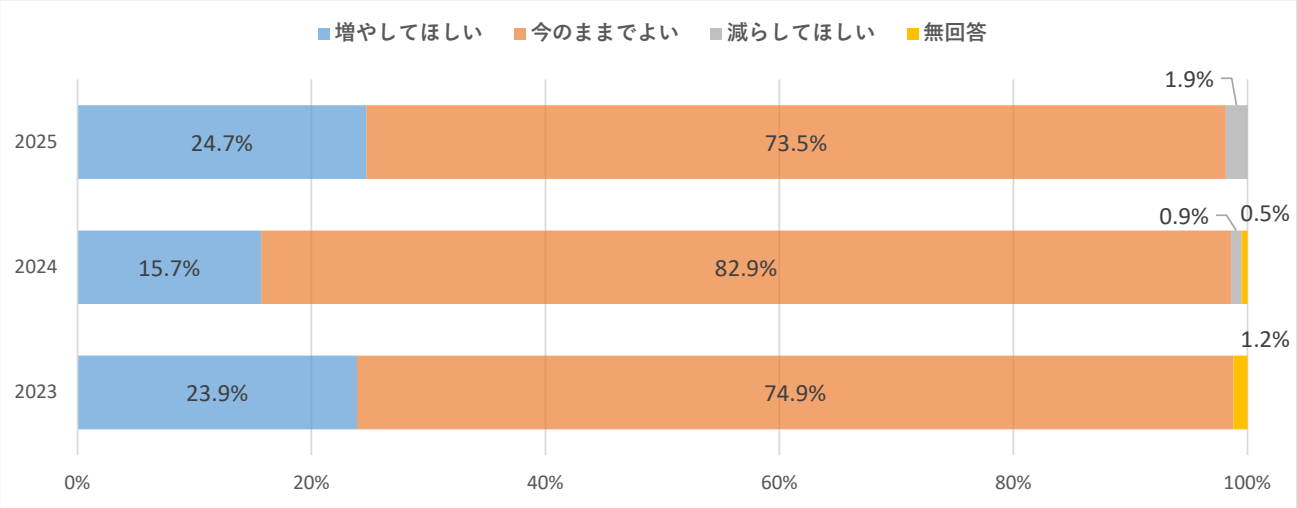
（２）建物や園庭などの施設



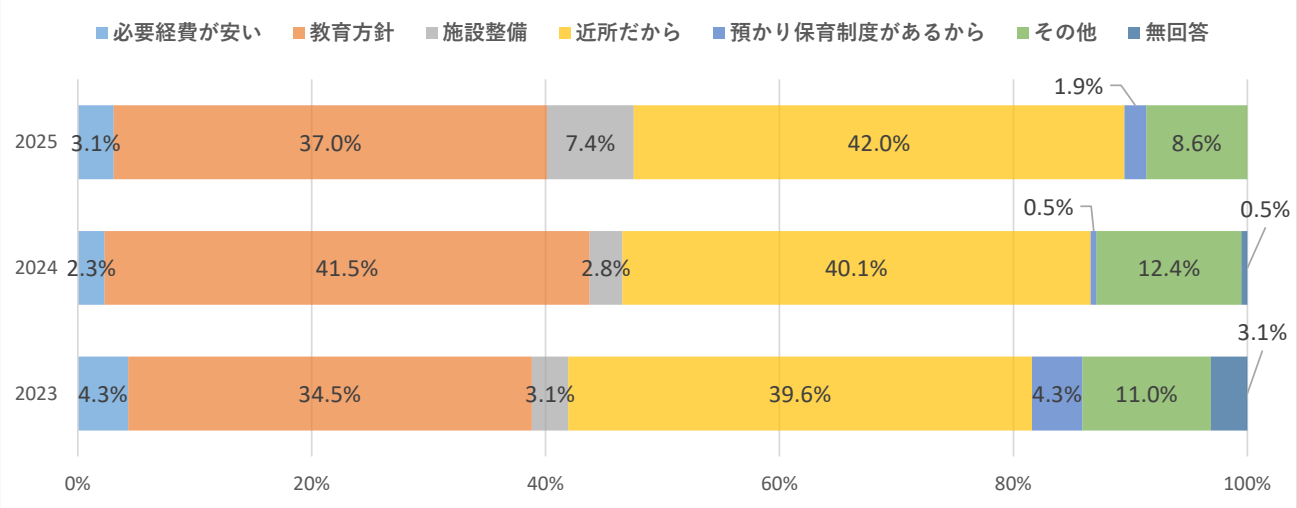
（３）職員の対応



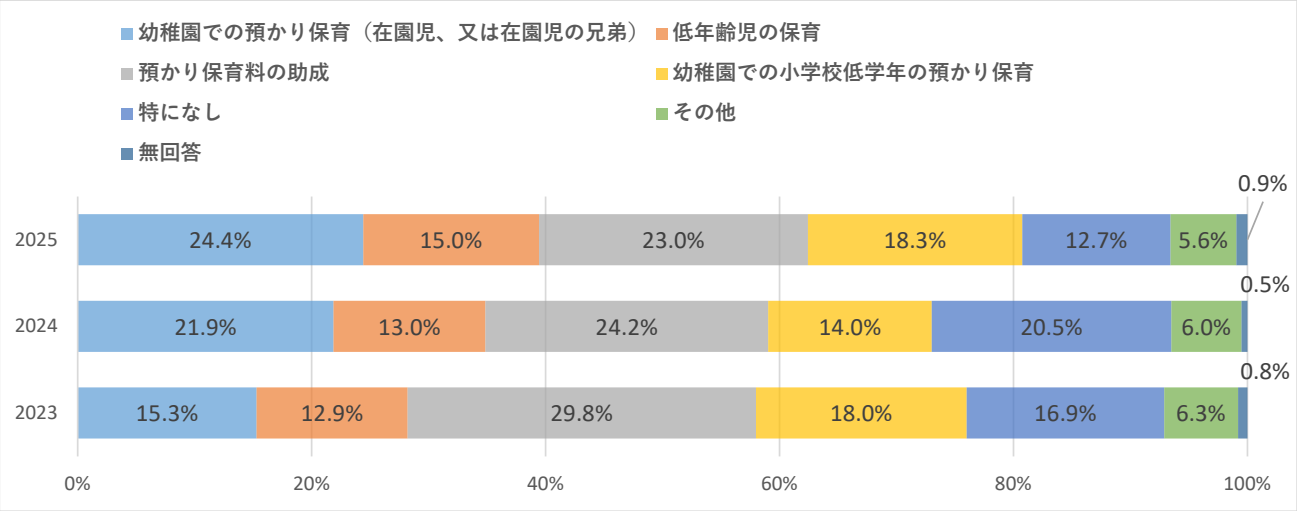
（４）未就園児保育や園庭開放



（５）現在通う園を選択した理由



（６）どのような子育て支援が必要か



④児童館

1　調査方法

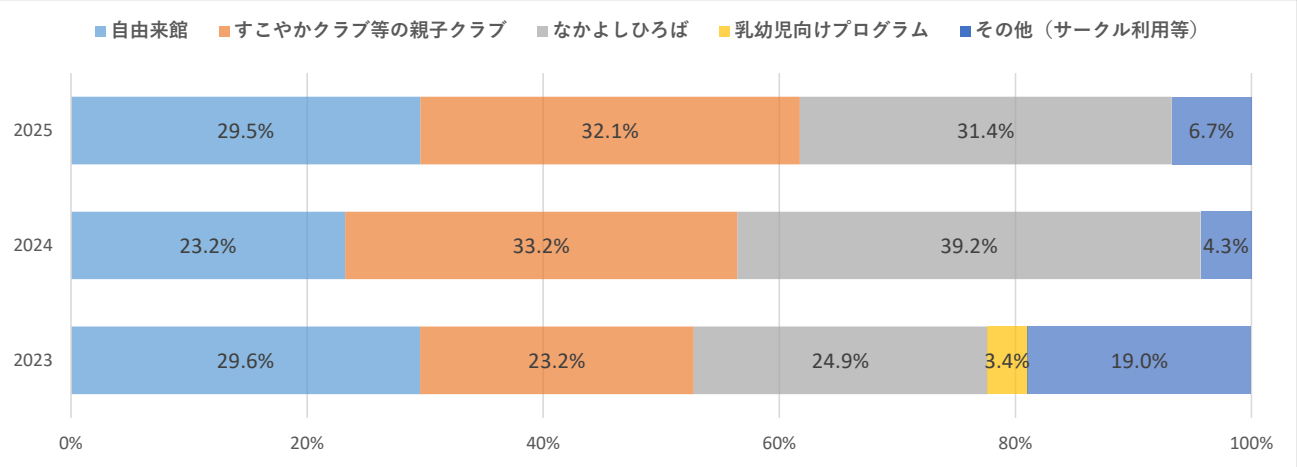
・2026 年 1 ～ 3 月、公立児童館 115 箇所及び民設児童館 5 箇所計 120 箇所で、調査期間中の利用者を対象に実施

・施設を通じて、利用者に二次元コードを記載した調査票を配布、もしくは利用者にメール等で WEB サイトを案内し、WEB サイトから回答を収集

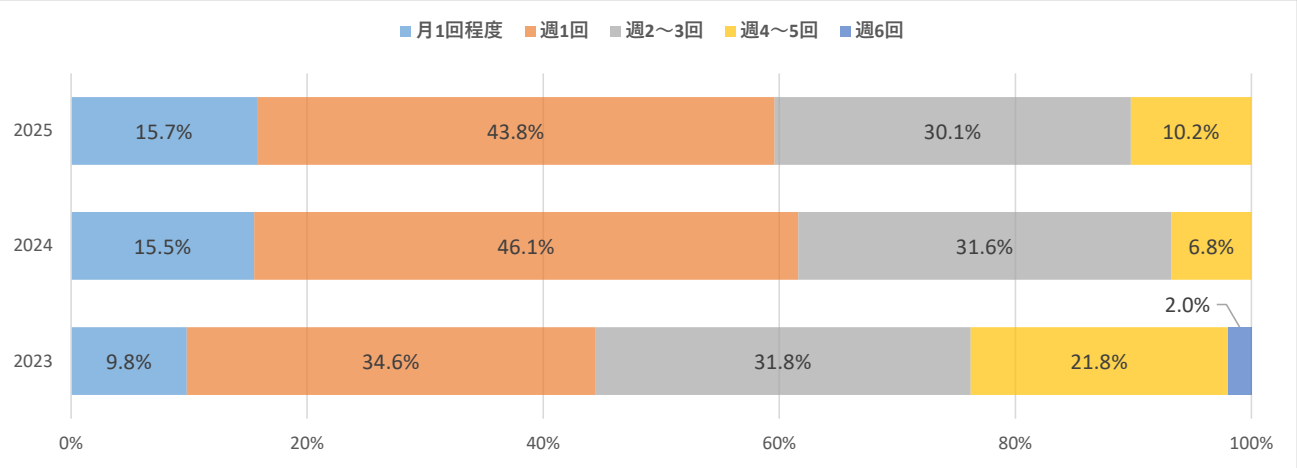
・回収数 1,216／配布数-（回収率-）

2　調査結果

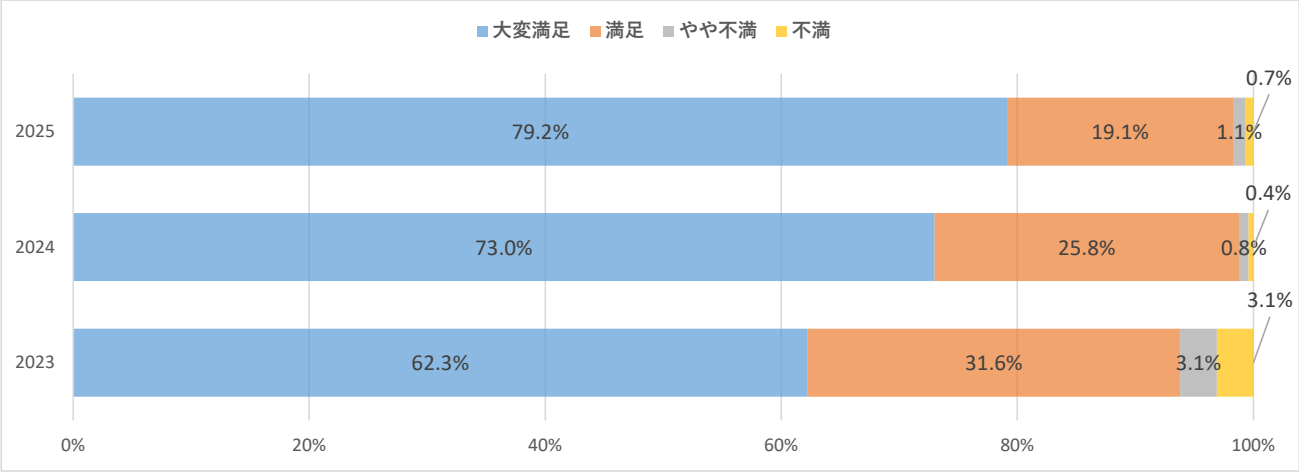
（１）何を利用したか



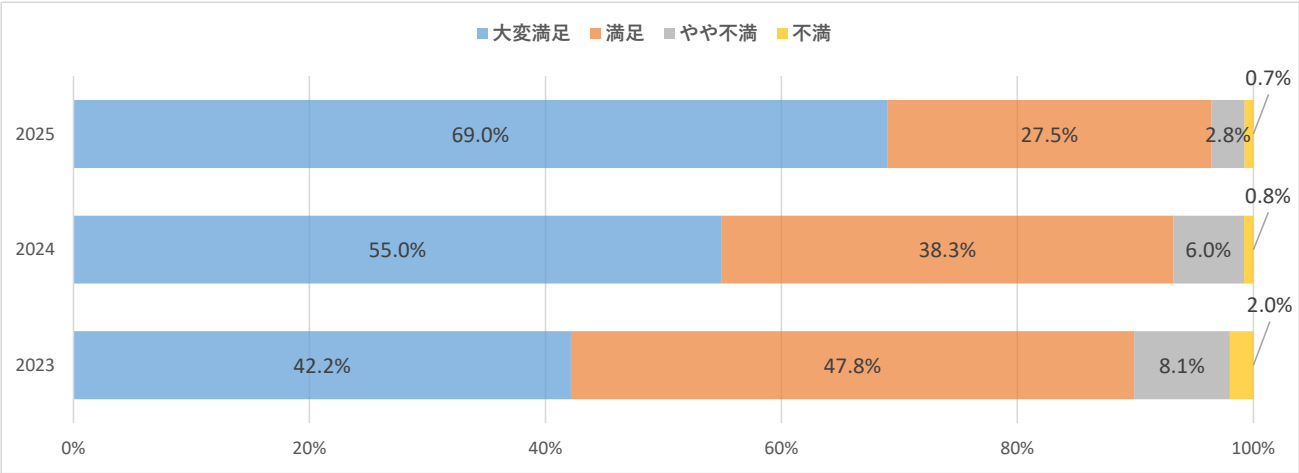
（２）利用の頻度



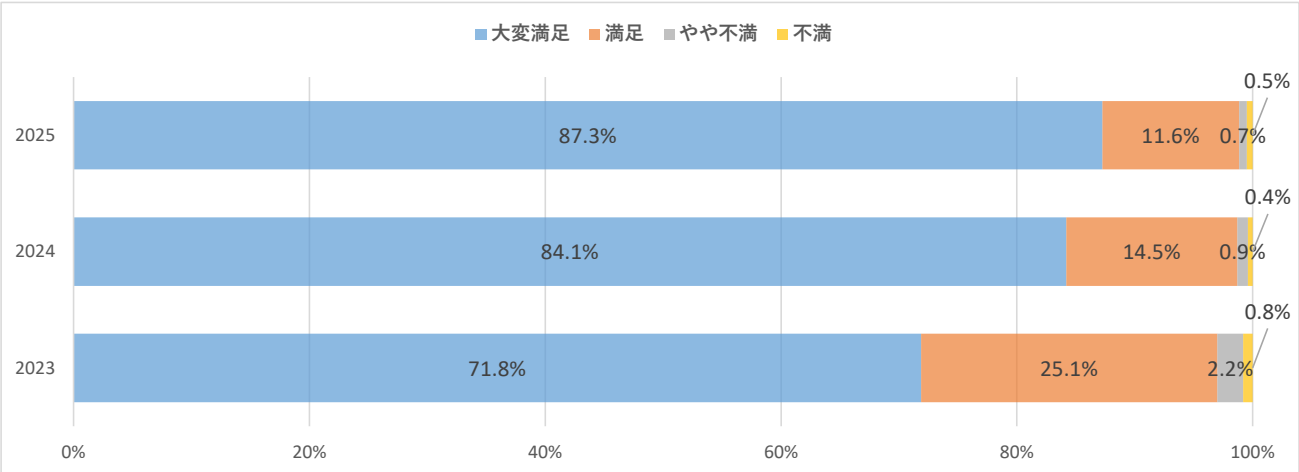
（３）サービス内容



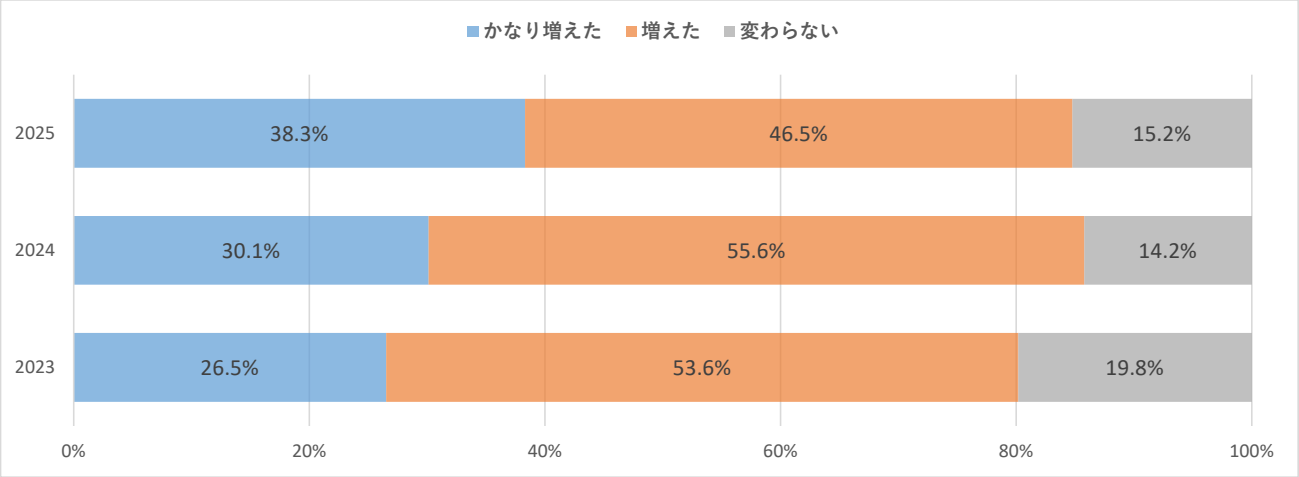
（４）施設



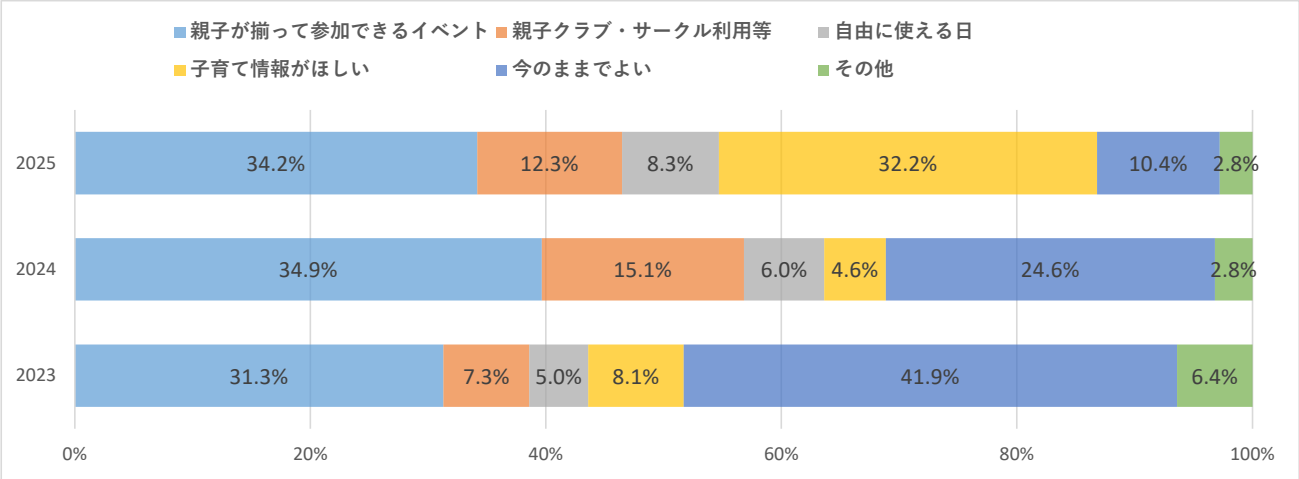
（５）職員の対応



（６）利用により新しい知人が増えたか



（７）児童館で増やしてほしいサービス



⑤大学連携（大学と連携した子育て支援事業）

１　調査概要

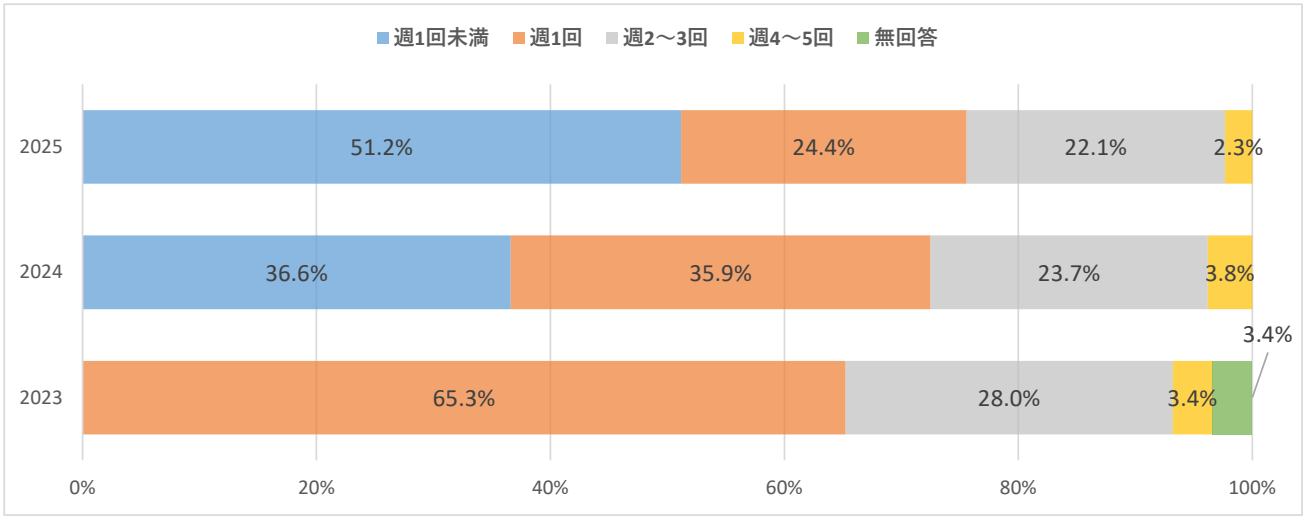
・2026 年７～８月、大学と連携した子育て支援事業を実施している施設（７大学９か所）の利用者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集

・回収数 86/配布数 150（回収率 57.3%）

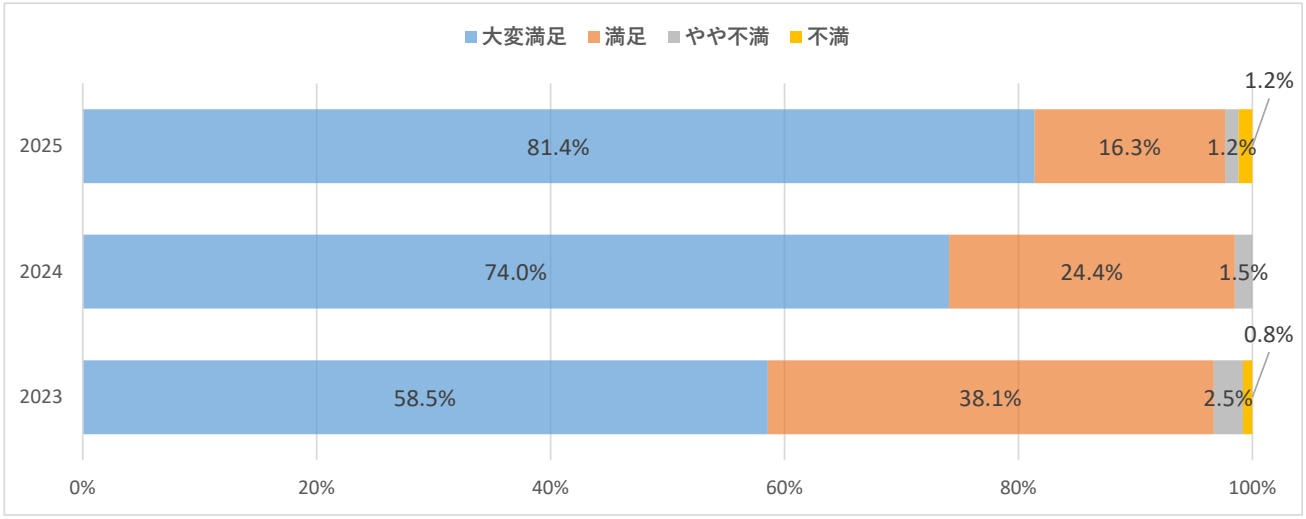
２　調査結果

（１）利用の頻度

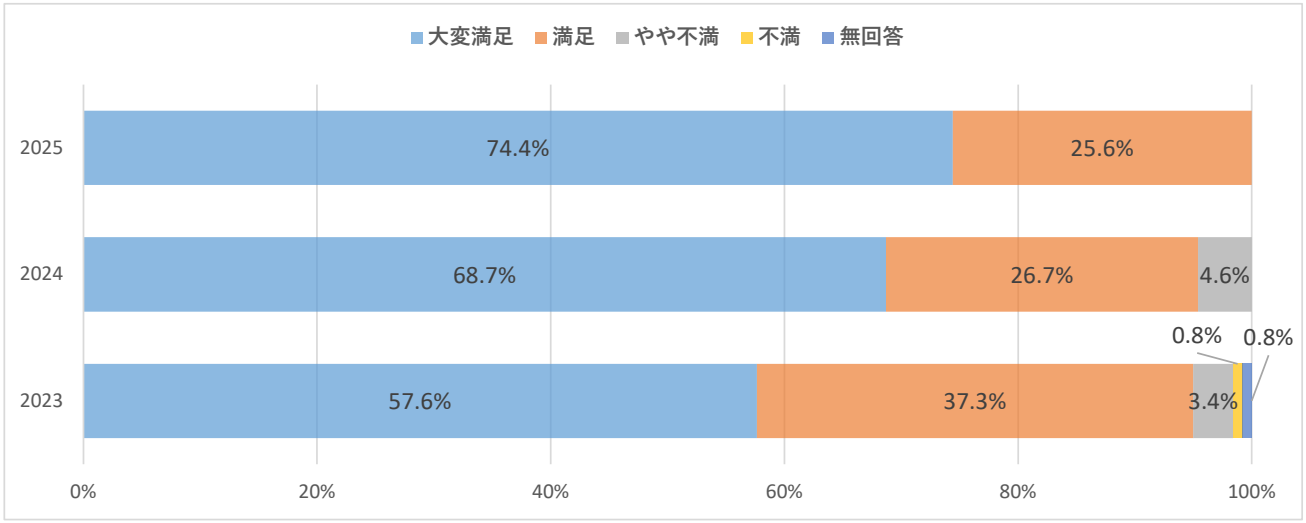


※「週１回未満」の選択肢は 2024 年度に追加

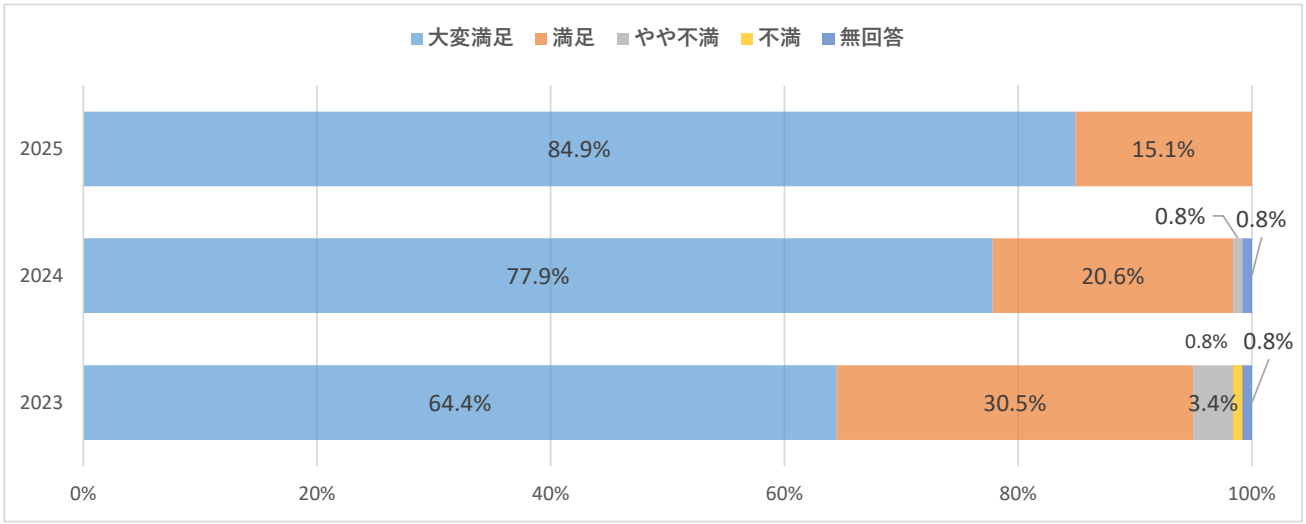
（２）サービス内容



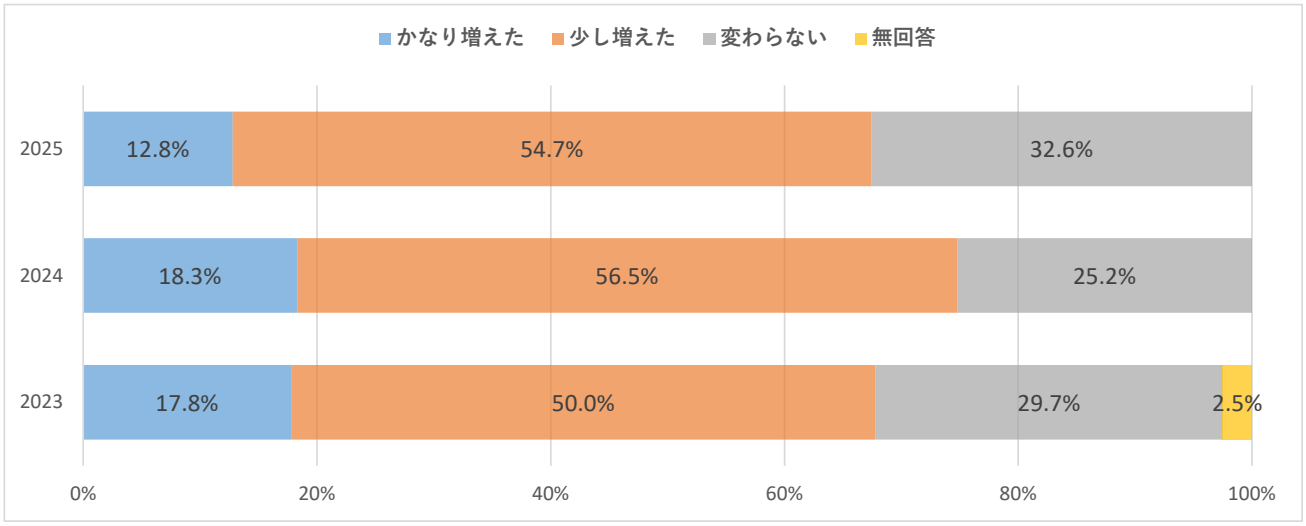
（３）施設



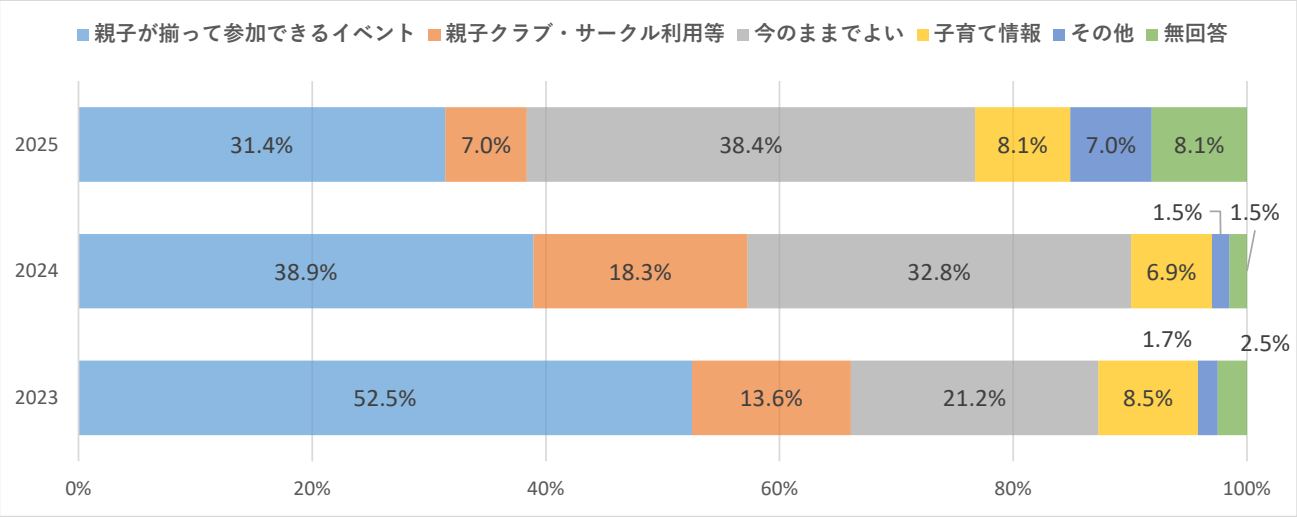
（４）支援員の対応



（５）利用により新しい知人が増えたか



（６）増やしてほしいサービス



⑥学童保育

1　調査概要

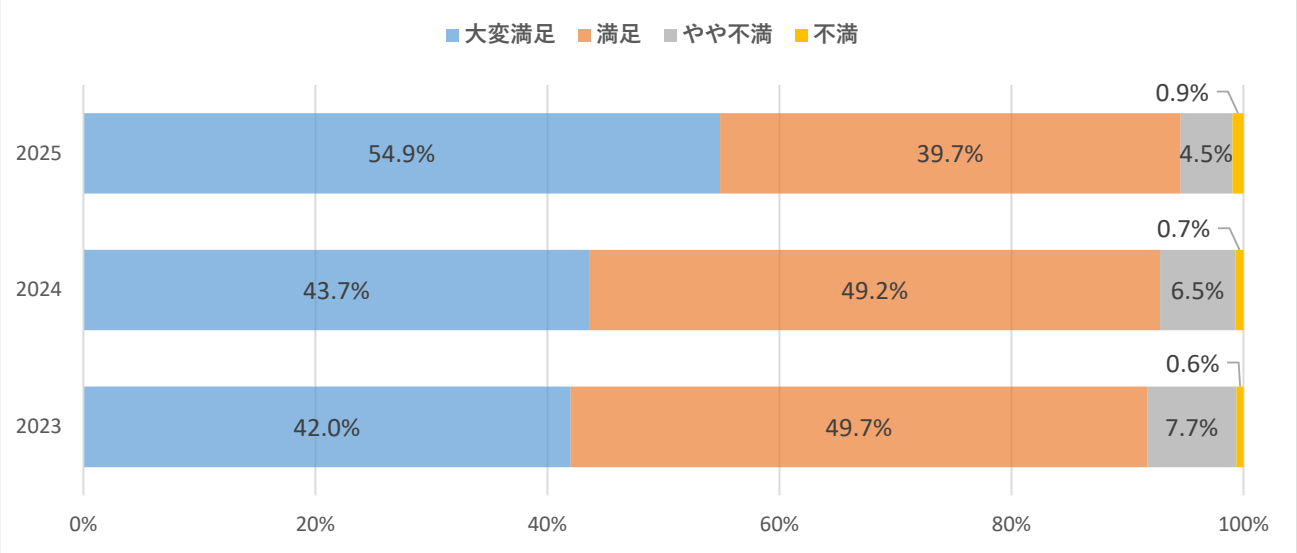
・2026 年１～３月、学童保育所（215 箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施

・施設を通じて、二次元コードを記載したこども用と保護者用の調査票を配布、もしくは利用者の保護者にメール等で WEB サイトを案内し、WEB サイトから回答を収集

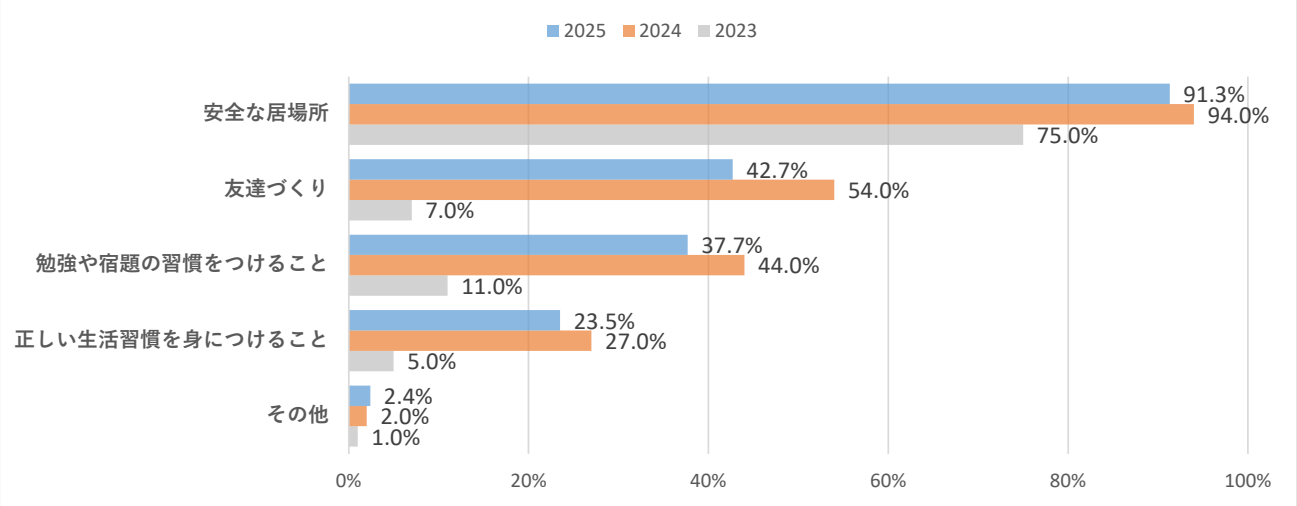
・回収数 4,845/配布数-（回収率-）

2　調査結果（保護者用）

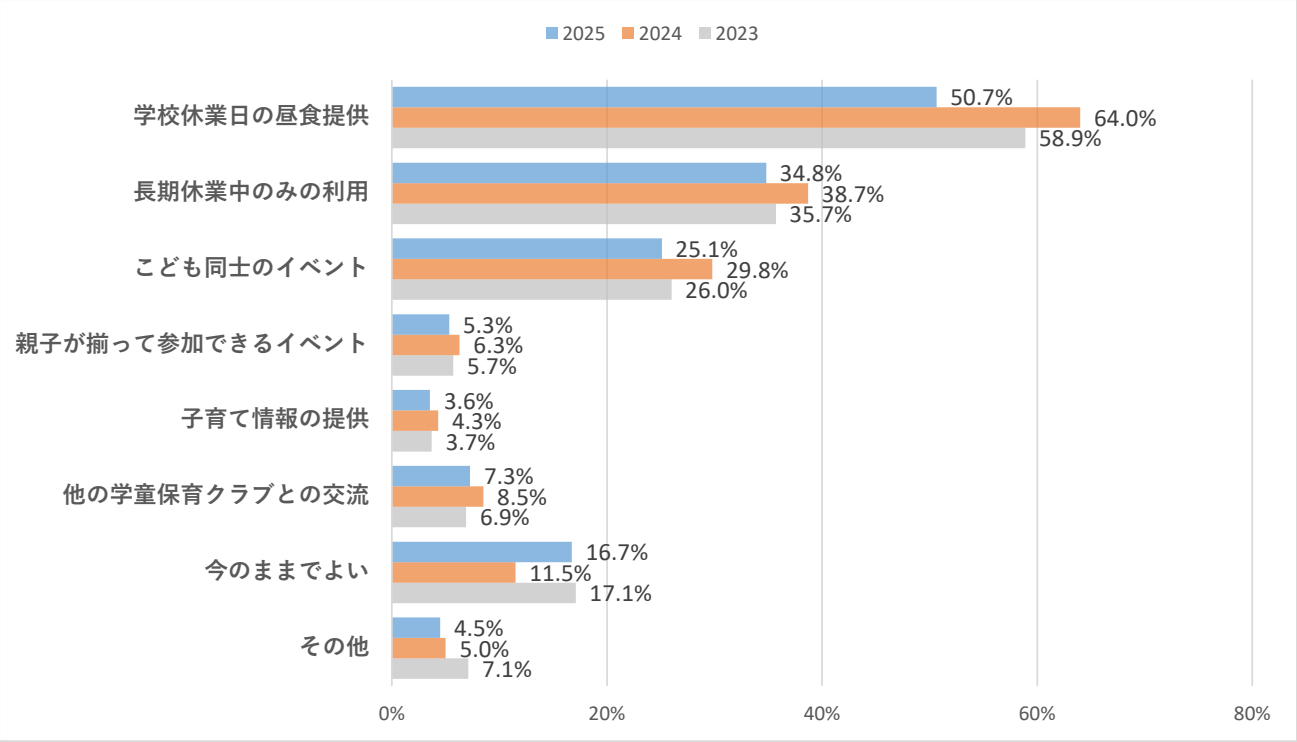
（１）サービス内容



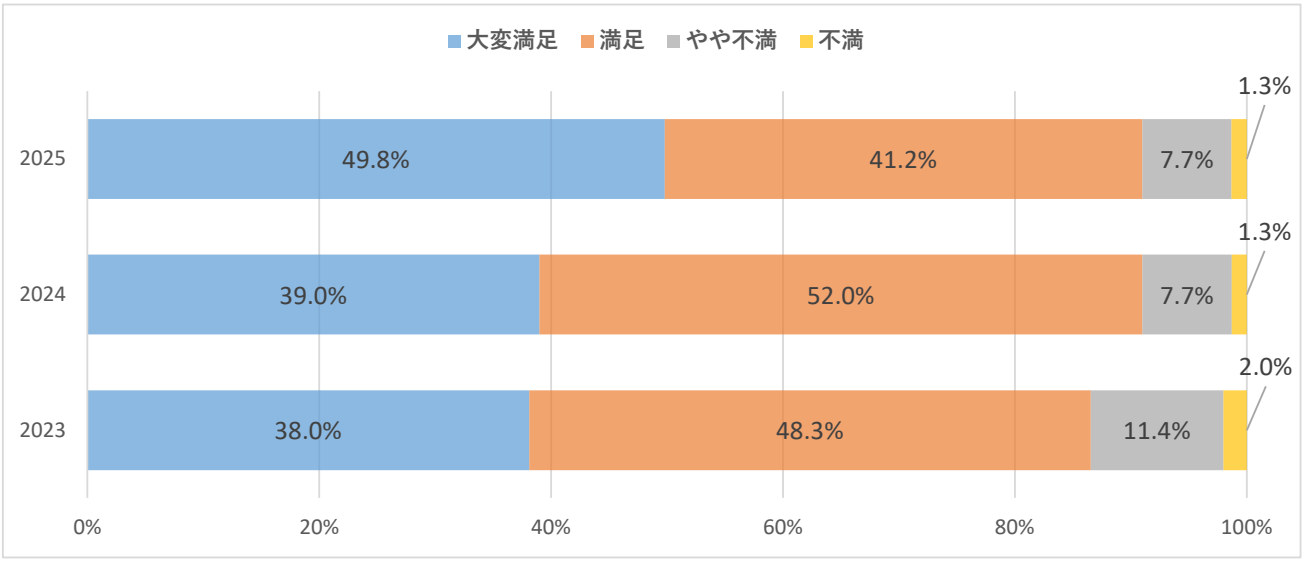
（２）学童保育に求めること　※2024 年度より、単一回答から複数回答に変更。



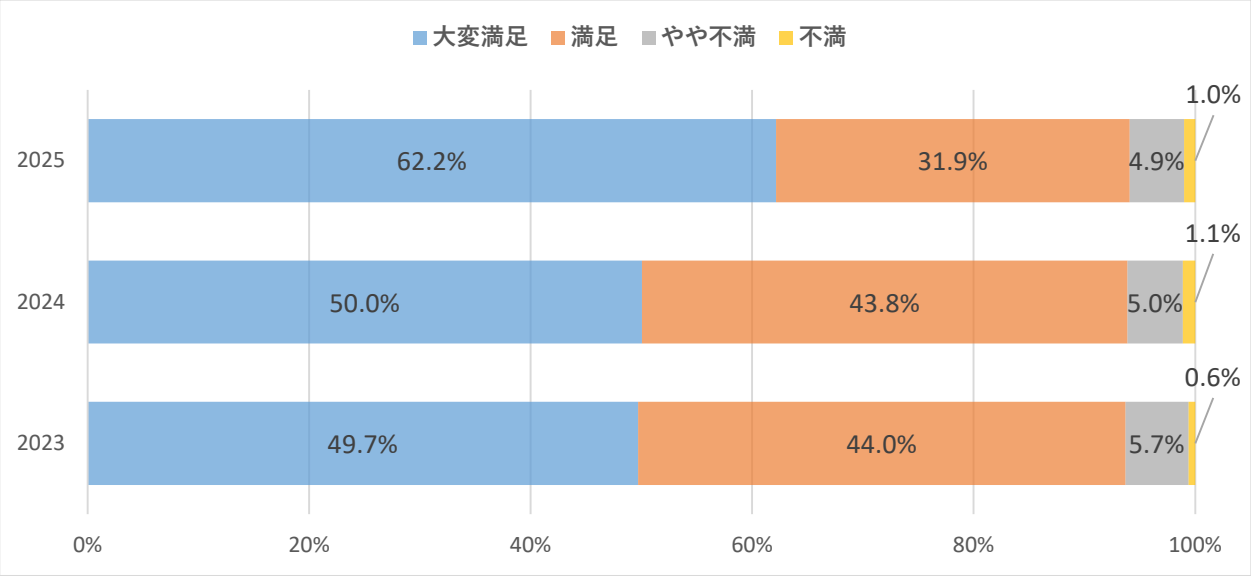
（３）増やしてほしいサービス（複数回答）



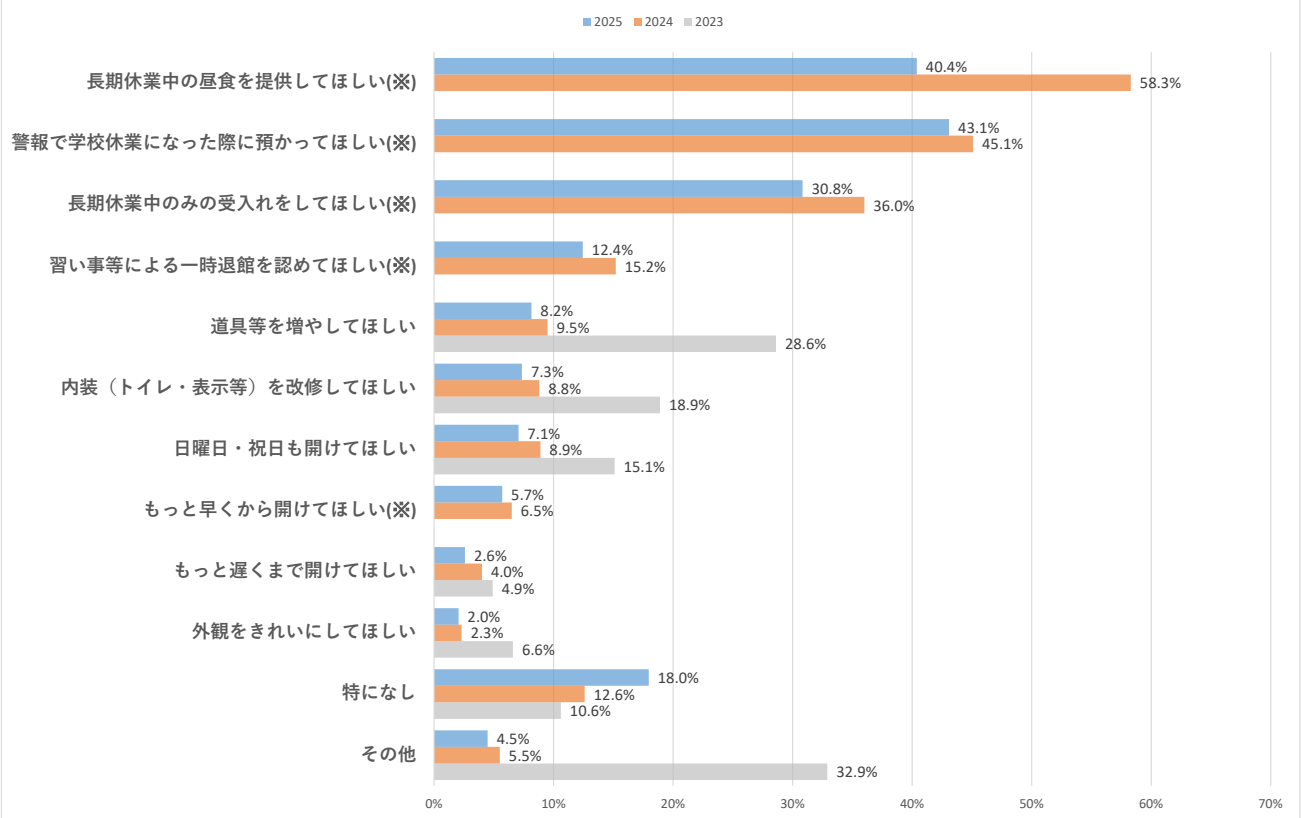
（４）施設



（５）職員の対応



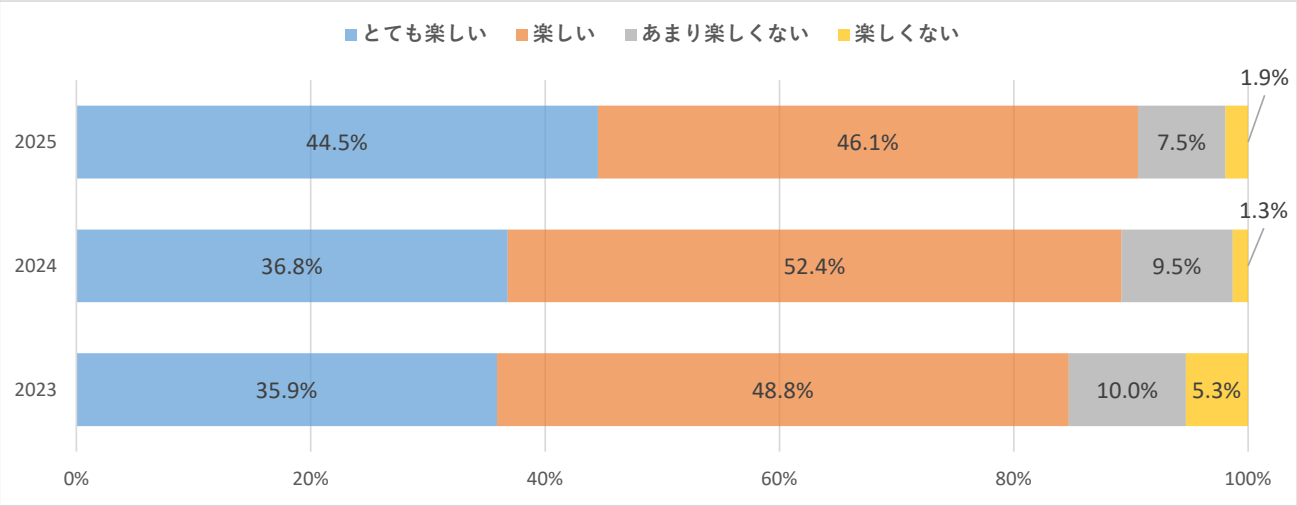
（６）利用に関する要望（複数回答）



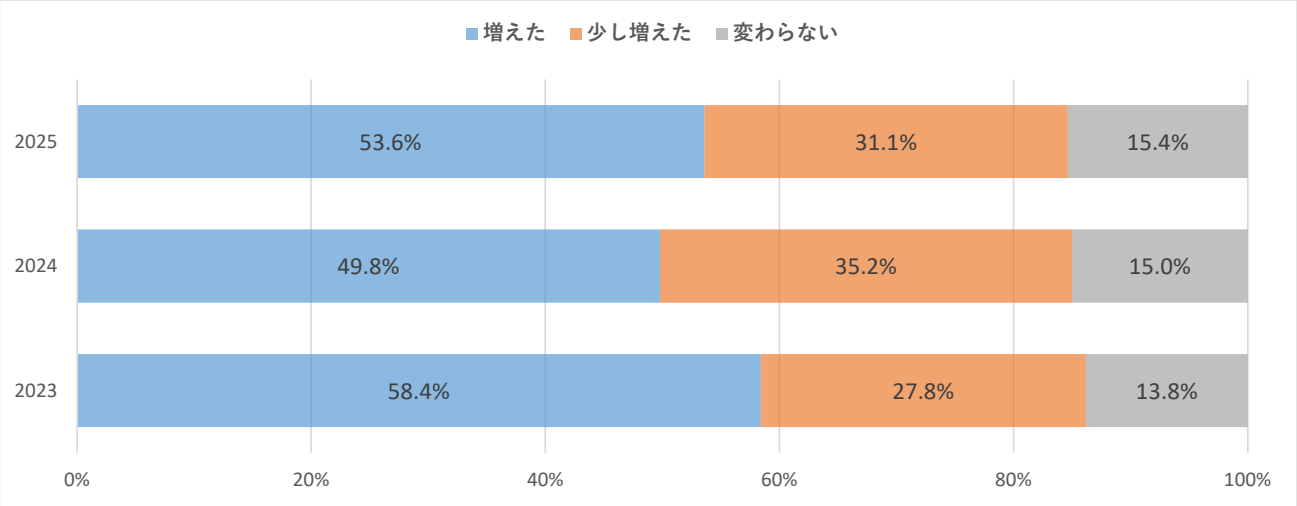
(※)の項目は、2024 年度から選択肢を追加

３　調査結果（こども用）

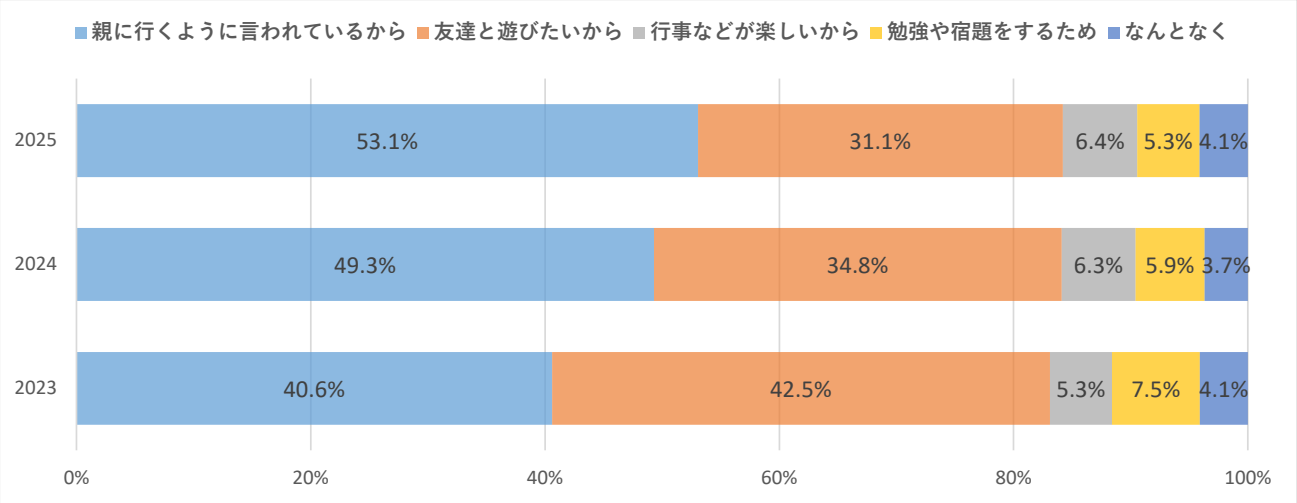
（１）学童に来るのは楽しいか



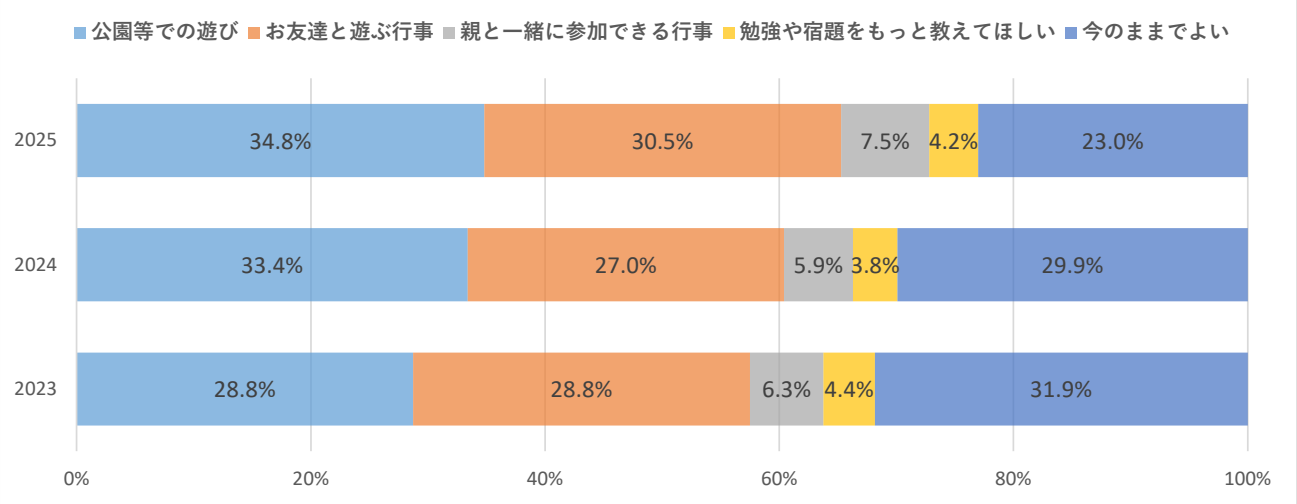
（２）学童で新しい友達は増えたか



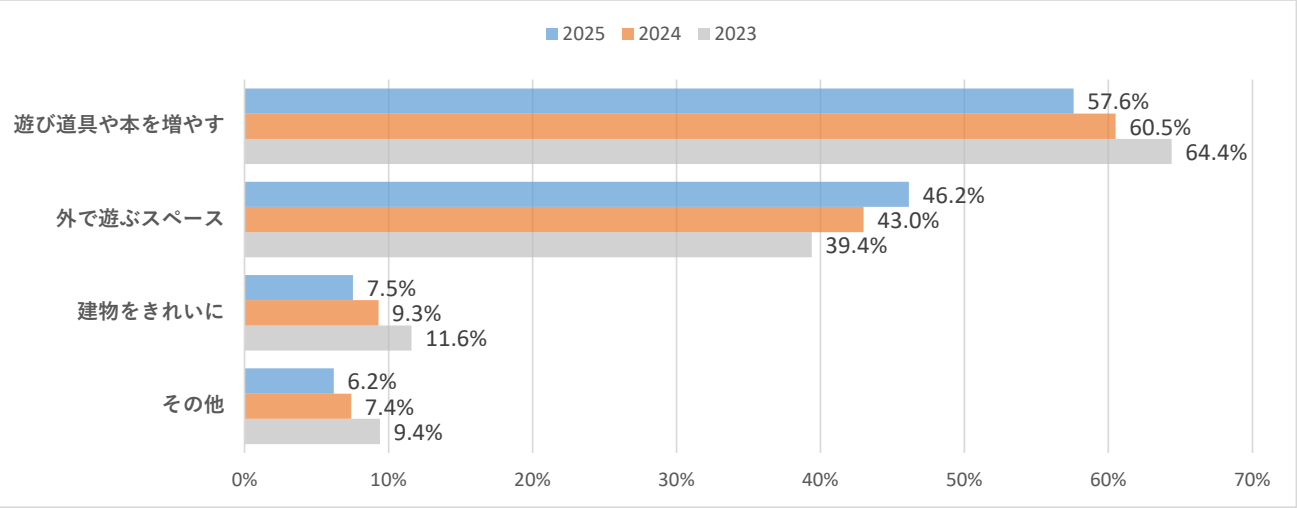
（３）学童に来る理由



（４）学童でどんなことを増やしてほしいか



（５）整備してほしいこと（複数回答）



⑦一時保育

1　調査方法

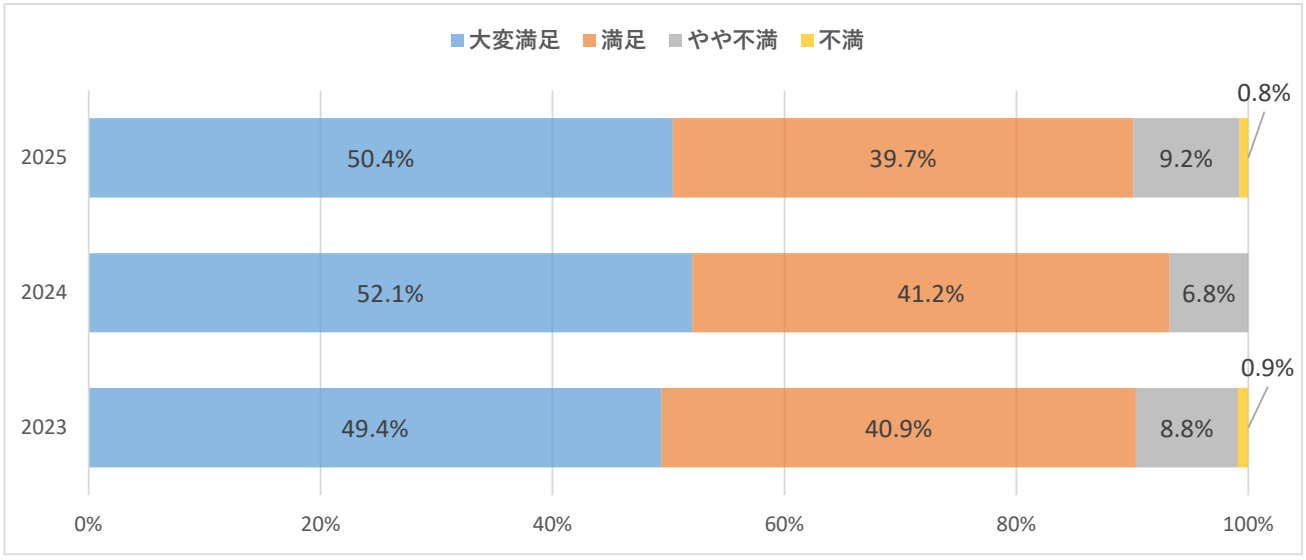
・2026 年７～８月、一時保育実施園（保育所（園）、認定こども園、小規模保育、事業所内保育）379 園で、調査期間中の利用者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したチラシ依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集

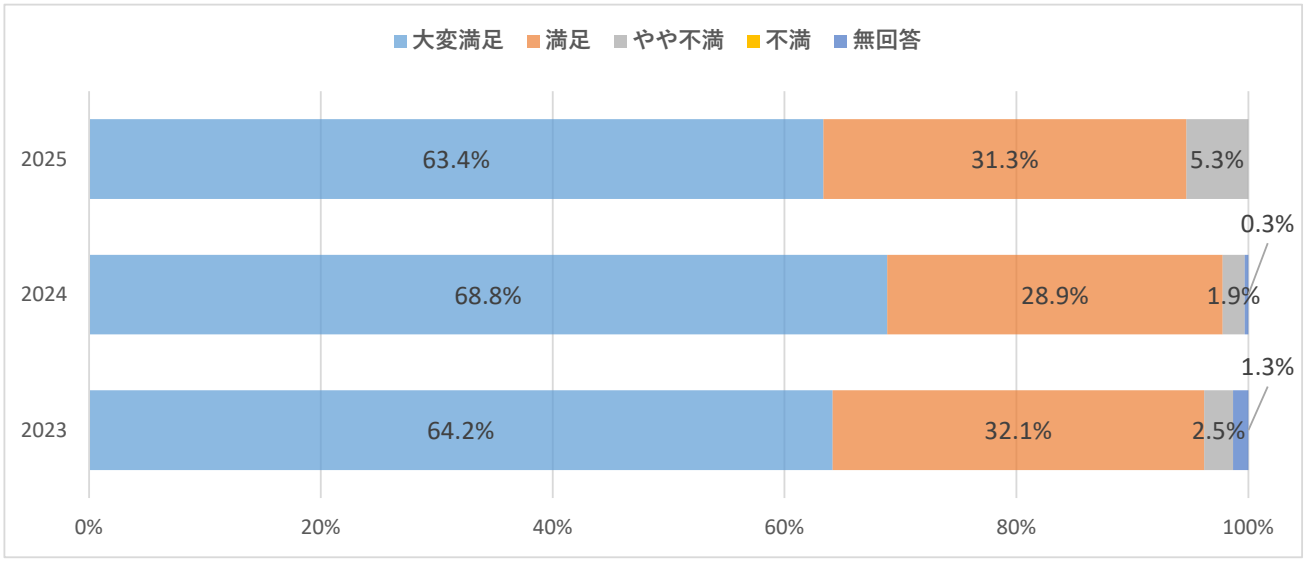
・回収数 131／配布数 435（回収率 30.1%）

2　調査結果

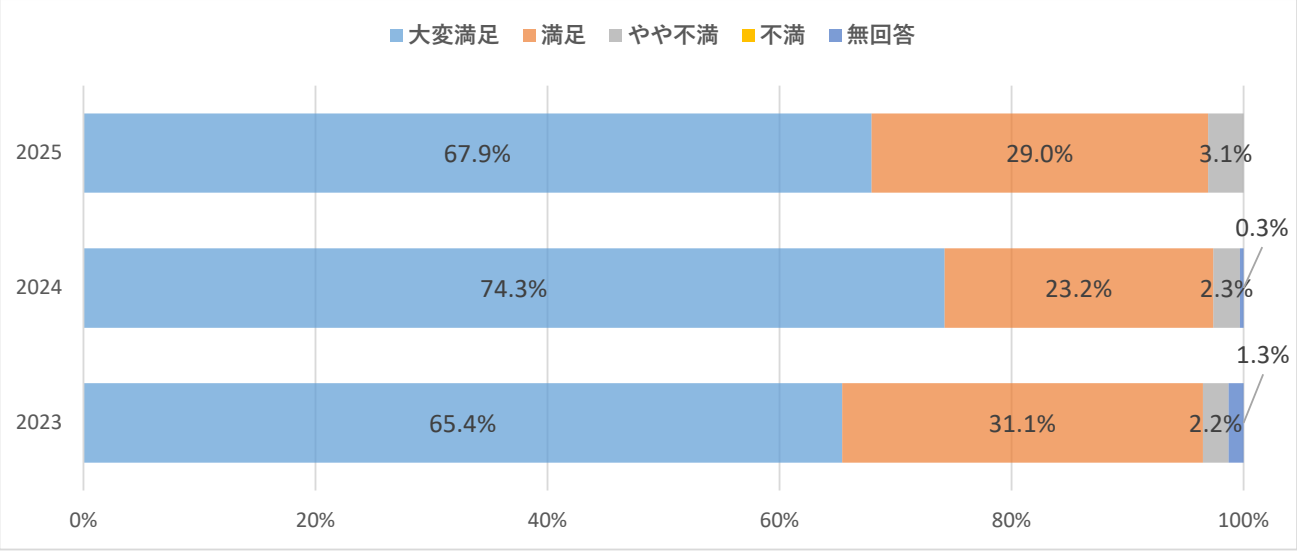
（１）サービス内容



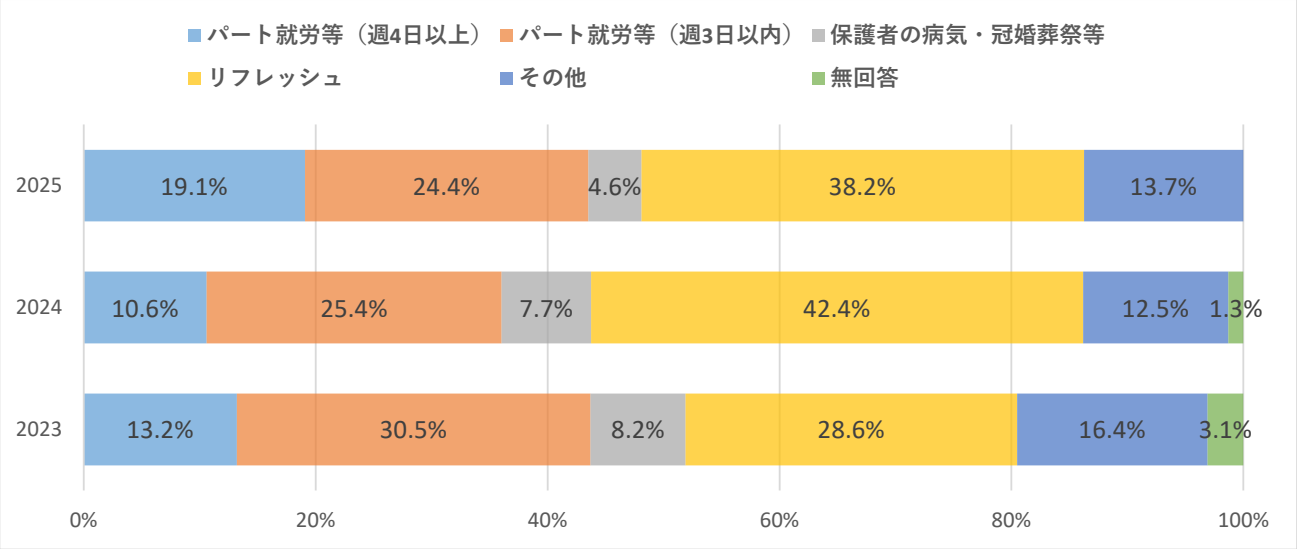
（２）施設



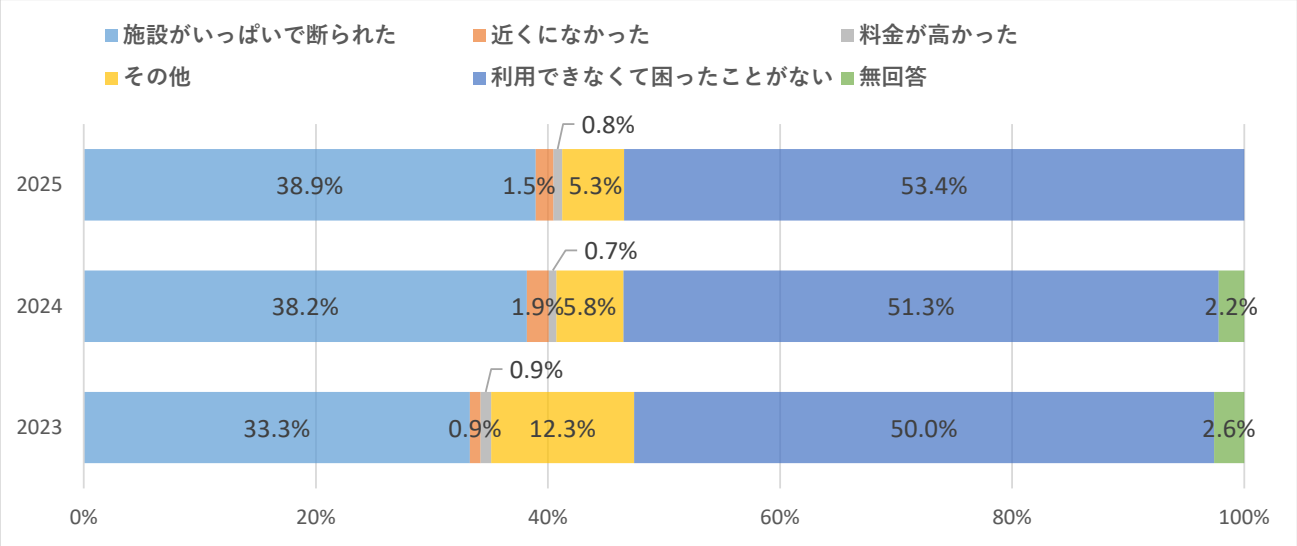
（３）職員の対応



（４）一時保育を利用した理由



（５）一時保育を利用できず困った理由



⑧子育てリフレッシュステイ

１　調査方法

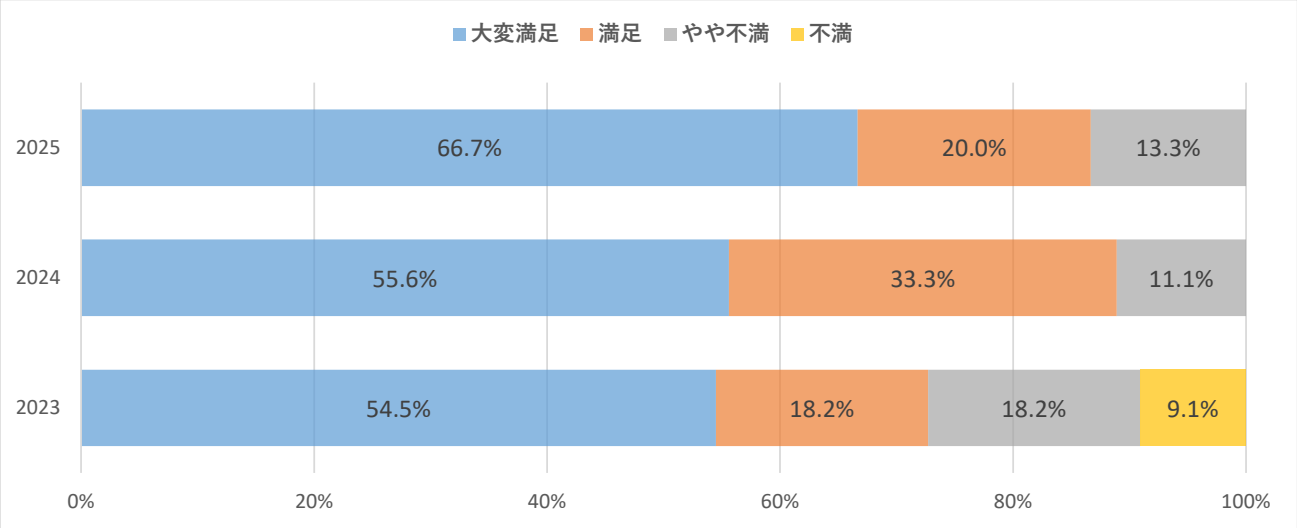
・2026 年７～８月、子育てリフレッシュステイを実施している施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童心理治療施設）24 箇所で、調査期間中の利用者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集

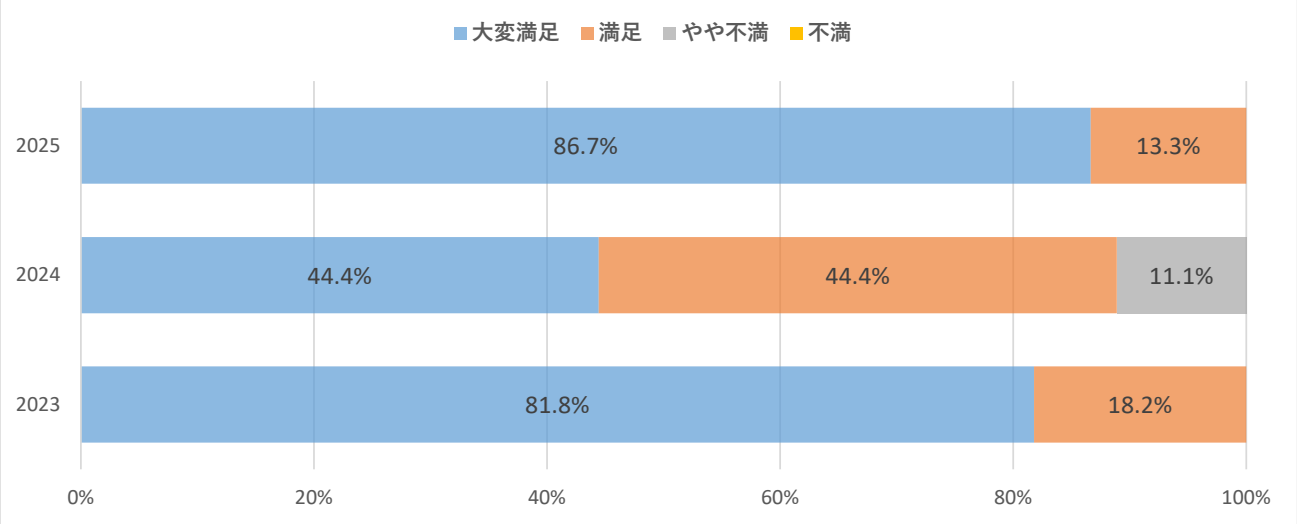
・回収数 15／配布数 46（回収率 32.6%）

２　調査結果

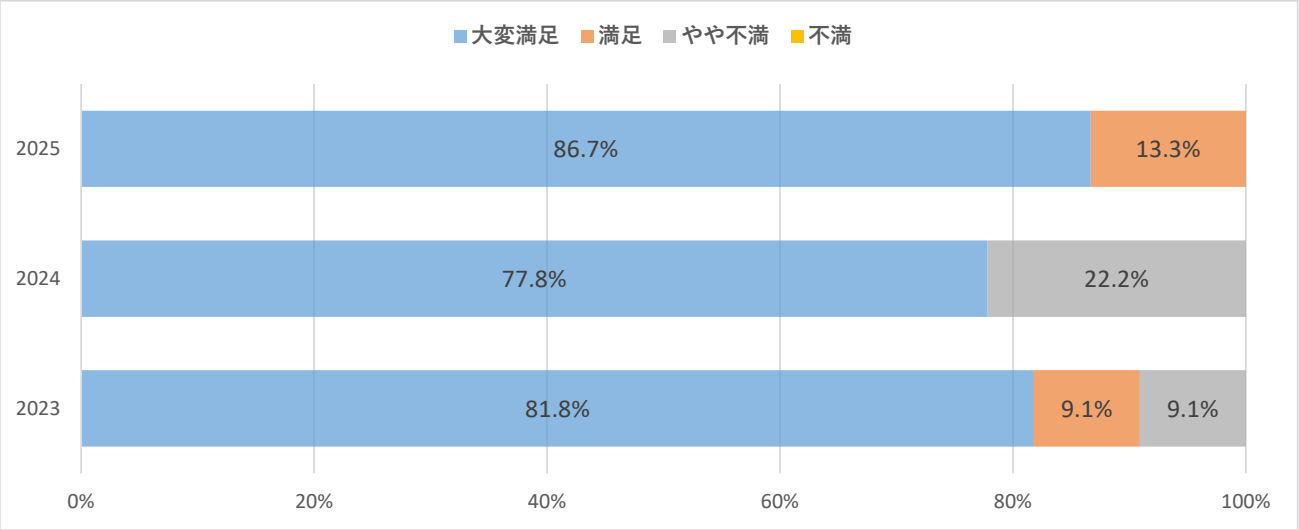
（１）サービス内容



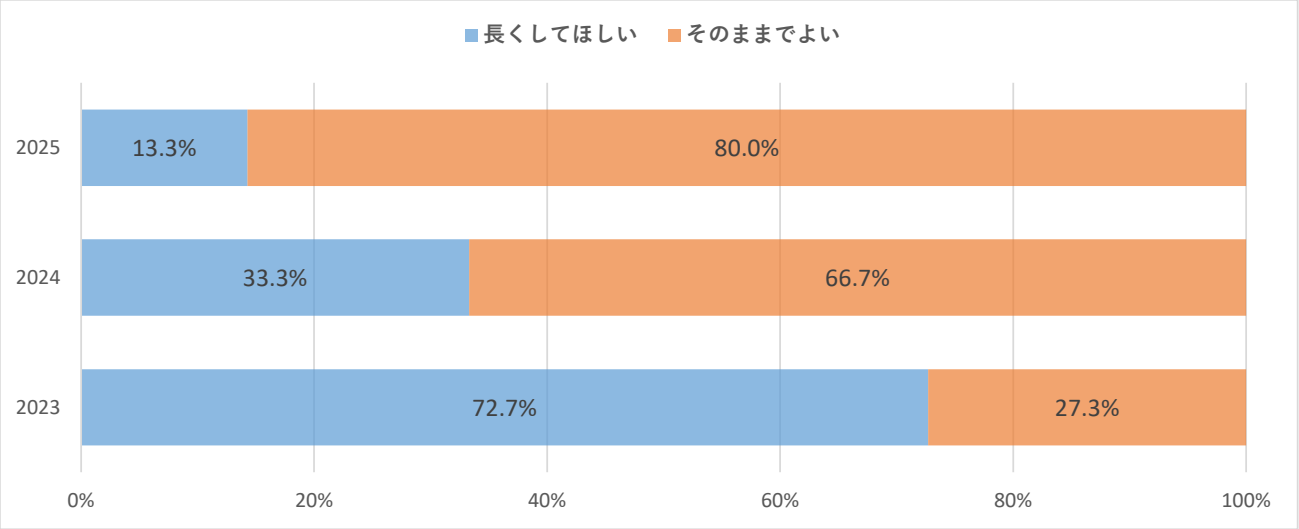
（２）施設



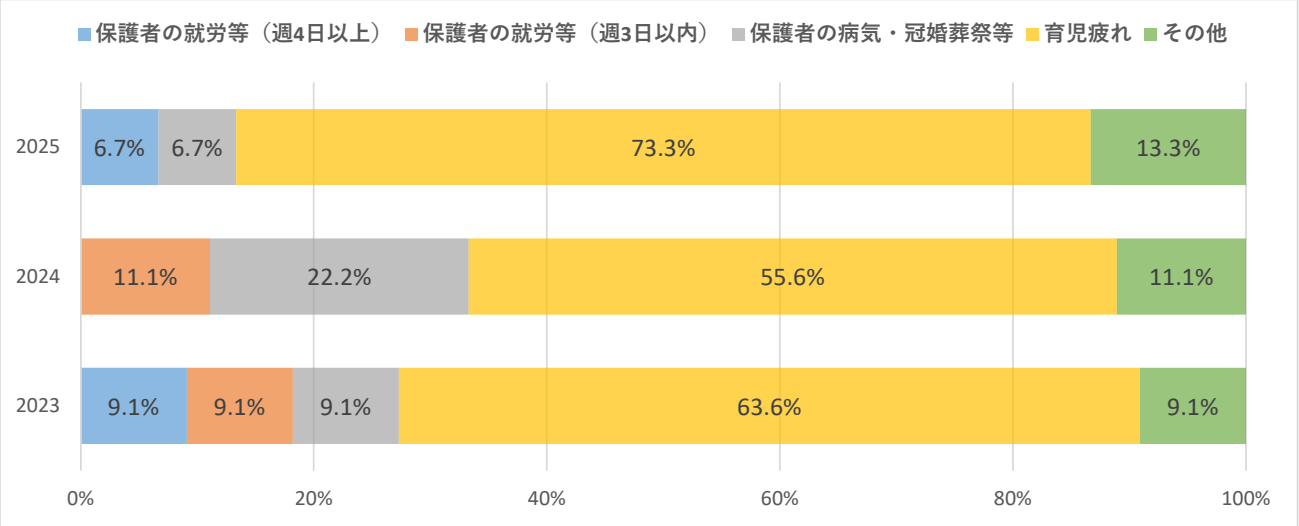
（３）職員の対応



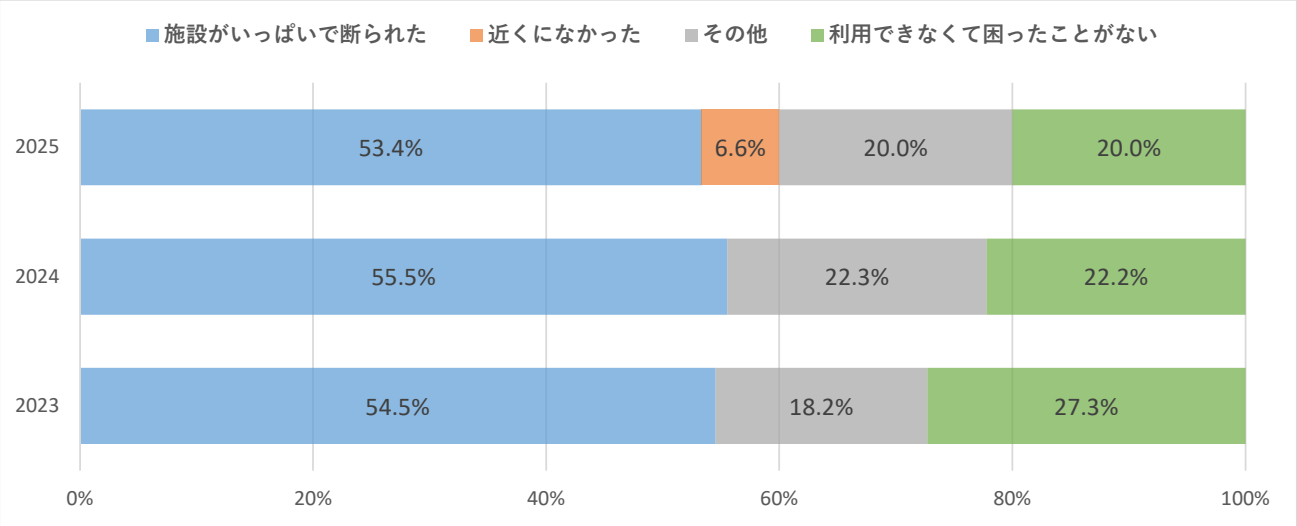
（４）月 10 日間の利用上限



（５）子育てリフレッシュステイを利用した理由



（６）利用できなくて困った理由



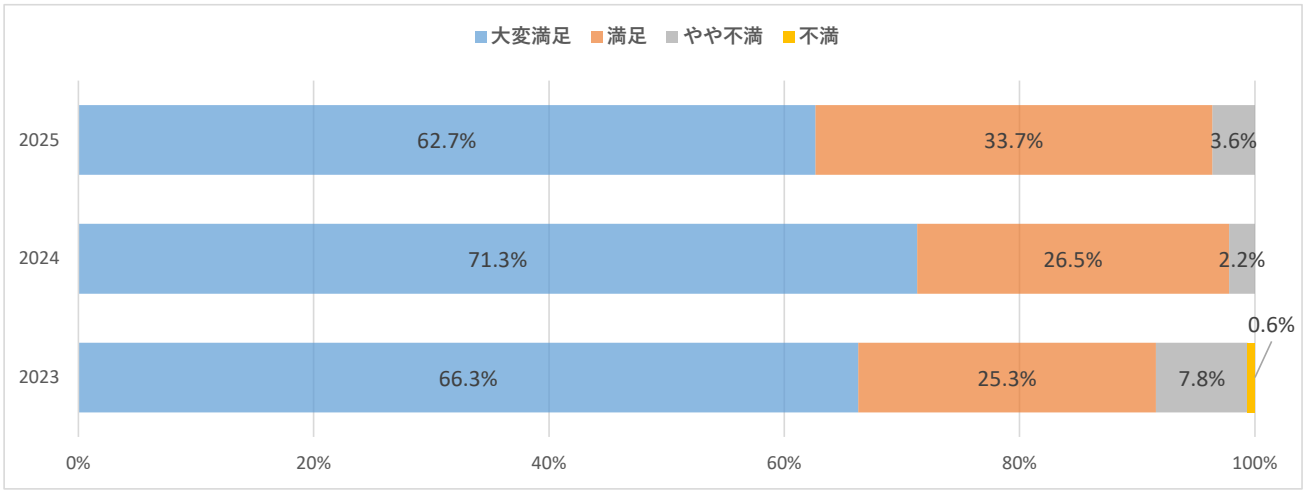
⑨病児保育

１　調査方法

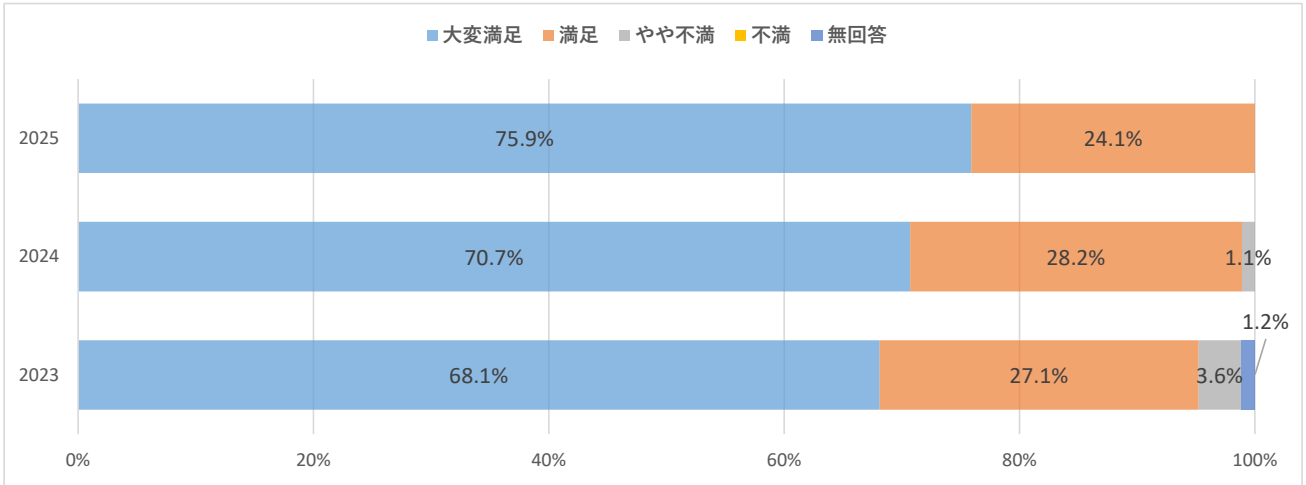
・2026 年７～８月、病児保育を実施している施設（26 箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
・施設を通じて二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集
・回収数 83／配布数 477（回収率 17.4%）

２　調査結果

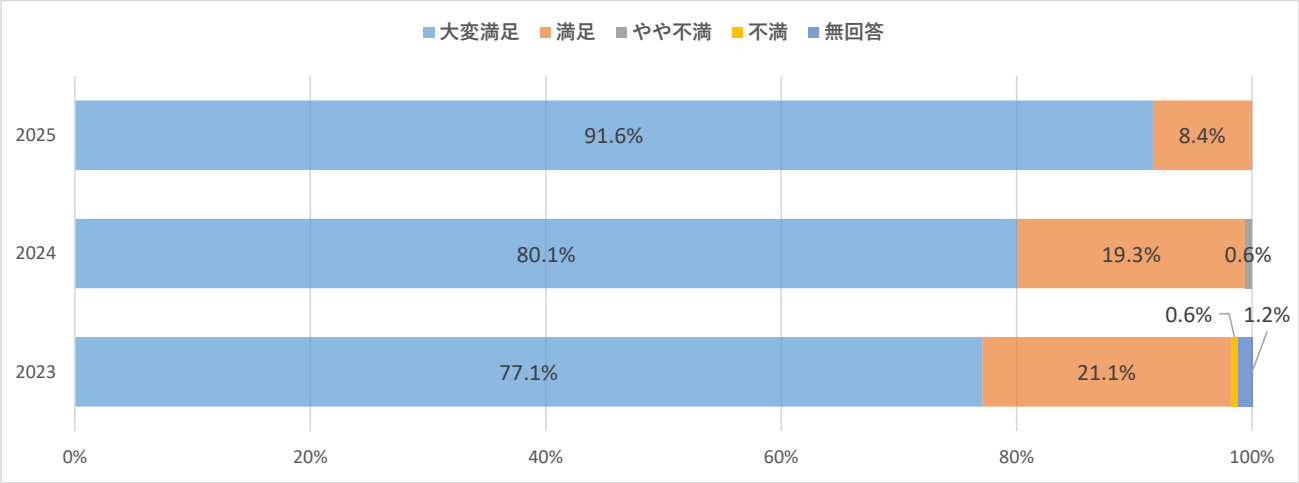
（１）サービス内容



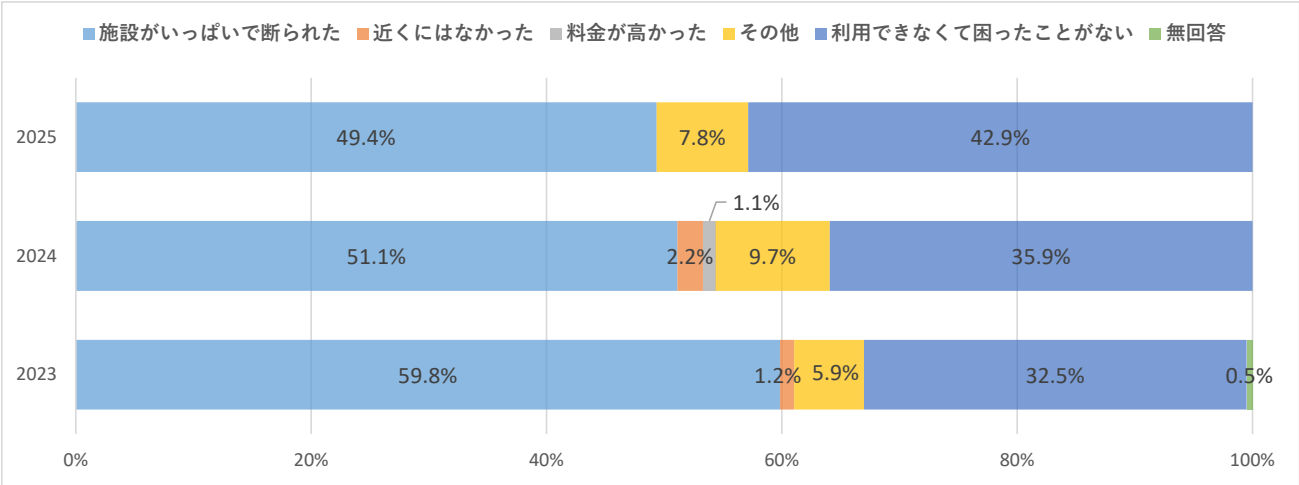
（２）施設



（３）職員の対応



（４）病児保育を利用できなくて困った理由



⑩ファミリー・サポート・センター

1　調査方法

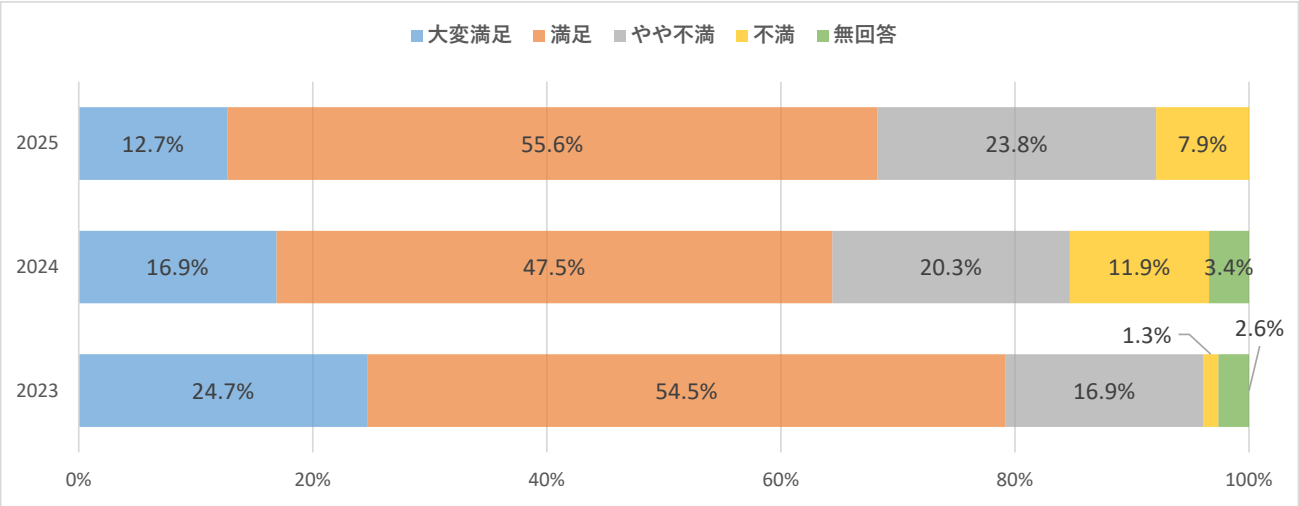
・2026 年７～８月、ファミリー・サポート・センター依頼会員（協力会員を兼ねる人を含む）から 300 名を無作為抽出し、施設を通じて調査期間中の利用者を対象に実施

・二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集

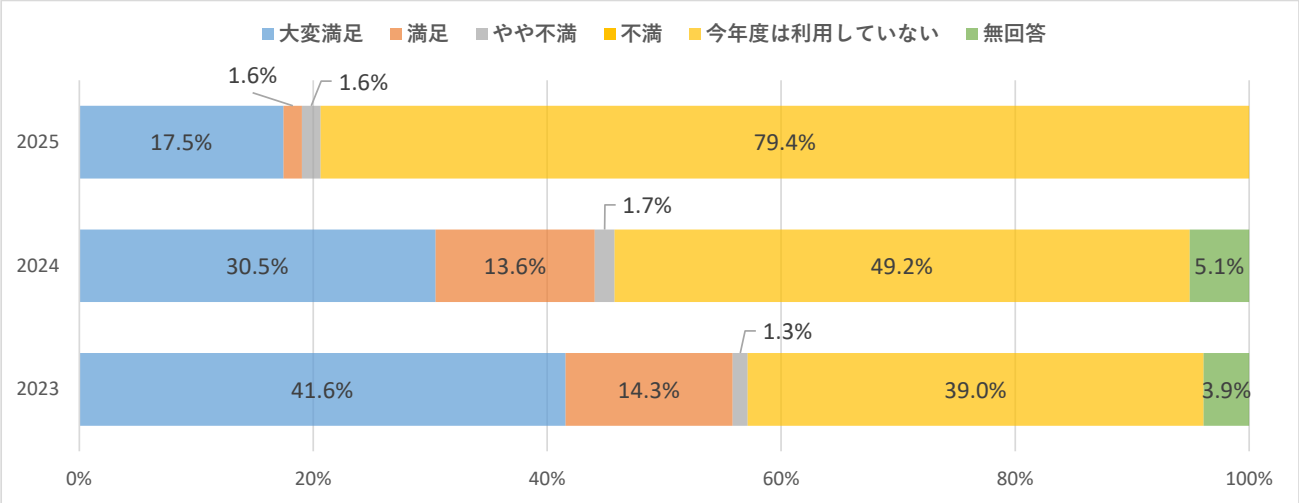
・回収数 63／配布数 300（回収率 21.0％）

2　調査結果

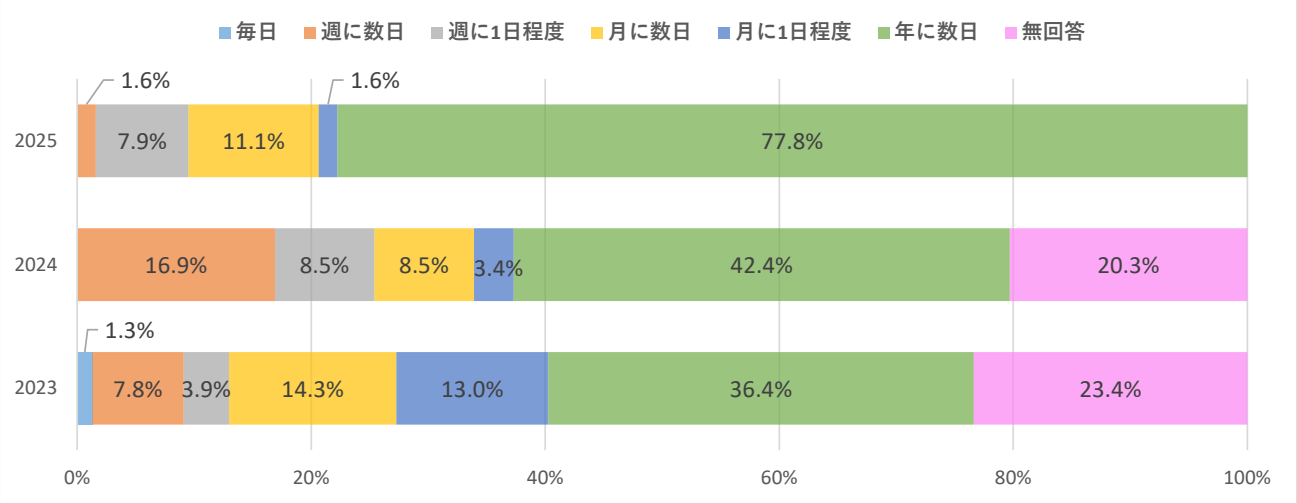
（１）サービス内容



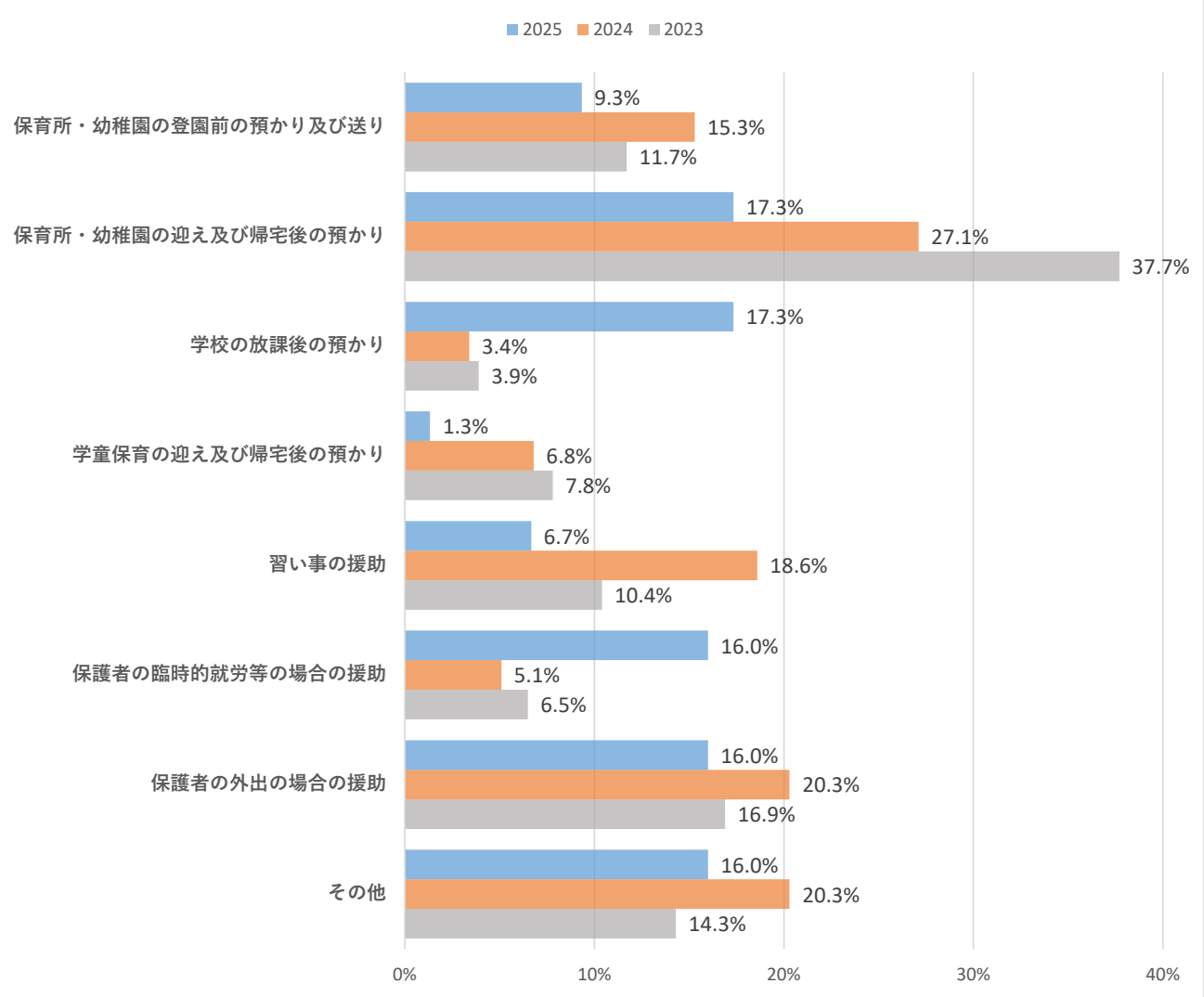
（２）サポートをお願いした協力会員の対応



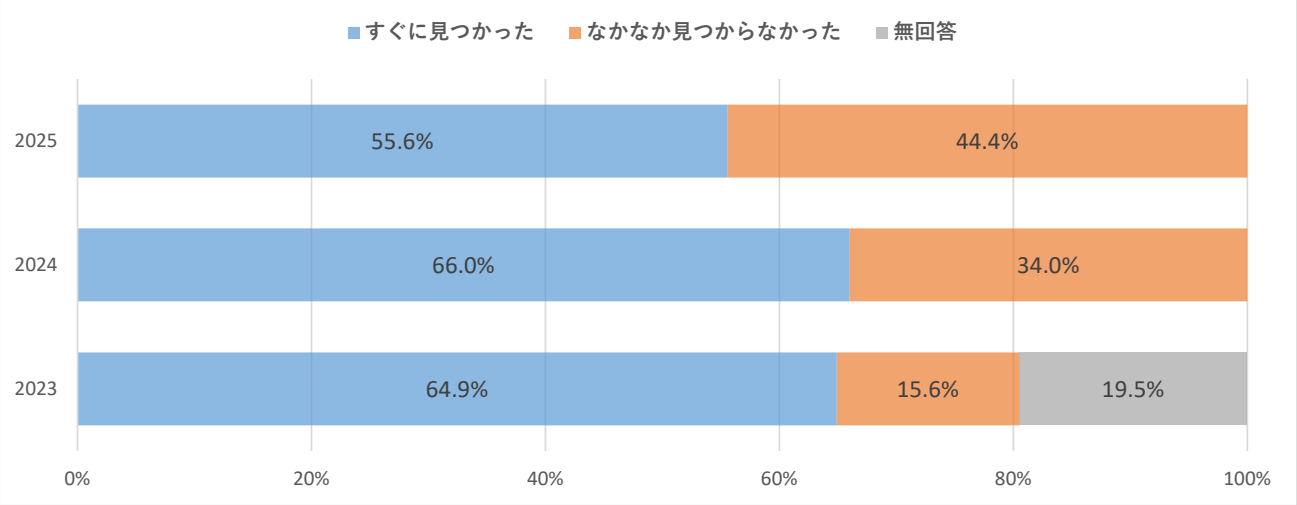
（３）利用の頻度



（４）協力会員に依頼した内容



（５）当初、依頼に合致する協力会員が見つかったか



⑪小規模保育

１　調査方法

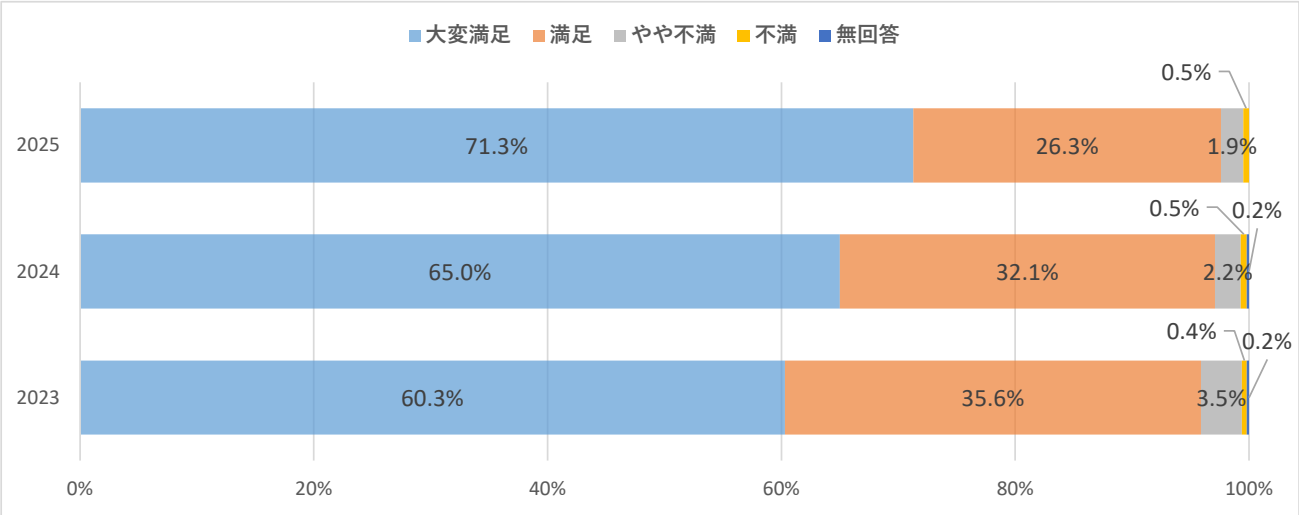
・2026 年７～８月、小規模保育を実施している施設（126 箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集

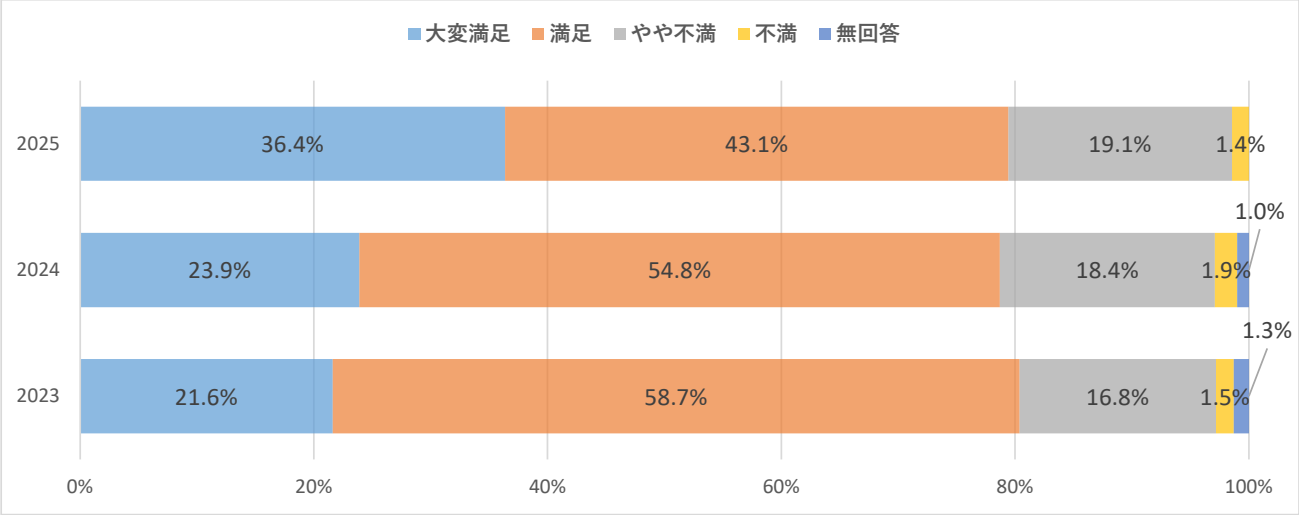
・回収数 209／配布数 532（回収率 39.3%）

２　調査結果

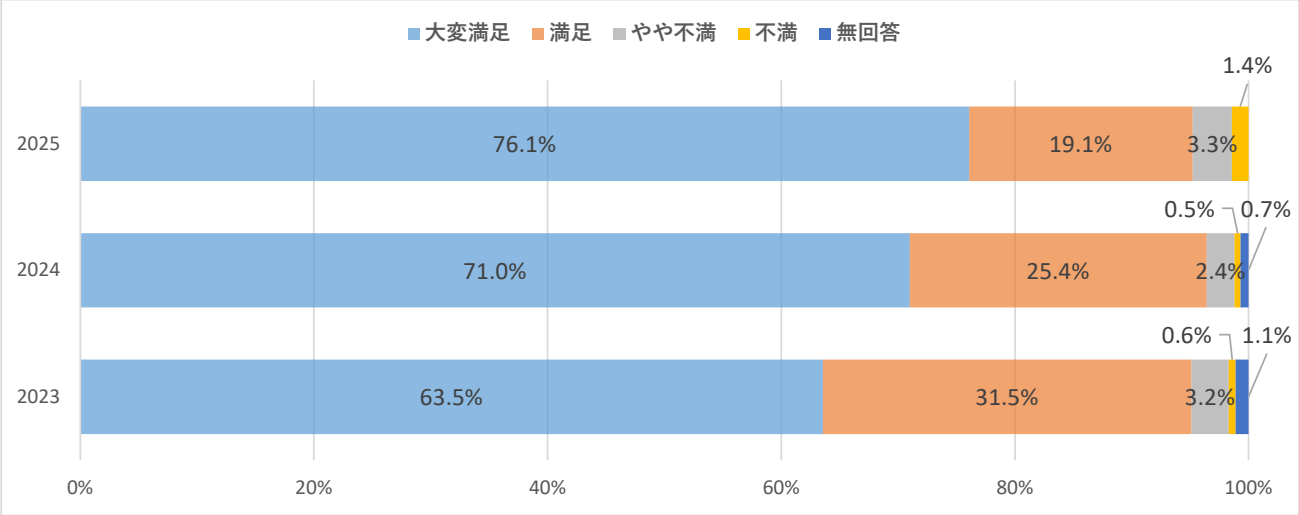
（１）保育内容全般



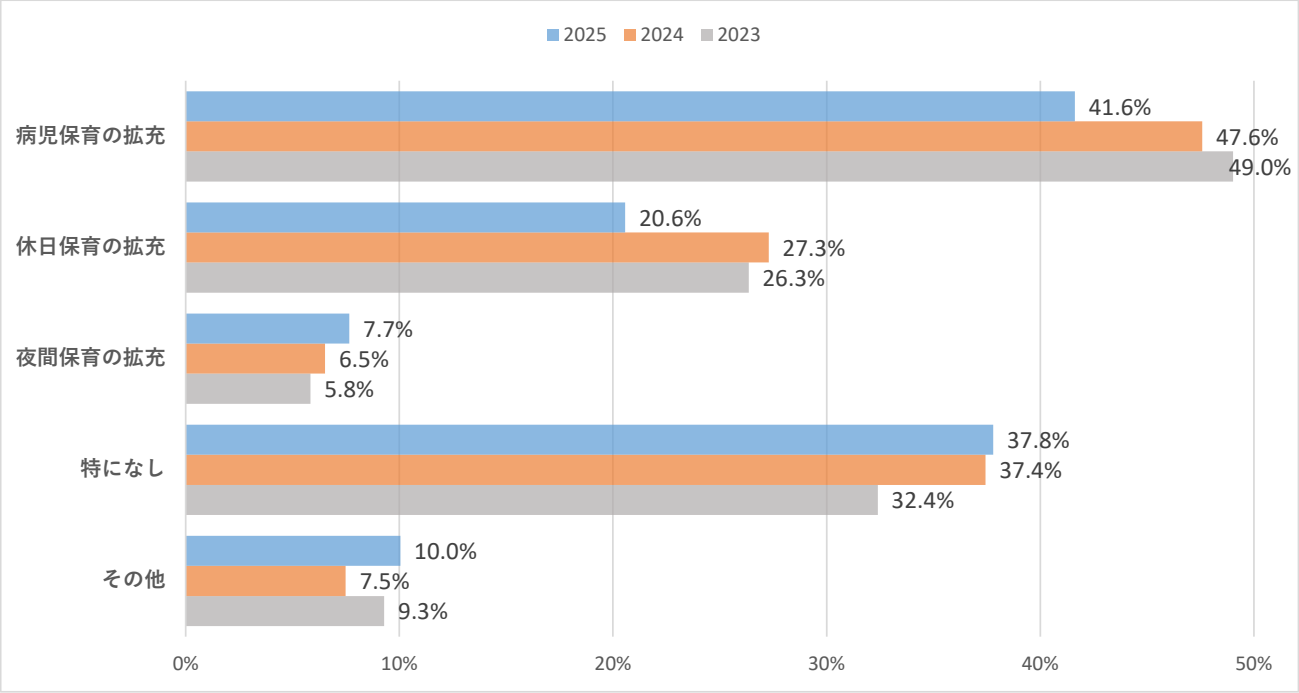
（２）建物や園庭などの施設



（３）職員の対応



（４）今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）



⑫事業所内保育

１　調査方法

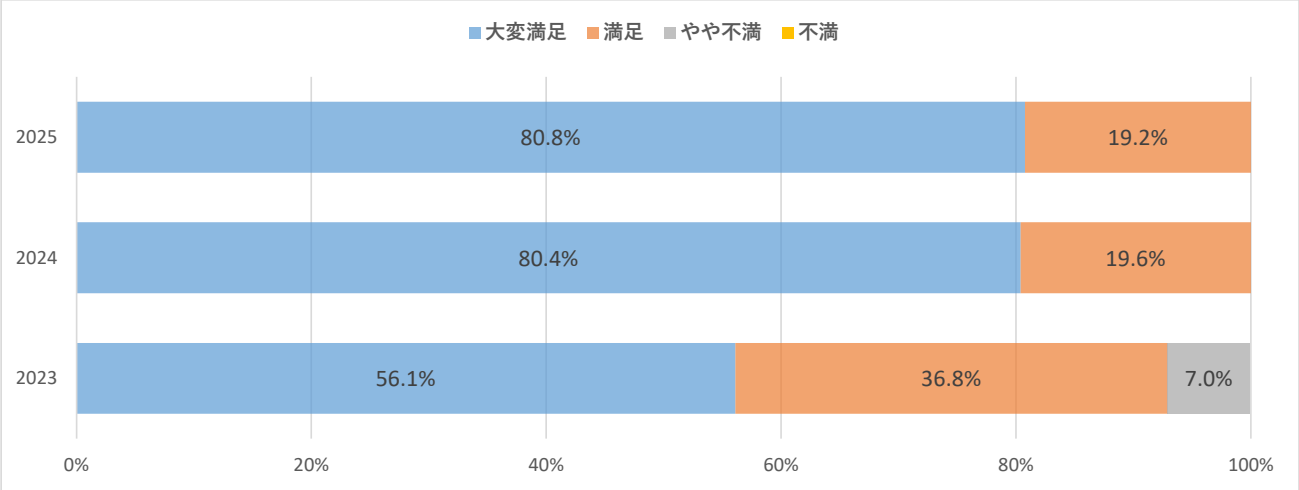
・2026 年７～８月、事業所内保育を実施している施設（19 箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施

・施設を通じて二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集

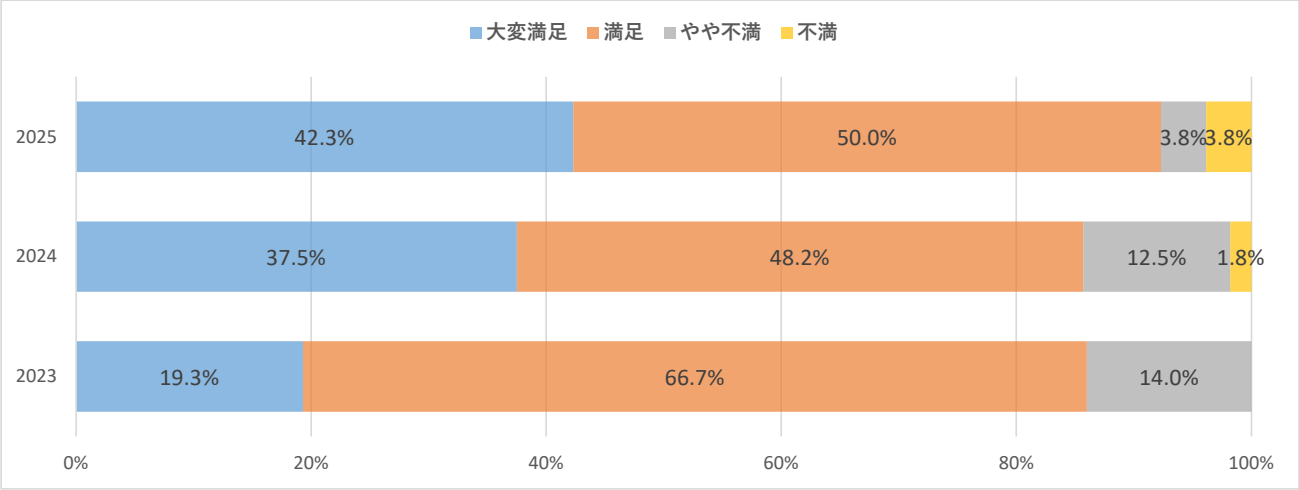
・回収数 26／配布数 87（回収率 29.9%）

２　調査結果

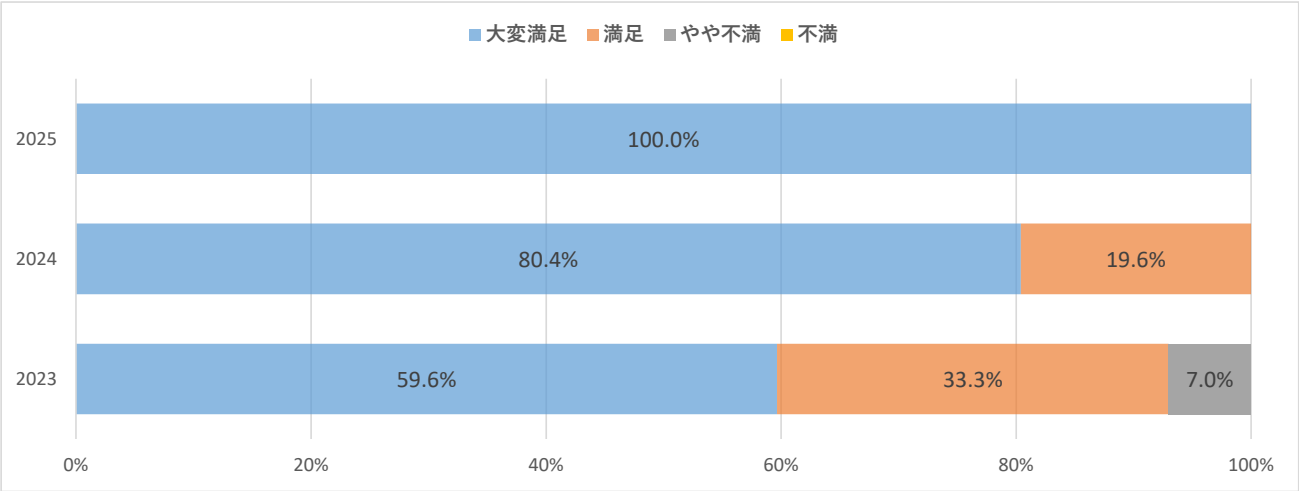
（１）　保育内容全般



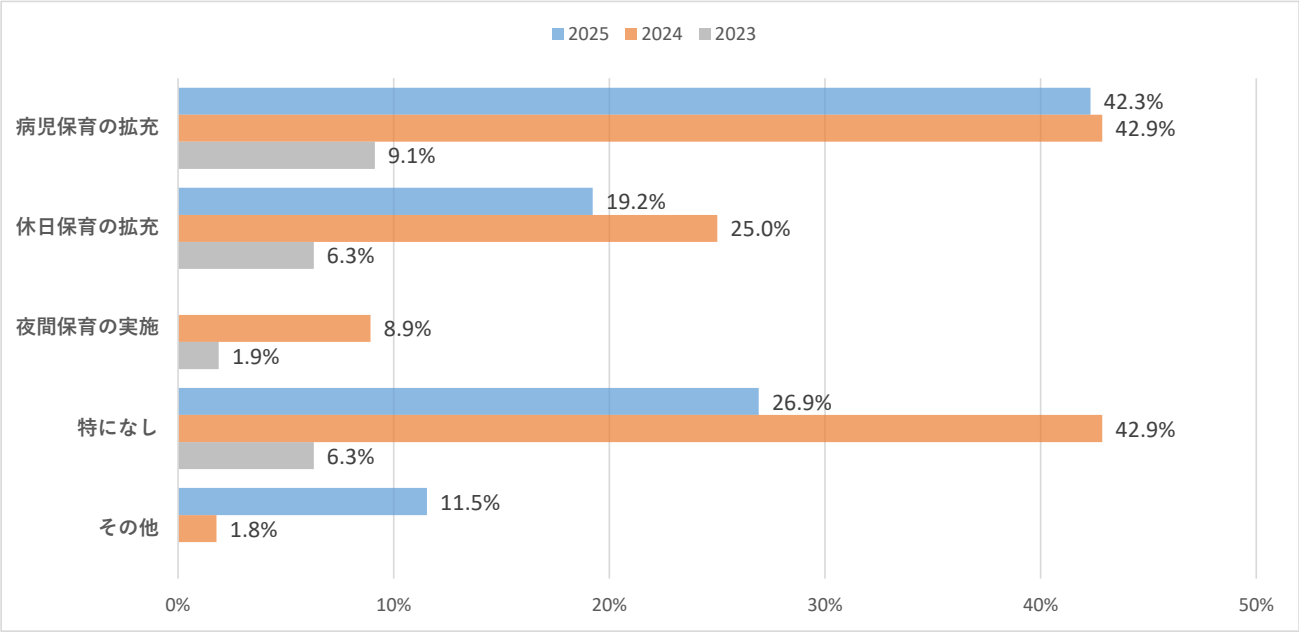
（２）建物や園庭などの施設



（３）職員の対応



（４）今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）



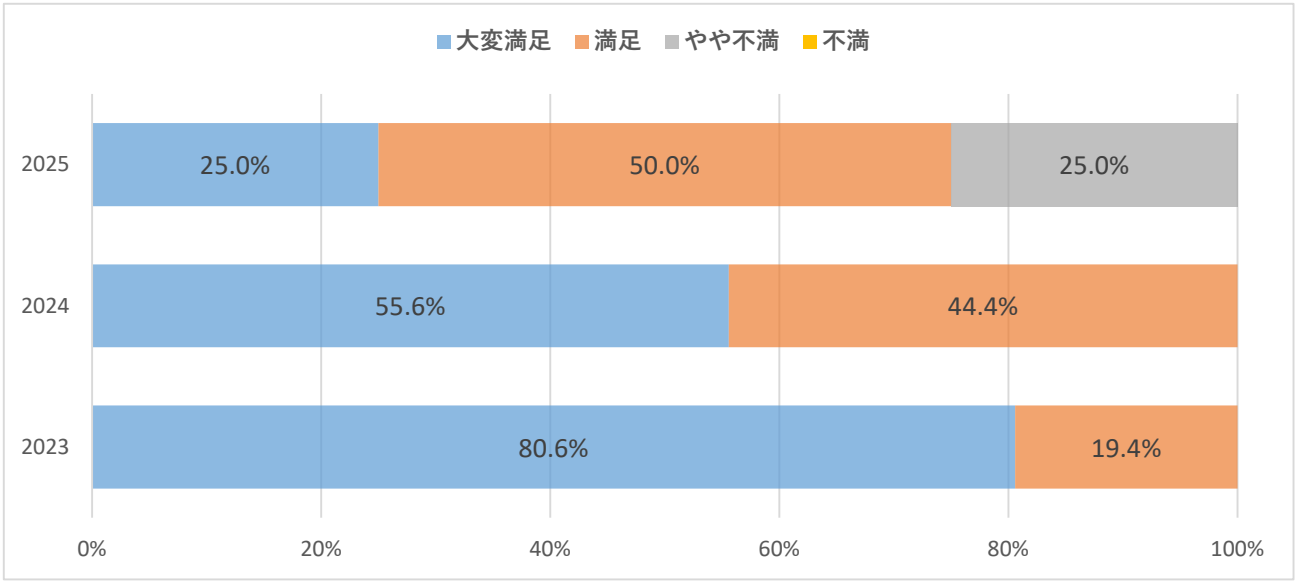
⑬家庭的保育

1　調査概要

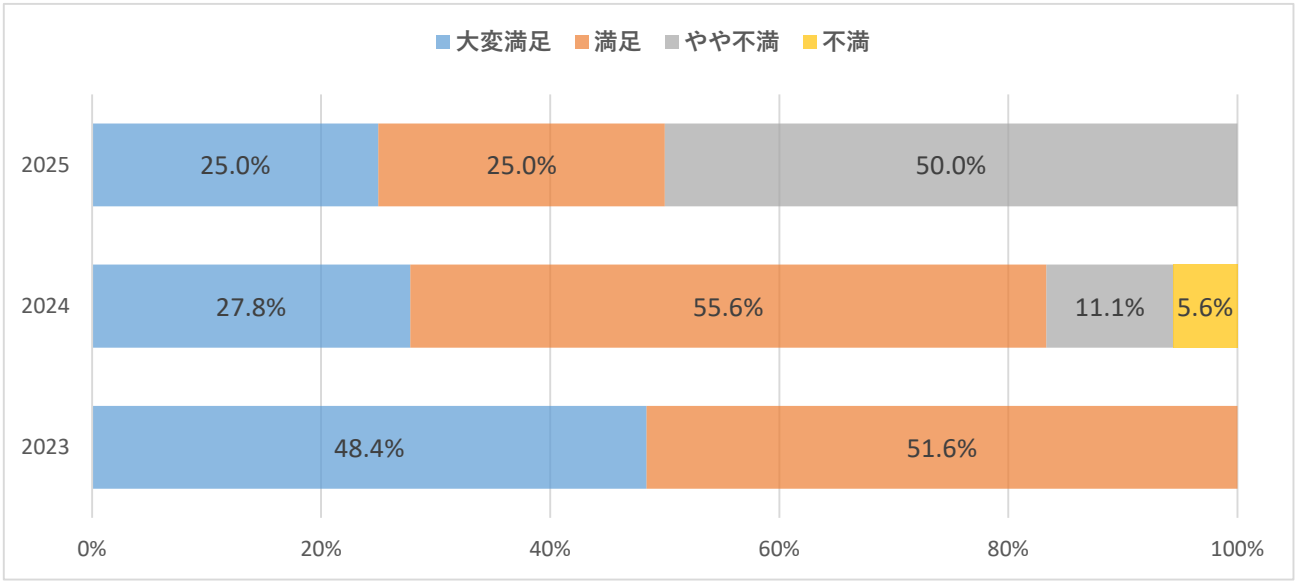
・2026 年７～８月、家庭的保育を実施している施設（16 箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
・二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集
・回収数４／配布数 49（回収率 8.2%）

2　調査結果

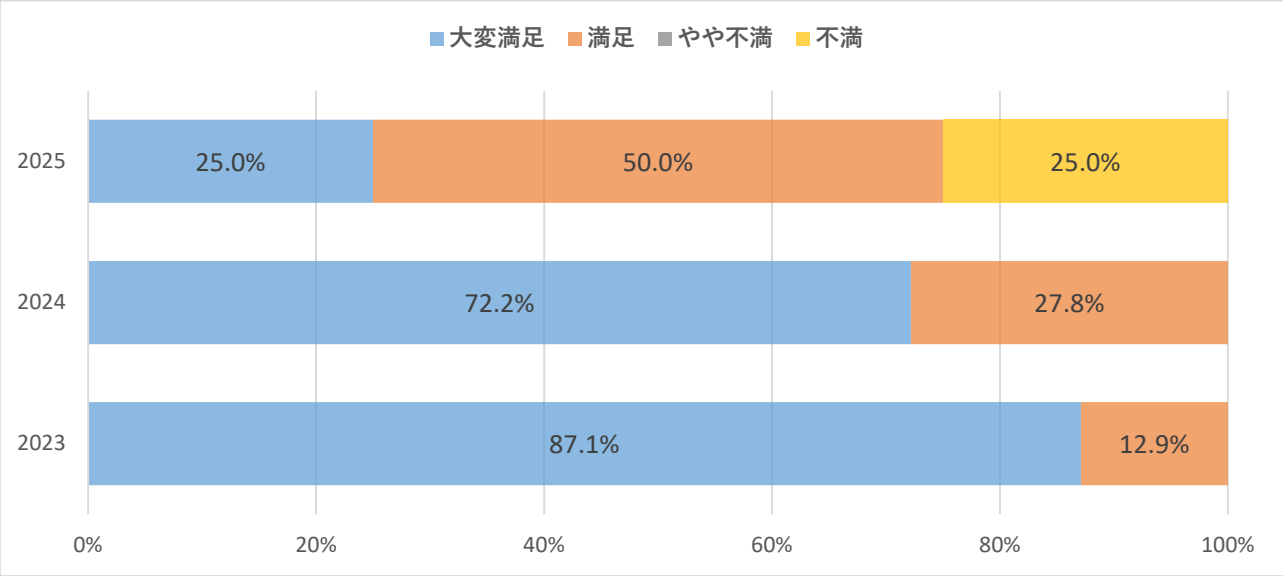
（１）　保育内容全般



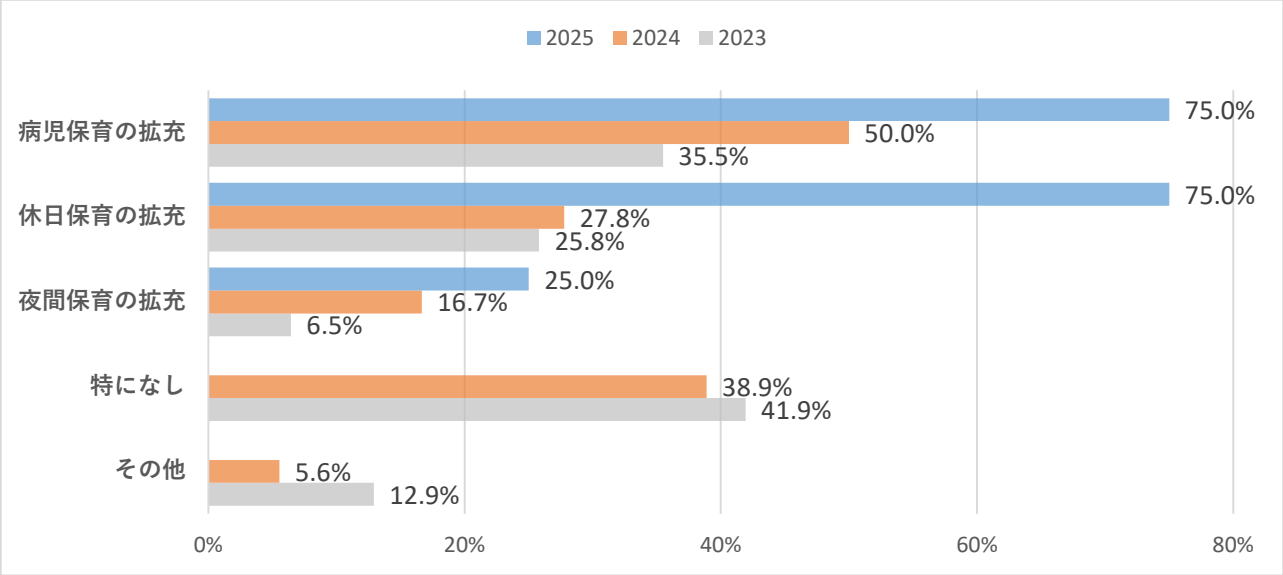
（２）　建物や園庭などの施設



（３） 職員の対応



（４）今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）



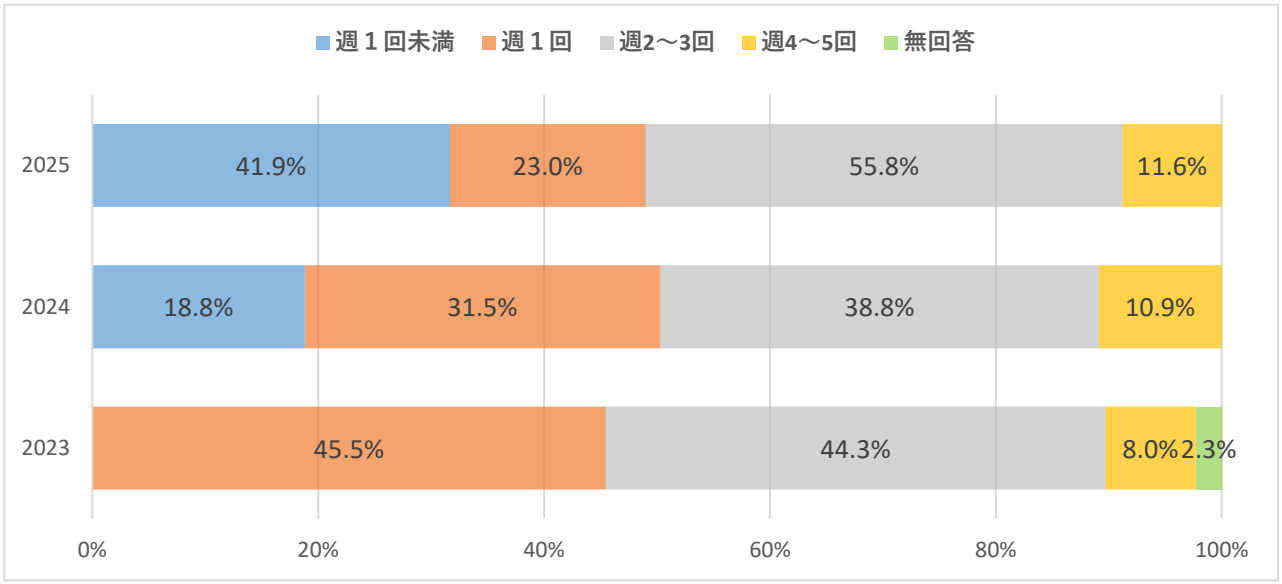
⑭おやこふらっとひろば

1　調査概要

- 2025 年７～８月、親子が気軽に立ち寄れる場所を提供している施設(10 箇所)で、調査期間中の利用者を対象に実施
- 二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集
- 回収数 122／配布数 180（回収率 67.8%）

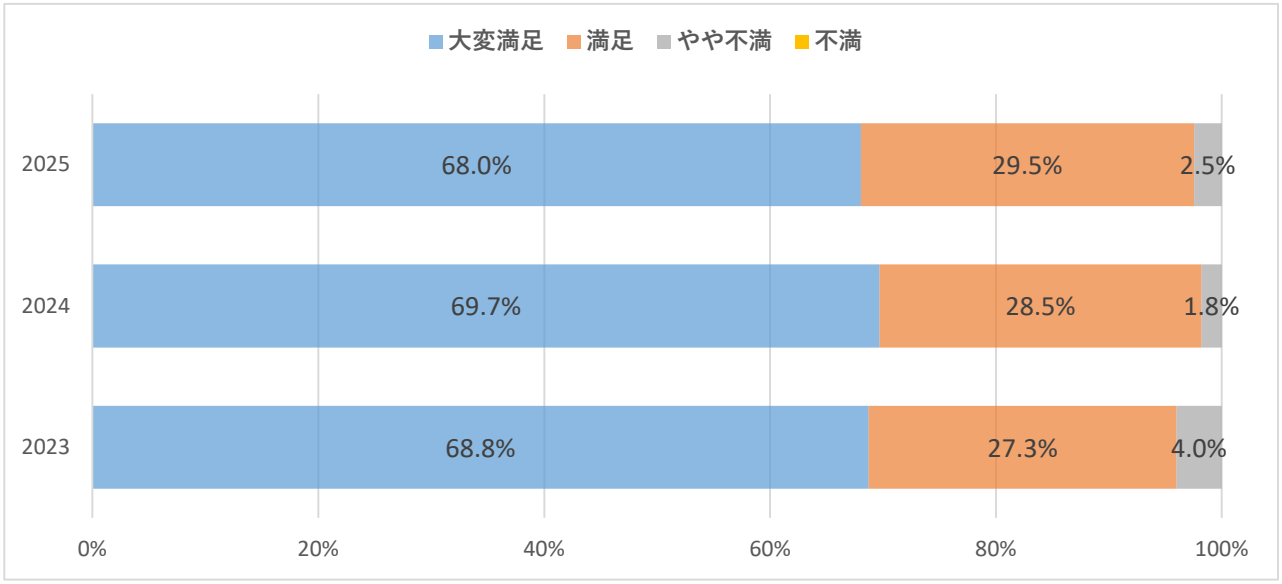
2　調査結果

（１）利用の頻度

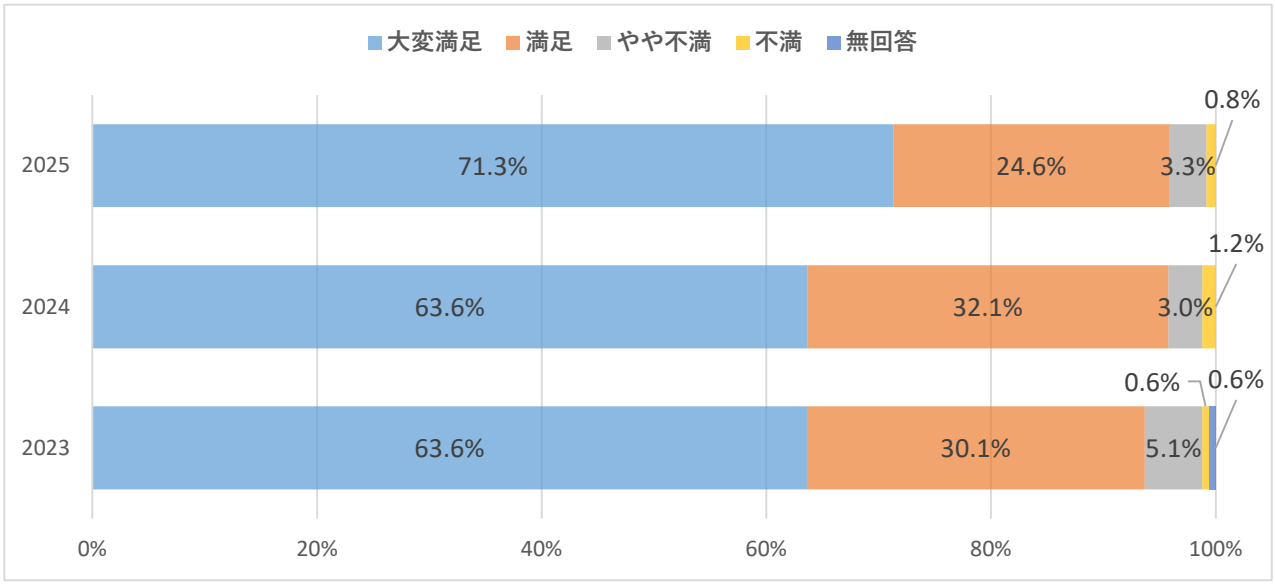


※「週 1 回未満」の選択肢は 2024 年度に新設

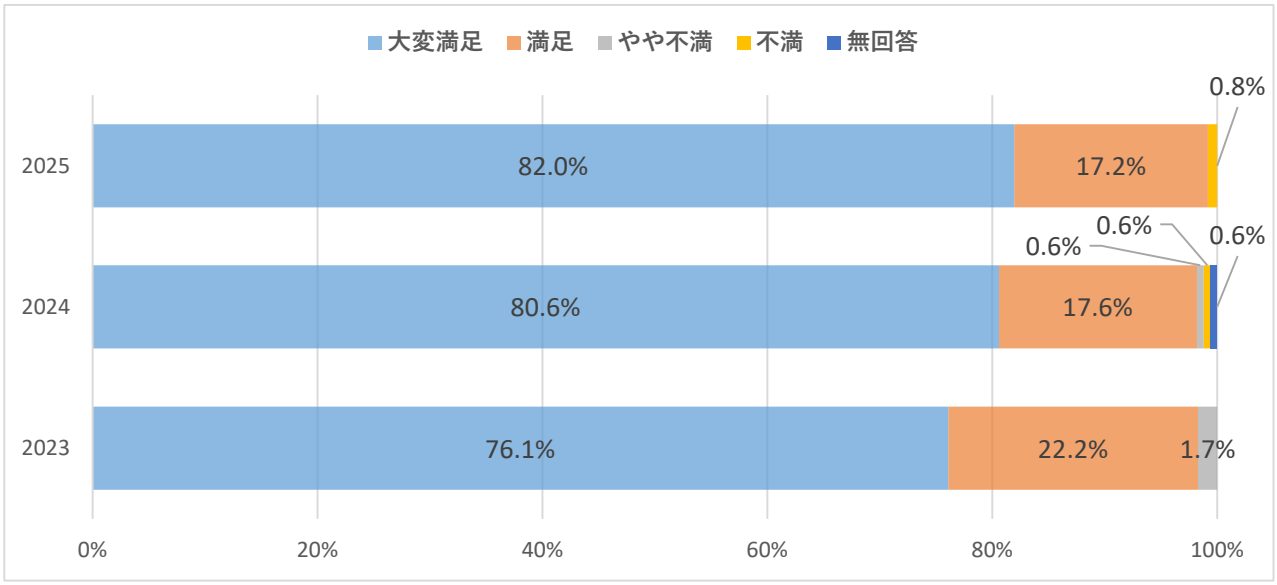
（２）サービス内容



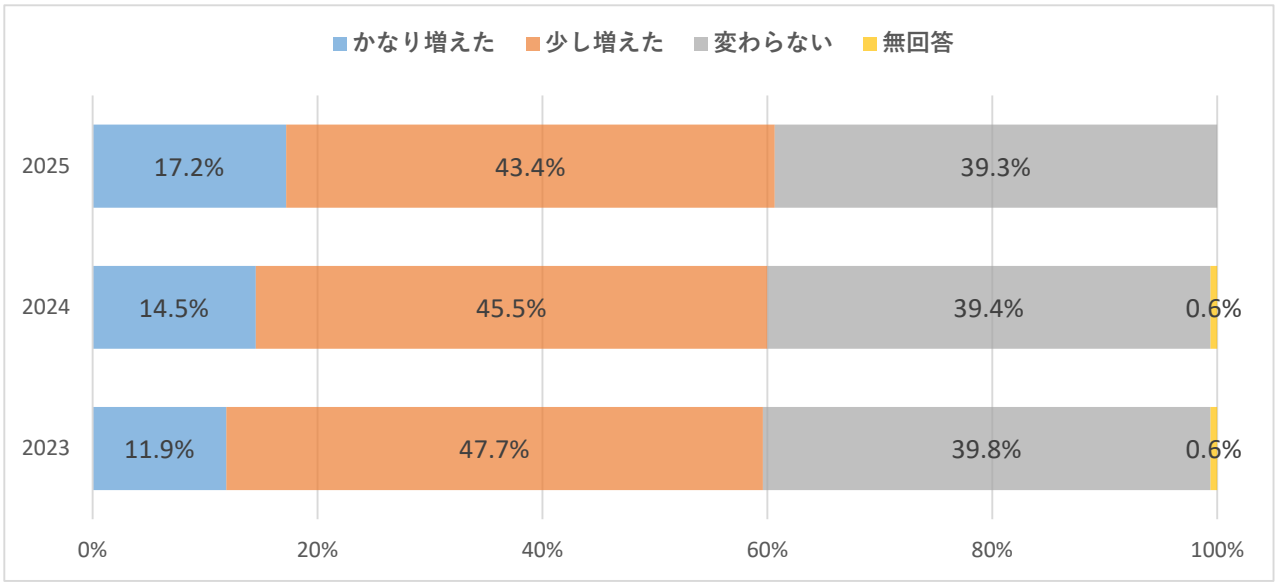
（３）施設



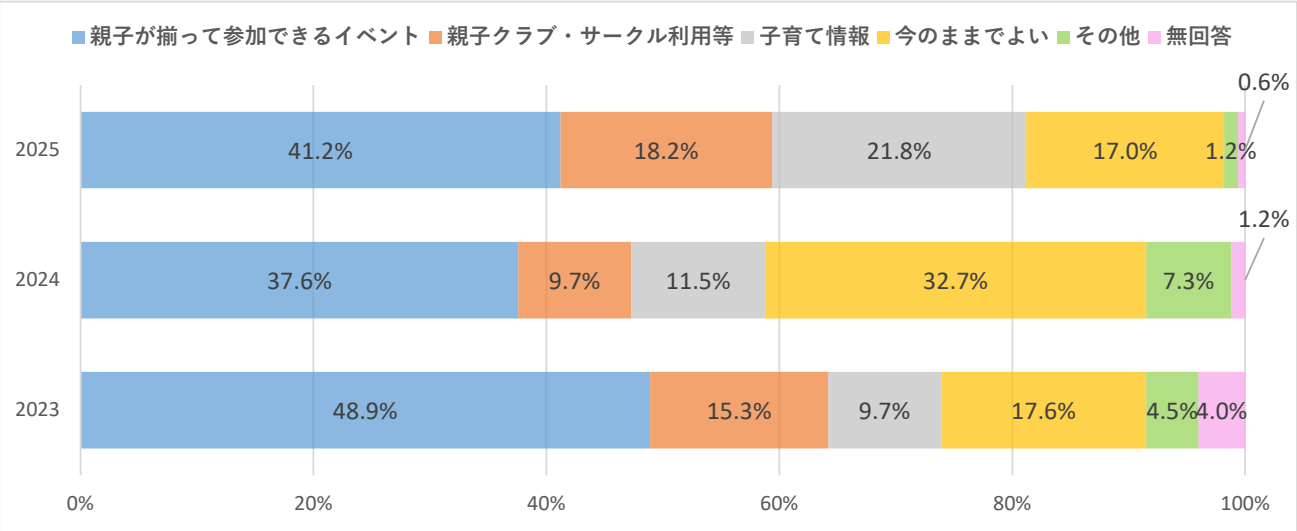
（４）職員の対応



（５）利用により新しい知人が増えたか



（６）「おやこふらっとひろば」で増やしてほしいサービス



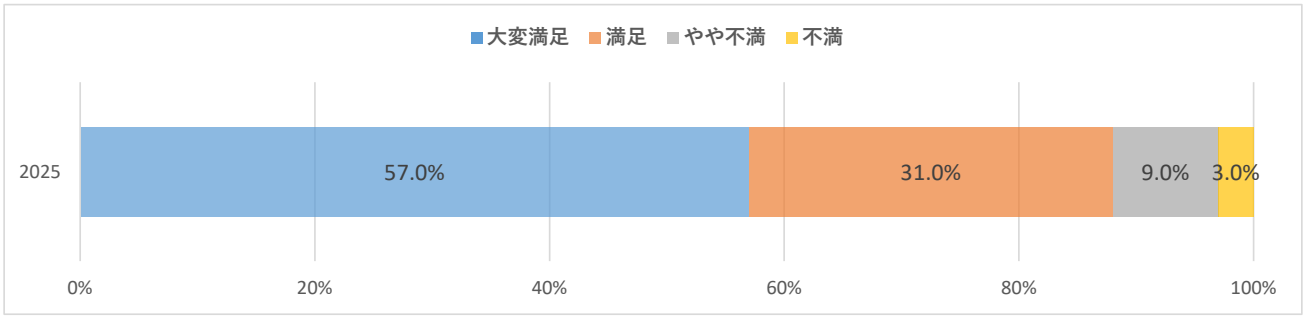
⑮こども誰でも通園制度

1　調査概要

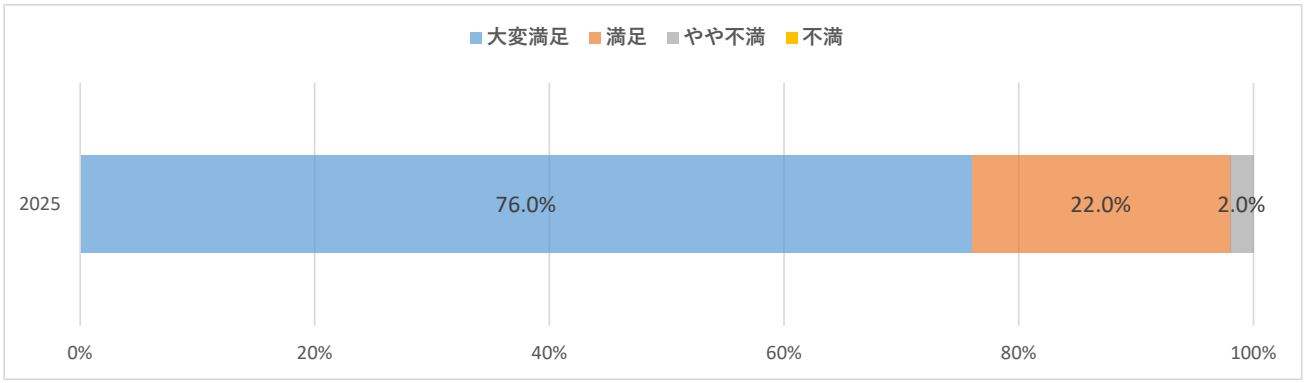
- 2025 年７～８月、誰でも通園実施施設(137 箇所)で、調査期間中の利用者を対象に実施
- 二次元コードを記載したアンケートチラシを配布し、WEB サイトから回答を収集
- 回収数 100／配布数 234（回収率 42.7%）

2　調査結果

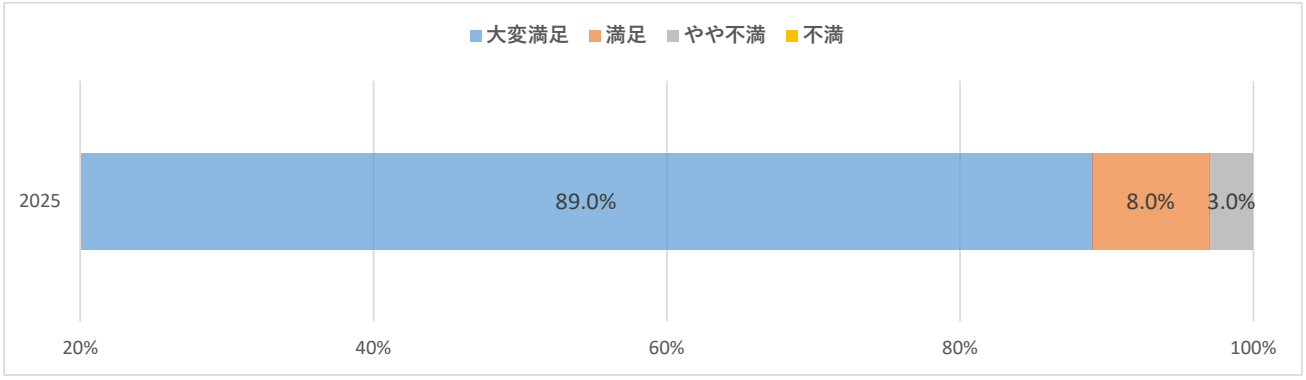
（１） サービス内容



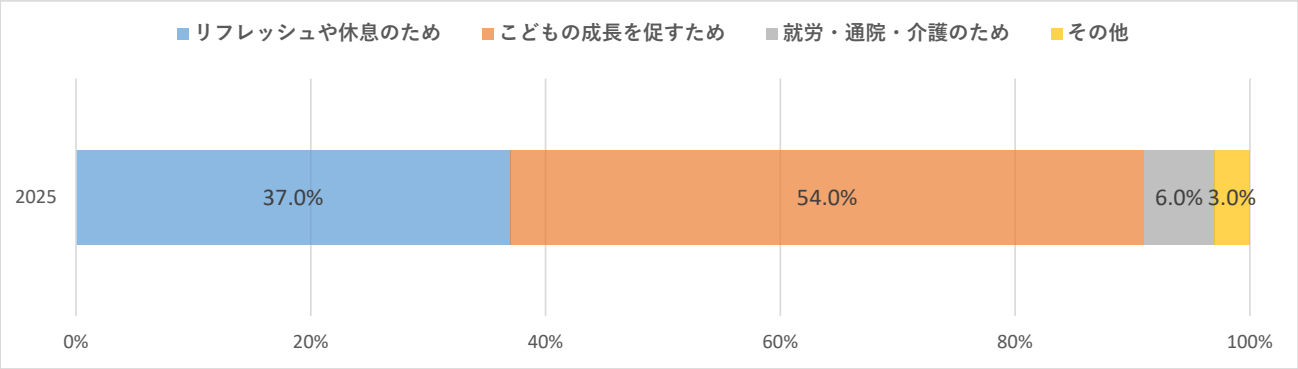
（２） 施設



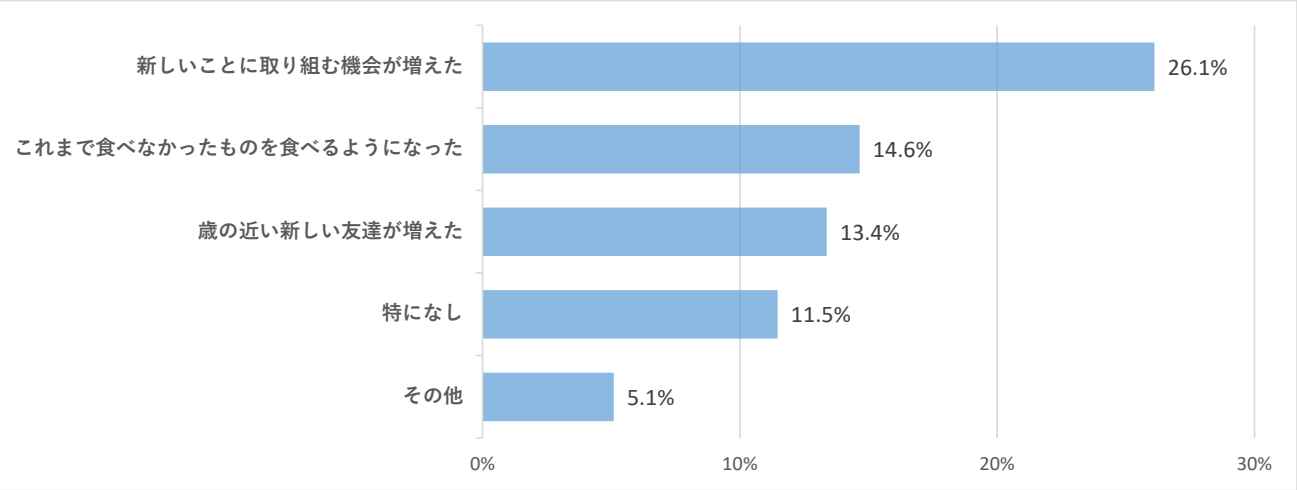
（３） 職員の対応



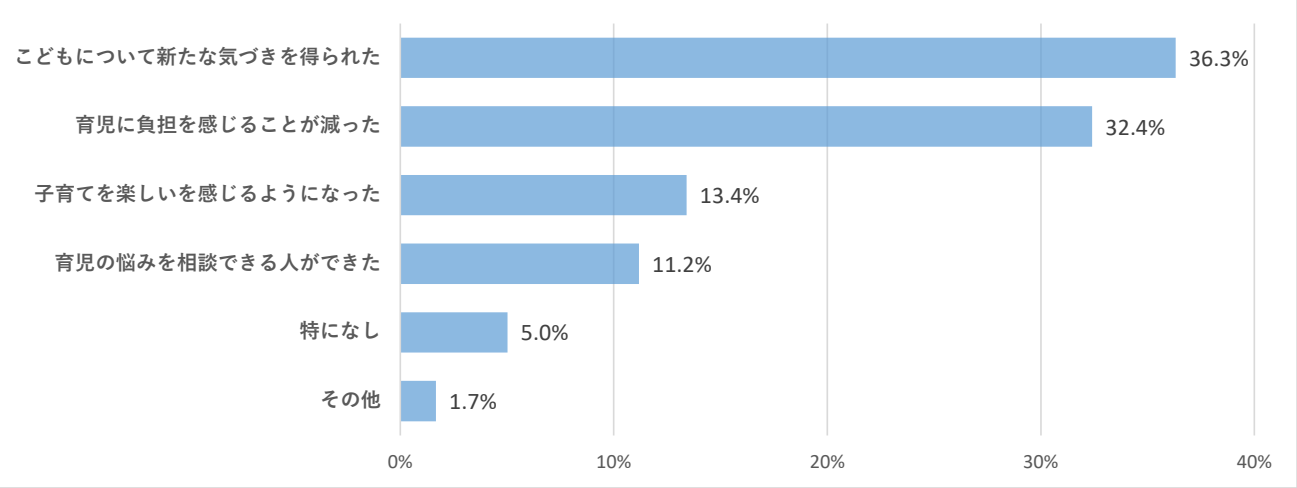
（４） 利用理由



（５） 利用後、お子様に変化は見られましたか。



（６） 利用後、あなた自身に変化はありましたか。



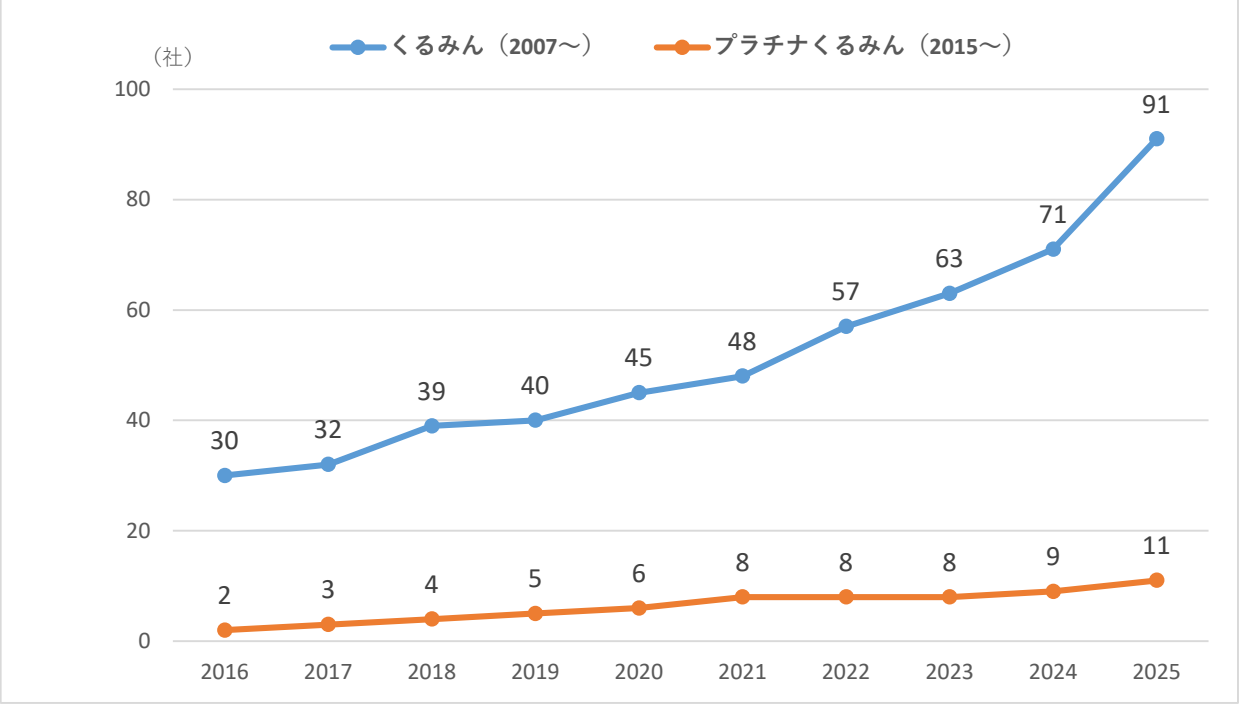
（５）「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

１　企業の認定制度

（１）次世代育成支援対策推進法に基づく認定・特例認定制度（兵庫労働局）

認定制度名	開始年度	概要
くるみん	2007	行動計画を策定し、一定の育児休業等取得率や、所定労働時間の短縮措置または始業時刻変更等の措置を講じているなどの認定基準を満たす企業が、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受ける制度。
プラチナくるみん	2015	「くるみん認定」を受けた企業のうち、男性労働者の育児休業等取得率や子どもを出産した女性労働者が継続して在籍している割合など、より高い基準を満たし、仕事と子育ての両立支援を継続的に行っている企業が特例認定を受ける制度。
トライくるみん	2022	2022 年４月に「くるみん」の男性の育児休業等・育児目的休暇取得率の認定基準の引き上げに伴い、旧来の「くるみん」認定基準を満たす企業を対象に 2022 年度から新たに創設された制度。
プラス認定	2022	上記３つの認定基準を満たしたうえで、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業が認定を受ける制度。

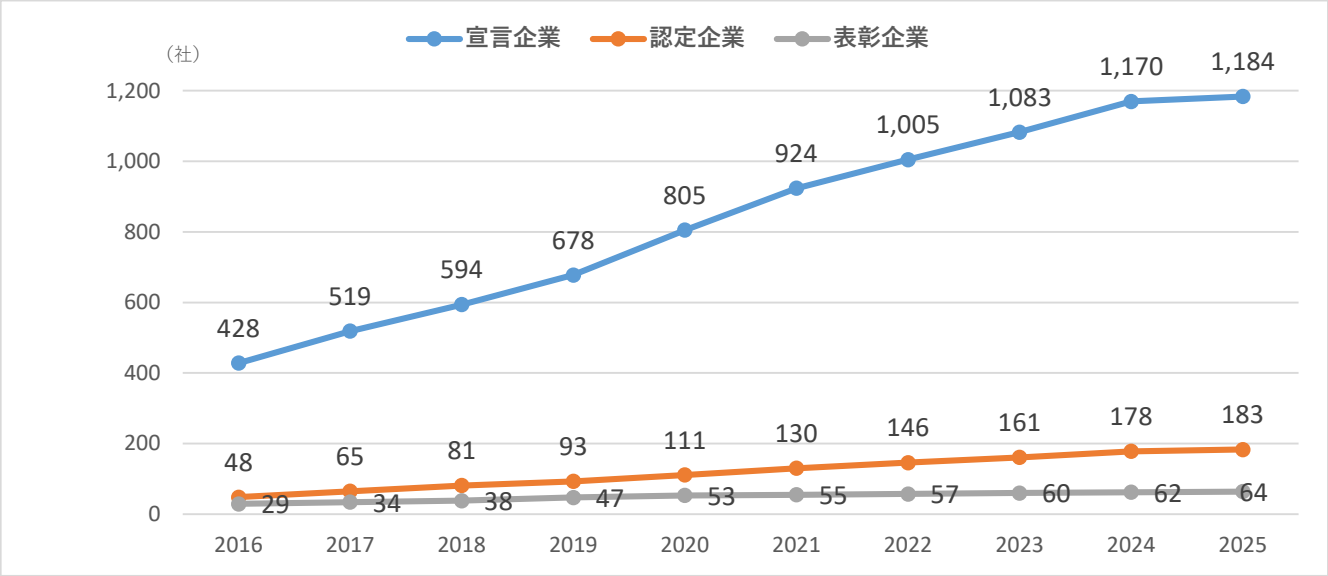
（参考）市内企業における過去 10 年間の推移



（２）ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定制度（ひょうご仕事と生活センター）

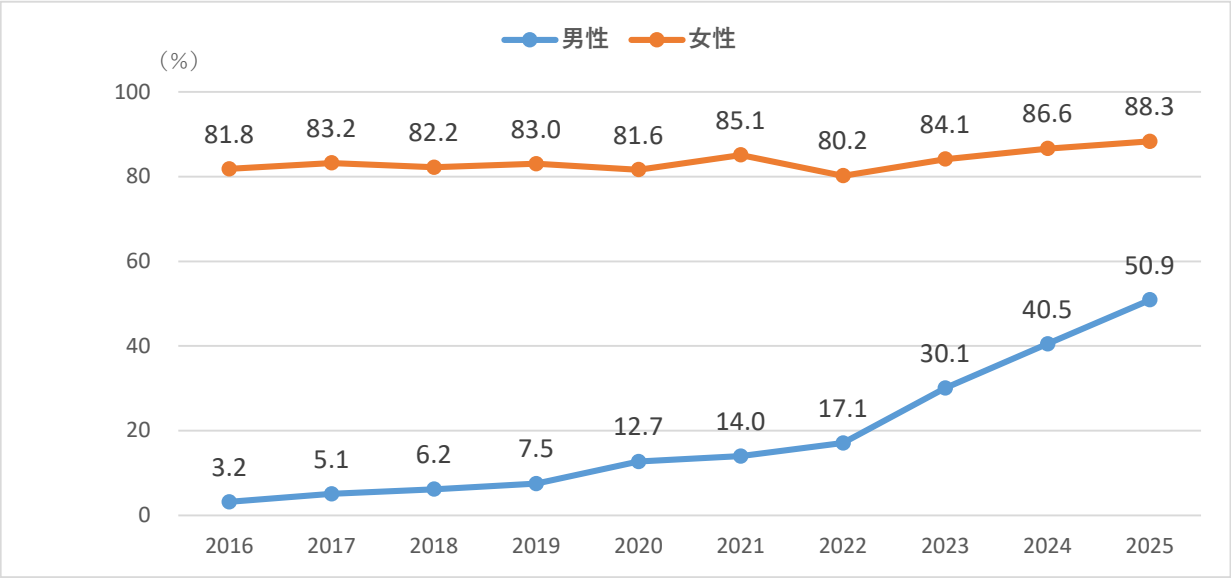
認定制度名	開始年度	概要
宣言企業	2013	ワーク・ライフ・バランスに取り組み、推進することを、経営トップ自らが広く内外に意思表示した企業。
認定企業	2014	上記「宣言企業」のうち、仕事と育児の両立を支援する制度が整備されているか、年次有給休暇取得率の実績の状況等を踏まえた「ひょうご仕事と生活の調和推進企業自己診断」の総合評価が、センターが定める認定基準を満たし、センターから認定を受けた企業。
表彰企業	2009	多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進など、「仕事と生活のバランス」の実現のために先進的な取組を実施している企業。

（参考）市内企業における過去 10 年間の推移

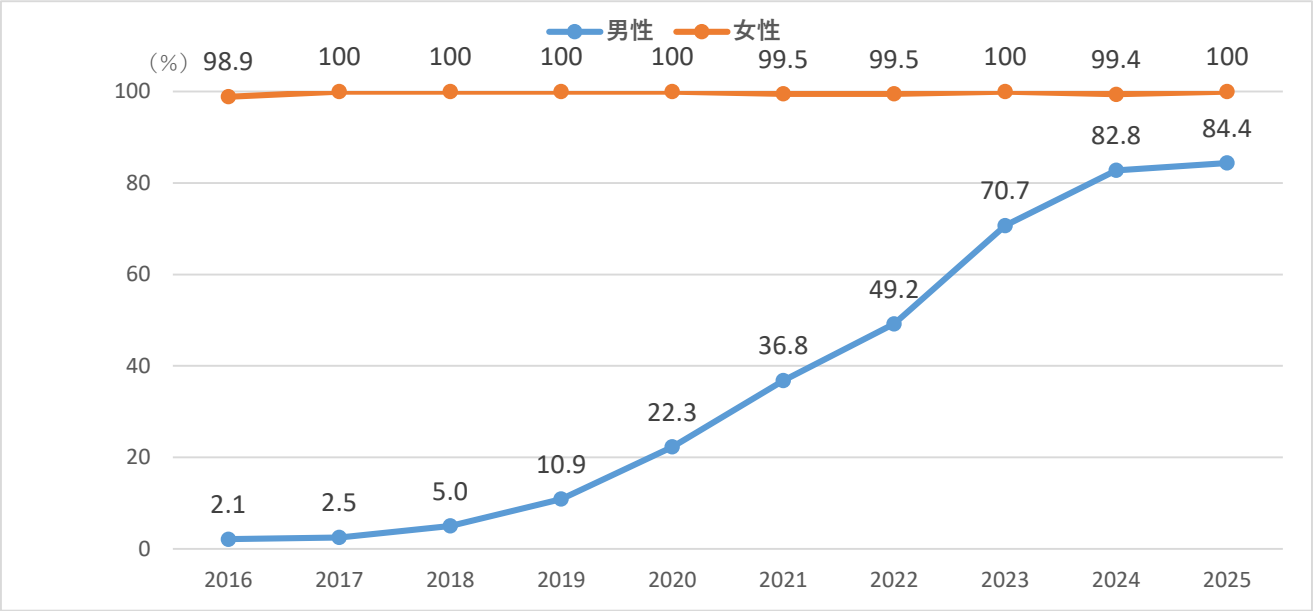


２　育児休業取得率等

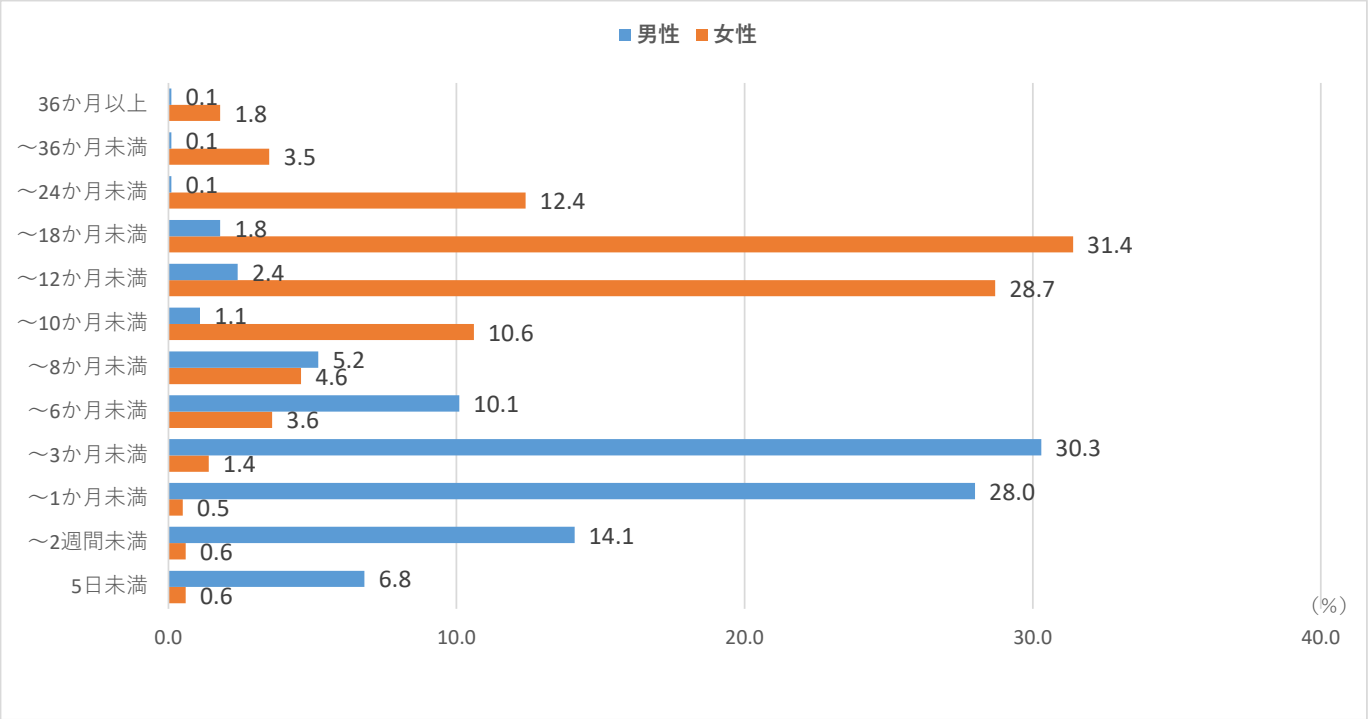
（１）全国の企業と事業所における育休取得者の割合（雇用均等基本調査）



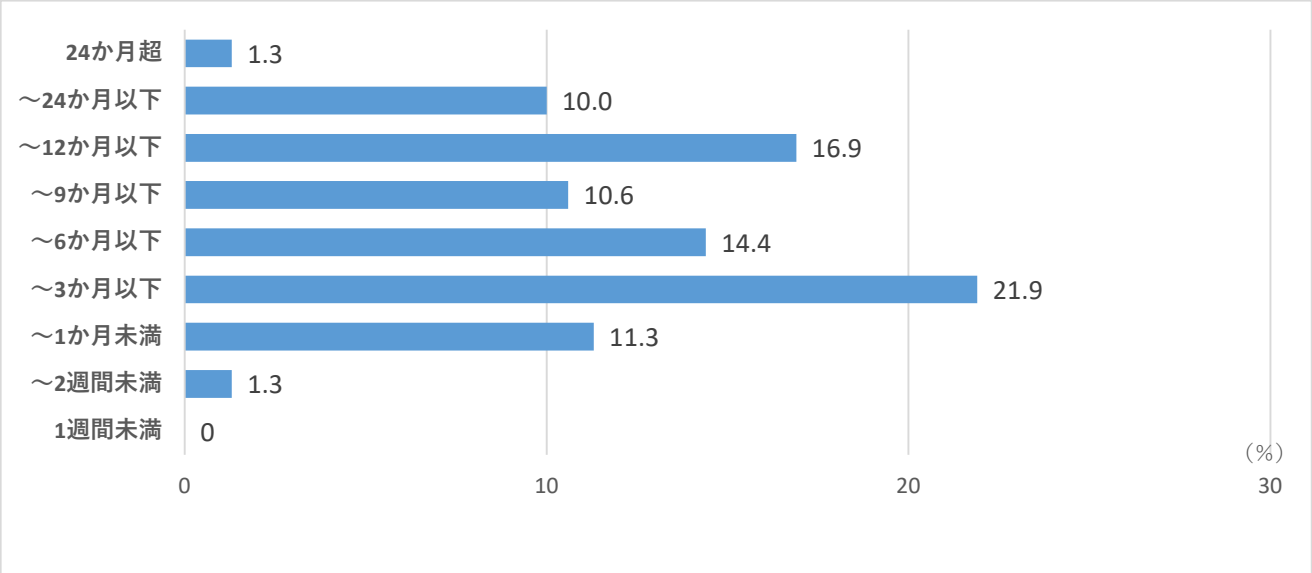
（２）神戸市職員における育児休業取得率



（３）全国の企業と事業所における育児休業取得期間内訳



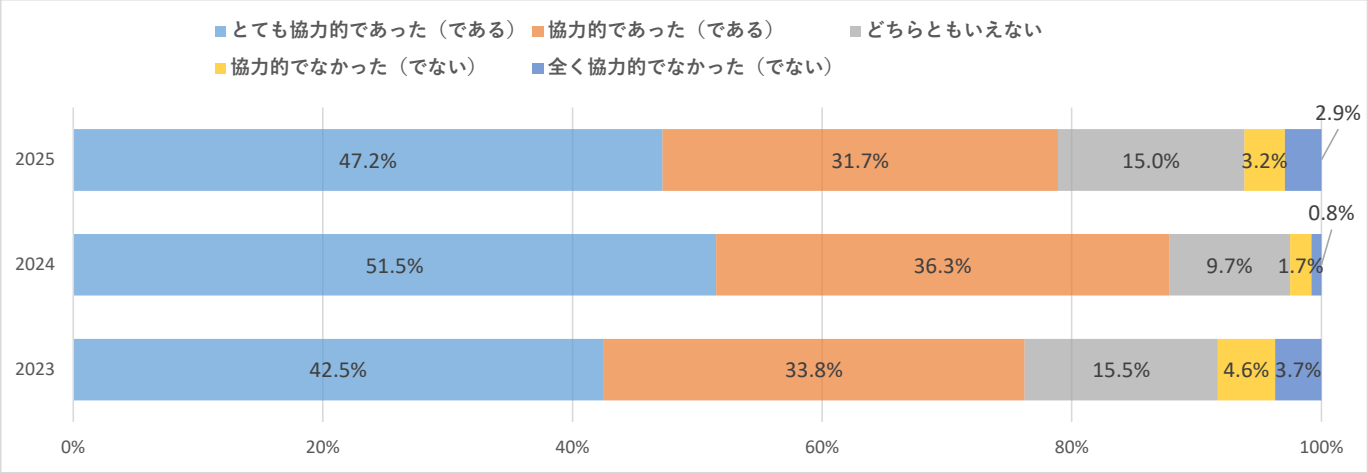
（４）神戸市男性職員（※）における育児休業取得期間内訳



※市長部局等所属の職員のみ

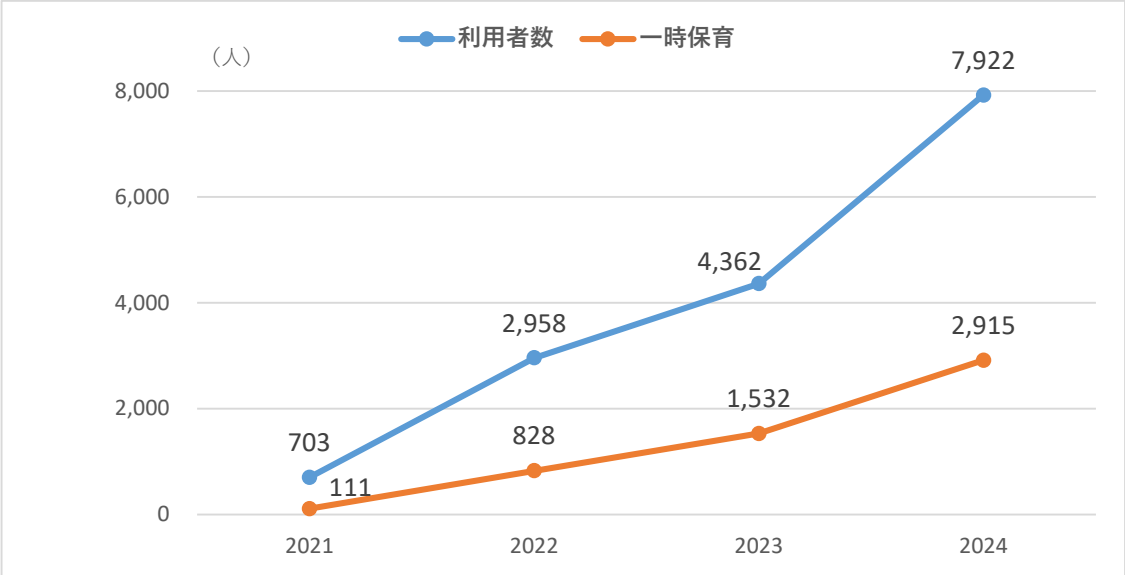
（５）育児休業等の利用に関する職場の状況（市民（保護者）調査より引用）

育児休暇制度・短時間勤務制度の利用について、職場は協力的か。



３　子育てと仕事の両立/働きたい女性への支援

（１）　子連れで利用できるコワーキングスペース（あすてっぷ）利用者数



3　地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

本市事業名		指標（単位）		2024年度		2025年度	
				計画値	実績値	計画値	実績値
利用者支援事業	量の見込み	箇所数（箇所）	基本型	ー	ー	120	120
			特定型	ー	ー	12	12
			こども家庭センター型	ー	ー	10	10
	確保方策		基本型	ー	ー	120	120
			特定型	ー	ー	12	12
			こども家庭センター型	ー	ー	10	10
妊婦等包括相談支援事業	量の見込み	妊娠届出数（人/年）		ー	ー	8,781	8,865
		面談実施合計回数（回/年）		ー	ー	17,834	17,730
	確保方策			ー	ー	17,834	17,730
延長保育事業	量の見込み	実人数（人/年）		3,696	3,209	3,281	2,766
	確保方策			3,696	3,209	3,281	2,766
子育てリフレッシュステイ事業	量の見込み	延べ人数（人）	ショートステイ	1,355	1,906	1,855	2,180
			デイサービス	1,484	1,375	1,256	1,583
	確保方策		ショートステイ	1,355	1,906	1,855	2,180
			デイサービス	1,484	1,375	1,256	1,583
新生児訪問指導事業	量の見込み	実人数（人/年）		9,589	8,099	8,112	7,907
	確保方策	実施機関職員		区役所・支所の助産師・保健師等			
保健師等による相談・指導	量の見込み	延べ回数（回/年）		2,168	2,537	3,229	3,363
	確保方策	実施機関職員		区役所・支所の保健師・ケースワーカー（福祉職）			
子育て世帯訪問支援事業	量の見込み	延べ人数（人/年）		ー	ー	5,063	5,259
	確保方策	実施体制（事業所）		ー	ー	12	12
地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター事業・大学と連携した子育て支援事業・児童館における親子館事業　等）	量の見込み	延べ人数（人/年）		49,118	ー	498,454	ー
	確保方策	箇所数（箇所）		141	150	145	144
幼稚園預かり保育事業	量の見込み	延べ人数（人/年）		854,451	771,178	606,048	747,607
	確保方策			854,451	771,178	606,048	747,607

本市事業名		指標（単位）		2023年度		2024年度	
				計画値	実績値	計画値	実績値
一時保育事業	量の見込み	延べ人数（人/年）		69,846	52,093	69,669	47,195
	確保方策			69,846	52,093	69,669	47,195
病児保育事業	量の見込み	延べ人数（人/年）		20,704	14,503	33,220	16,938
	確保方策			25,680	37,872	40,080	40,560
ファミリー・サポート・センター事業	量の見込み	延べ人数（人/週）		519	207	470	213
	確保方策			519	207	470	213
妊婦健康診査事業	量の見込み	妊娠届出数（人/年）		10,588	8,584	8,781	8,665
		受診回数（回）		133,409	106,554	105,372	104,398
	確保方策	実施場所 実施体制		産科婦人科医療機関・助産所			
産後ケア事業	量の見込み	延べ日数（日/年）	宿泊型	―	―	4,084	4,895
			通所型	―	―	5,093	6,807
			訪問型	―	―	1,102	1,249
	確保方策		宿泊型	―	―	4,084	4,895
			通所型	―	―	5,903	6,807
			訪問型	―	―	1,102	1,249
こども誰でも通園制度	量の見込み	延べ人数（人/日）	0歳児	―	―	1,612	1,612
			1歳児	―	―	1,153	1,153
			2歳児	―	―	404	404
	確保方策		0歳児	―	―	1,330	1,662
			1歳児	―	―		
			2歳児	―	―		
放課後児童クラブ	量の見込み	小学１年生		5,767	5,402	5,460	5,235
		小学２年生		4,716	5,129	5,221	5,203
		小学３年生		3,692	4,128	4,438	4,306
		小学４年生		2,189	2,685	2,906	2,808
		小学５年生		811	1,245	1,501	1,451
		小学６年生		585	617	784	620
		合計		17,760	19,206	20,310	19,623
	確保方策			17,760	19,206	20,310	19,623

４．2025 年度　主な事業進捗状況

１．ライフステージに応じた切れ目のない支援

見守り支援・親と子の健康確保増進として、産後ケア事業で利用申請開始時期の前倒しや予約システムの導入実証を実施するとともに、１か月児健康診査費用の助成額を引き上げた。

また、待機児童ゼロを維持したほか、こども誰でも通園制度や病児保育事業の実施施設数を拡充した。放課後こども対策として、学童保育において、夏休み期間の受け入れ可能施設数を拡充するとともに、スポーツ体験の機会をモデル的に提供した。

さらに、経済的負担の軽減として、市内在住の高校生等が市外高校等に通う場合の通学定期代を半額補助に拡充し、子育て世帯に物価高対応子育て応援手当を支給した。

２．こども・子育て世帯の状況に応じた支援

社会的養育体制等の充実として、児童虐待対応等にかかる職員を７名増員し、児童虐待防止対策の強化を図ったほか、養育里親のリクルートや里親制度の広報・啓発に取り組み、里親委託を促進した。また、ひとり親家庭等低所得子育て世帯に対しては、大学等受験料の補助を新たに実施した。

３．やってみたいを支える、こどもを主体にしたまちづくり

中高生がカフェなどを自習スペースとして無料で利用できる「まちなか自習室」の仕組みを構築するとともに、「こどもの居場所づくり」に取り組む団体に対し、食材高騰の影響も踏まえて支援した。

４．神戸ならではの子育てが楽しめる環境づくり

児童館において英語プログラムを新たに提供するとともに、旗塚児童館等を再整備した。

また、子育て支援施策について、「こどもっと KOBE」や SNS を活用し、神戸での子育てに関する情報を市内外に広く発信した。